



誤薬防止支援システム『誤薬チェッカーNeo』

使い方ガイド

本書は製品の近くに置いてご活用ください。誤薬チェッカーNeo アプリ操作に関する説明をしています。

誤薬チェッカーNeo とは 5

機能と特徴 6

QRコードの作成 10

お薬チェック 13

予定配薬 50

食事チェック 73

ネットワーク接続 84

顔写真の管理 96

対象者の顔認証 102

読み取りログの管理 109

設定画面リファレンス 119

目次

誤薬チェッカー-NEO とは	5
服薬時の課題	5
誤薬チェッカー-NEO を使った服薬の流れ	5
機能と特徴	6
配薬 QR コード読み取り	6
配食 QR コード読み取り	6
顔写真表示	6
名前読み上げ機能	7
ネットワーク管理機能	7
薬包に印字した QR コードの読み取り	7
服薬対象者の顔認証	8
ログ・統計情報表示	8
訪問介護の現場でも利用可能	8
お薬飲み忘れの検出	9
NG 理由、中止理由の保存	9
通知メモ表示機能	9
QR コードの作成	10
QR コードの内容	10
QR コードの種類	11
QR コードの作成	11
分包機で印字された QR（バー）コードの読み取り	12
読み取り可能な QR（バー）コードのタイプ	12
お薬チェック	13
お薬 QR コード読み取りの流れ	13
お薬 QR コード読み取り画面	14
カメラへのアクセスの許可	15
お薬チェックモードの切り替え	16
介護者情報の設定	17
お薬チェック QR コードの読み取り	18
お薬チェック読み取りシーケンスの変更	20
分包機で印字された QR コードの読み取り	23
服薬対象者の ID 情報設定	23
分包機で印字された QR コードの開始／終了桁数設定	27
分包機で印字された QR コードの読み取り順序設定	28
分包機で印字された QR コードのお薬コードの設定	29
分包機で印字された QR コードのお薬時間の設定	31
読み取る QR コードフォーマットの指定	32

頓服（頓用）薬の指定方法	33
時間設定による頓服（頓用）薬の指定方法	34
薬局／分包機コード	36
薬局／分包機コードの設定	39
通知メモ表示	41
QR コード読み取り NG 要因入力	44
QR コード読み取り中止要因入力	46
施設設定のダウンロード	48
薬局設定のダウンロード	49
予定配薬	50
予定配薬（スケジュール）モード	50
予定配薬（スケジュール）モードでの QR コード読み取りの流れ	51
予定配薬モードへの移行	52
配薬スケジュール CSV ファイル	54
予定配薬対象者設定	56
予定配薬種別設定	57
予定配薬の 3 点チェック	59
予定配薬のお薬 1 / 2 / 3 / 4 設定	60
予定配薬（スケジュール）モードでの QR コード読み取り	62
QR コード読み取り結果の確認	63
残薬検出機能	64
集計通知機能	65
他端末とのデータ共有	67
個別の読み取り結果非表示機能	70
拡張スケジュールファイル	71
食事チェック	73
食事の QR コード読み取りの流れ	73
食事チェックモードの切り替え	74
食事チェック QR コードの読み取り	75
食事チェック読み取りシーケンスの変更	77
配膳食種別の QR コード読み取り	80
配食対象者の食事種別情報設定	81
ネットワーク接続	84
利用可能なサーバ方式	84
WINDOWS 共有フォルダ接続設定	85
WINDOWS 共有フォルダ接続確認	86
NAS（NETWORK ATTACHED STORAGE）の使用	87
ネットワークへのアクセスの許可	88
クラウドサーバ接続設定	89
クラウドサーバ接続確認	90

SSH (SCP) サーバ接続設定	92
SSH(SCP)サーバ接続確認	94
顔写真の管理	96
顔写真表示	96
カメラ機能	96
画像ファイル管理	98
写真データのアップロードとダウンロード	99
アップロードデータの切り替え	100
写真データの確認	101
対象者の顔認証	102
服薬、配食対象者の顔認証	102
顔認証写真データの撮影方法	104
顔認証データの作成方法	106
顔認証利用方法	107
読み取りログの管理	109
ログ表示画面	109
GPS で取得した位置情報の表示	110
位置情報使用の許可	111
サーバを使ったログデータの管理	112
統計情報の表示	114
配薬／配食日付の統計情報	115
配薬／配食対象者の統計情報	116
配薬／配食介護者の統計情報	117
設定画面リファレンス	119
QR コードの読み取り設定	119
データ転送設定	143
WINDOWS サーバ	144
クラウドサーバ	146
SSH(SCP)サーバ	148
システム設定	150
情報	153

誤薬チェッカーNeo とは

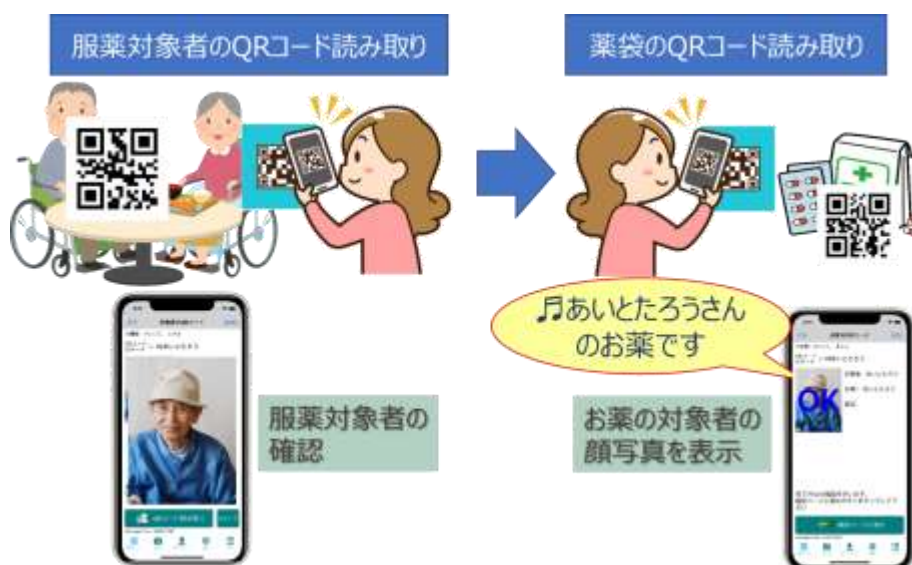
『誤薬チェッカーNeo』は QR コードと iPhone 端末を利用した、誤薬防止支援システムです。介護施設における服薬介護の誤薬トラブルを解消し、介護者の負担を減らします。

服薬時の課題

介護施設における服薬介護での誤薬の問題は最も重要な課題です。ダブルチェック、トリプルチェックと手間とリソース（人員）をかければ、誤薬のリスクを減らすことは可能ですが、介護コストに大きく影響を与えます。誤薬チェッカーNeo を用いることで、手間とリソースを抑えながら、誤薬トラブルを解消し、介護コストの削減を実現することが可能です。

誤薬チェッカーNeo を使った服薬の流れ

- 介護施設で使用する iPhone 端末に誤薬チェッカーNeo アプリをインストールしておきます。
- 服薬時、薬袋に印刷された QR コードを、誤薬チェッカーNeo アプリを使って読み取ります。この時、服薬対象者の顔写真が表示されます。
- 服薬対象者の QR コードを、誤薬チェッカーNeo アプリを使って読み取ります。
- 服薬対象者の薬で間違いがなければ、音声メッセージと画面で介護者にお知らせします。服薬対象者が異なる場合は、バイブレーション、音声メッセージ、画面表示で間違いであることを介護者に伝えます。



服薬間違いがあった場合は、介護者に対して、視覚、聴覚、触覚に働きかけることで誤薬の防止につながります。

機能と特徴

配薬 QR コード読み取り

QR コードによる配薬管理が可能です。

QR コードの読み取り順序は、自由に設定可能です。
もちろん3点（対象者、お薬、介護者）チェックにも対応しています。



配食 QR コード読み取り

QR コードによる配食管理も可能です。

対象者の QR コードだけでなく、糖尿病食や高血圧食などの配食種別による管理も可能です。

顔写真表示

QR コード読み取り時、服薬対象者の顔写真を表示することができます。名前だけでなく視覚的に確認することができ、誤薬の防止につながります。

顔写真はアプリ内のカメラ機能により、撮影可能です。



名前読み上げ機能

服薬対象者の名前を音声メッセージでお知らせします。聴覚的に確認することで、誤薬の防止につながります。

又、QRコード判定時にはアラーム音と音声メッセージでOK/NGの判定を通知し、NGの時はバイブレーションでQRコードが違うことをお知らせします。



ネットワーク管理機能

Windows 共有フォルダ、クラウドサーバ、SSH (SCP) サーバに対応しています。

施設内で Windows 共有フォルダを用意することにより、施設内の閉じたネットワークで、顔写真データやログ情報を共有することが可能です。

薬包に印字した QR コードの読取り

分包機に印刷された QR コードの読み取りも可能です。QR コードの情報から服薬対象者の間違いだけでなく、服薬対象日や服薬時間の間違いも検出することが可能となります。

誤薬チェッカーNeo は、これらの情報を用いて誤薬防止の精度を上げることができます。

QR コードだけでなく様々な種類のバーコードにも対応しています。



服薬対象者の顔認証

服薬対象者に QR コードを持たせることができない場合には、服薬対象者の QR コードを読み取る代わりに顔認証を用いて本人確認を行うことができます。

服薬対象者に QR コードを持たせる事ができない場合でも、顔写真で本人の判定が可能です。

※顔認証を利用する場合は、クラウドサーバーオプションが必須となります。



QRコードの代わりに
AIが顔写真で判定



ログ・統計情報表示

QR コードの読み取り情報や比較結果をロギングします。過去の履歴をまとめて知ることができます。

サーバにログデータを転送することも可能です。サーバでは、CSV 形式で保存されるので、Excel など他のアプリケーションとの連携も簡単です。

年月日毎の統計情報や対象者毎の統計情報を知ることができます。

訪問介護の現場でも利用可能

GPS を用いた位置情報のロギングが可能です。

配薬時の位置情報をログすることで、訪問介護、訪問看護における配薬管理に利用可能です。



お薬飲み忘れの検出

服用タイミングでのお薬の飲み忘れも検出することができます。服用タイミングの指定時刻に残薬の状況をポップアップとアラーム音でお知らせすることも可能です。

配薬対象者のお薬を登録することで、お薬の飲み間違いだけでなく、飲み忘れも防止できます。



NG 理由、中止理由の保存

配薬間違いを検出した場合や配薬を中止した場合、その原因をログとして保存可能です。原因を解析することで、誤薬のリスク改善を容易に行うことが可能です。

通知メモ表示機能

配薬完了時に配薬対象者毎に通知メモの表示と音声による読み上げを行うことが可能です。

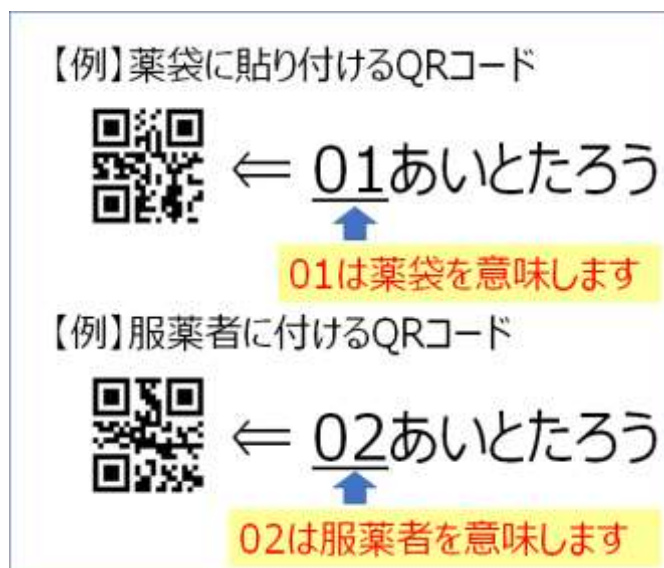
配薬対象者毎に異なる条件を記載しておくことで配薬介護の効率向上を図ります。



QRコードの作成

QRコードの作成方法を示します。

QRコードの内容



QRコードの内容は、（数字2桁）＋（名前）で構成されます。

例：01 あいとたろう

数字2桁部分には読み取り対象を分類する数字を決めて割り当てます。

例：薬袋に貼り付けるQRコード ⇒ 01

服薬対象者のQRコード ⇒ 02

名前部分は簡単な漢字であれば読み方を認識して音声メッセージが出力されますが、難しい名前だと正しい読み方を認識しない場合があります。ひらがなで入力することを推奨します。

（数字2桁）＋（名前）のフォーマットは以下の形式から選択できます。

- （2桁半角数字）＋（全角名前） 例：01 あいとたろう
- （2桁全角数字）＋（全角名前） 例：0 1 あいとたろう
- （2桁半角数字）＋（半角空白）＋（全角名前） 例：01 あいとたろう
- （2桁全角数字）＋（全角空白）＋（全角名前） 例：0 1 あいとたろう
- （2桁半角数字）＋（全角空白）＋（全角名前） 例：01 あいとたろう
- （2桁全角数字）＋（半角空白）＋（全角名前） 例：0 1 あいとたろう
- （半角数字のみ） [数字⇄名前変換機能を使う場合] 例：12345678
- （全角数字のみ） [数字⇄名前変換機能を使う場合] 例：1 2 3 4 5 6 7 8

名前部分の姓と名の間に空白文字を入れても正しく認識しますが、空白を入れた名前と空白を入れない名前は異なる名前として認識します。姓と名の間に空白を入れる/入れないは全体で統一する必要があります。

01 あいとたろう

⇐ （異なる名前と判定） ⇨

01 あいと たろう

QR コードの種類

誤薬チェッカーNeo で読み取る QR コードの種類として以下のデータが定義されています。

種類	(数字 2 桁)	利用書
対象者	0 0	薬包に印字された QR コードを示します。
対象者	0 2	対象者を示す QR コードです。
お薬 1	0 1	お薬に張り付ける QR コードです。
お薬 2	0 3	お薬に張り付ける QR コードです。
お薬 3	0 4	お薬に張り付ける QR コードです。
お薬 4	0 5	お薬に張り付ける QR コードです。
食事	1 1	配膳食に張り付ける QR コードです。
確認	2 1	システムで利用する ID です。QR コードとしては利用できません
介護者	3 1	介護者の QR コードです。
定義 1	4 1	独自に定義する QR コードです。
定義 2	4 2	独自に定義する QR コードです。
定義 3	4 3	独自に定義する QR コードです。
定義 4	4 4	独自に定義する QR コードです。

画面に表示される種類や数字 2 桁の値は自由に変更可能です。

QR コードの作成

QR コードは誤薬チェッカークラウドや QR コード作成サイトを利用すれば、簡単に作成できます。自由（入力）テキストで QR コードを作成します。誤薬チェッカークラウドを用いた QR コードの作成は『誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド』を参照下さい。

- ・QR コード作成サイト／無料版 (<https://qr.quel.jp/text.php>)
- ・CMAN インターネットサービス (<https://www.cman.jp/QRcode/>)



- ①PC やスマホで QR コード作成サイトを利用して QR コードを作成します。
- ②作成した QR コードをシール台紙に印刷します。
- ③印刷した QR コードを適当な大きさに切り取り、対象物に張り付けます。

分包機で印字された QR（バー）コードの読み取り

分包機で印刷される QR（バー）コードのデータフォーマットが判れば、直接 QR（バー）コードを読み取ることが可能です。



0000000113,2022/03/01,0068,

服薬対象者の ID 情報

服薬対象日

服薬タイミング

読み取ったバーコードや QR（バー）コードの情報から服薬対象者の間違いだけでなく、服薬対象日や服薬時間の間違いも検出することが可能となります。

分包機で印刷される QR（バー）コードの読み取り方法は、お薬チェックの「[分包機で印刷された QR コードの読み取り](#)」を参照願います。

※薬包への QR（バー）コードの印字可否、印字された QR（バー）コードのデータフォーマットに関しては、提携している薬局様へご相談下さい。

読み取り可能な QR（バー）コードのタイプ

誤薬チェッカーは以下のタイプの QR（バー）コードの読み取りに対応しています。

2次元	QRCode、DataMatrix、PDF417、AZTEC
バーコード	EAN8、EAN13、UPCE、Code39、Code39Mod43、Code93、Code128、Interleaved2of5、ITF14

お薬チェック

お薬の QR コードを読み取って服薬時の間違いがないか判定を行う方法を示します。

お薬 QR コード読み取りの流れ



お薬 QR コード読み取りの流れを以下に示します。

お薬 QR コード読み取りはホーム画面から始まります。お薬チェックを開始すると、読み取り開始状態に遷移します。最初に対象者の QR コードを読み取ると、読み取り結果が表示されます。次にお薬の QR コードを読み取ると、読み取り結果の画面に判定結果が表示されます。

引き続き、次の対象者の QR コードを読み取る場合は、読み取り開始状態に遷移し、同様に対象者の QR コード、お薬の QR コードを読み取ります。

全ての対象者のお薬チェックが完了すると、ホーム画面に遷移することで、モード切り替えが行えるようになります。

シーケンス：一人の対象者の読み取り開始状態から最後の読み取り結果までの流れ

モード：QR コードチェックを開始して全ての対象者の読み取りを完了し、チェックを終了するまでの流れ。モードの種類にはお薬モード、食事モード、ユーザ定義モードの3つのモードがあります。

※モード切り替え画面は、ホーム画面からしか遷移できません。QR コード読み取りシーケンス中、モード切り替えはできません。

お薬 QR コード読み取り画面

お薬 QR コード読み取り画面を以下に示します。



- ①シーケンスの開始と終了を行うボタンです。
- ②シーケンスが開始すると、ボタンが有効となります。シーケンスの次のステップの開始を行うボタンです。
- ③タブメニューです。「QR コード読み取り」、「カメラ」、「ダウンロード/アップロード」、「設定」、「ログ表示」を切り替えます。いつでも切替可能です。
- ④通常時のナビゲーションバーの背景色はグレーですが、ネットワークに接続するとブルー表示となります。
- ⑤GPS による位置情報読み取りが有効の場合に表示されます。アイコンをタップすると位置情報を表示します。
- ⑥お薬の読み取りの進捗状況を表示します。アイコンをタップすることで詳細情報を別画面で表示します。
- ⑦QR コード読み取り画面です。QR コードを認識すると読み取り結果画面に遷移します。
- ⑧戻るボタン。一つ前のステップに戻ります。
- ⑨介護者の名前を表示します。
- ⑩読み取った QR コードのデータを表示します。
- ⑪対象者の顔写真を表示します。
- ⑫シーケンス内の QR コード読み取り履歴を表示します。
- ⑬シーケンスの次のステップの開始を行うボタンです。
- ⑭お薬の QR コード読み取りはスキップすることができます。複数のお薬を設定している場合で服薬対象外のお薬はスキップボタンを使って配薬をスキップします。

カメラへのアクセスの許可

誤薬チェッカーNeo アプリをインストール後、初めてカメラへのアクセスを行うと、アクセスの許可を求めるアラートが表示されます。



QR コード読み取りに使用するカメラへのアクセスを許可するには「OK」をタップします。

「許可しない」をタップすると、QR コードの読み取りが出来なくなります。

間違って「許可しない」をタップしてしまった場合は iOS の設定画面からカメラへのアクセス許可を設定します。



お薬チェックモードの切り替え

QRコードの読み取りモードを切り替えるには、ホーム画面で読み取りシーケンスが開始されていない状態

（**開始** ボタンが有効になっている状態）で画面下タブメニューの「QRコード」を**長押し**するとモード切り替え画面が表示されます。

※読み取りシーケンスが開始されている状態では切り替え画面は表示されません。



お薬チェック、**食事チェック**、**ユーザ定義** ボタンのいずれかをタップして（ここでは **お薬チェック** ボタンをタップ）モードを選択します。タップしたモードが有効になります。モード切替画面を終了するには、画面右上の[X]をタップするか、画面を下方向にスワイプします。

又、モード切り替え画面でお薬チェックを行う介護担当者の名前を入力します。**介護者設定** ボタンをタップして、介護者の名前を登録します。画面のキーボードから入力する他に、QRコードを読み取ることも入力可能です。

介護者情報の設定

介護者情報の読み取りを行う方法として、読み取りシーケンスを設定（「[お薬チェック読み取りシーケンスの変更](#)」参照）することで、対象者やお薬の QR コードを読み取る度に介護者の QR コードを読み取ることができます。

お薬のチェック中は、端末を介護者が専用で扱う場合は、チェック開始のタイミングで介護者の QR コードを読み取り、チェック終了まで介護者情報を保持することもできます。チェック開始のタイミングで介護者の QR コードを読み取るには、モード切り替え画面の **介護者設定** ボタンをタップします。

モード切り替え画面は、ホーム画面で読み取りシーケンスが開始されていない状態（**開始** ボタンが有効になっている状態）で画面下タブメニューの「**QRコード**」を**長押し**することで表示されます。

※読み取りシーケンスが開始されている状態では切り替え画面は表示されません。



チェックを行う介護担当者の名前を入力します。**介護者設定** ボタンをタップして、介護者の名前を登録します。画面のキーボードから入力する他に、QR コードを読み取ることも入力可能です。

「チェック終了時に介護者情報をクリアする」のスイッチを有効にすると、チェック終了時に保存した介護者情報をクリアします。複数の介護者で端末を共有する場合、このスイッチを有効しておくと、チェック開始毎に介護者情報を入力することができます。

お薬チェック QR コードの読み取り

対象者のQRコード読み取り

お薬チェックを開始して、服薬対象者のQRコードを読み取るには **開始** ボタンをタップします。



 **QRコード読み取り** ボタンが有効となり、対象者のQRコードを読み取るには、 **QRコード読み取り** ボタンをタップします。カメラが起動するので、対象者のQRコードを画面に映すと読み取りが完了します。

対象者のQRコード読み取り結果が表示されます。



QRコードの読み取り内容、対象者の名前、顔写真が登録されている場合は顔写真が表示されます。

顔写真が登録されていない場合は以下の画像が表示されます。



顔写真の登録方法は「[顔写真の管理](#)」を参照下さい。

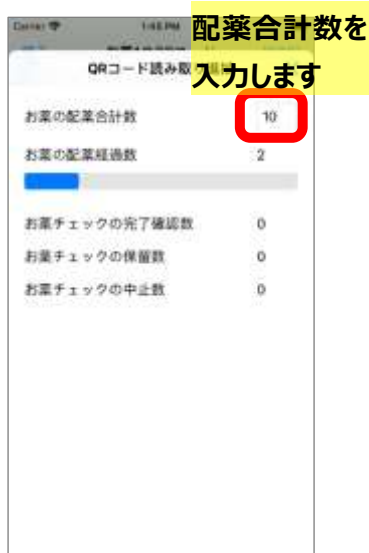
お薬のQRコード読み取り

対象者のQRコード読み取りに続いて、お薬のQRコードを読み取ります。



カメラが起動するので、お薬のQRコードを画面に映すと読み取りが完了し、判定結果が音声メッセージと共に表示されます。内容確認後、 **最初の画面に戻る** ボタンをタップしてホーム画面に遷移します。

又、画面右上の数字をタップすると、読み取りの進捗状況を確認することができます。



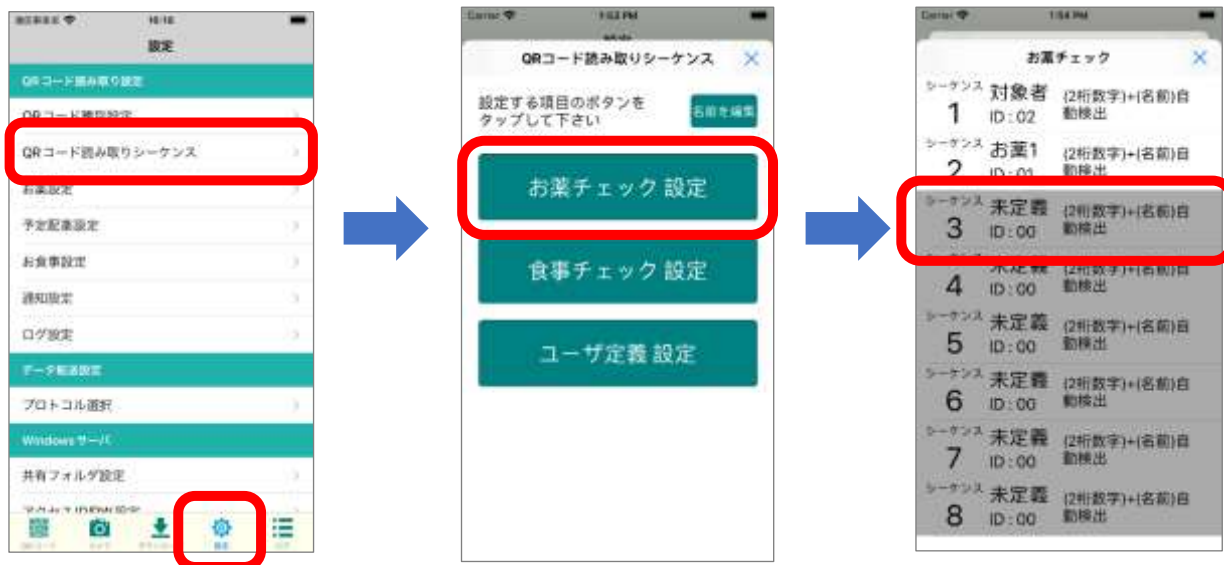
お薬の配薬合計数を入力しておくことで、現在の配薬経過数とその進捗度が進捗バーで表示されます。

お薬チェックの完了確認数、保留数、中止数は、読み取りシーケンスの中で完了確認を行った時の合計数を表示します。

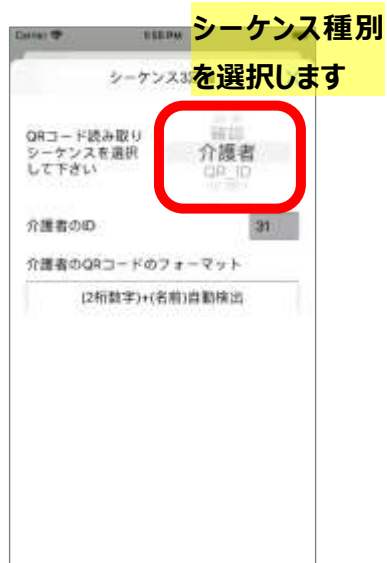
読み取りシーケンス中はいつでも、読み取りの進捗状況を確認することができます。又、その値はお薬チェックモードの開始 (**お薬チェック開始** ボタンをタップ) した時にクリアされます。

お薬チェック読み取りシーケンスの変更

対象者とお薬の QR コードだけでなく、介護者や独自に定義した QR コードを読むことができます。又、その順序も自由に設定可能です。読み取りシーケンスを設定するには、画面下タブメニュー **設定** ⇒ **QRコード読み取りシーケンス** ⇒ **お薬チェック設定** ボタン ⇒ **設定したいシーケンス項目** の順にタップします。



シーケンス定義の設定画面が表示されます。ここで設定したいシーケンス種別を選択します。



シーケンス種別は以下の中から選択できます。

- 対象者 : 対象者の QR コード読み取り
- お薬 1 : お薬 1 の QR コード読み取り
- お薬 2 : お薬 2 の QR コード読み取り
- お薬 3 : お薬 3 の QR コード読み取り
- お薬 4 : お薬 4 の QR コード読み取り
- 食事 : 食事の QR コード読み取り
- 確認 : 完了確認を表示します。読み取り進捗状況に表示する
[完了] [保留] [中止] を登録できます
- 介護者 : 介護者の QR コード読み取り
- QR_ID : QRID (先頭二桁の数字) に従って種別を判定します。
- 定義 1 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 2 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 3 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 4 : ユーザ定義の QR コード読み取り

お薬チェックシーケンス設定例 1

お薬チェック		
シーケンス 1	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 2	お薬1	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 3	介護者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 4	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 5	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 6	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 7	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 8	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出

シーケンスの第 1 ステップ：対象者の QR コード読み取り

シーケンスの第 2 ステップ：お薬 1 の QR コード読み取り

シーケンスの第 3 ステップ：介護者の QR コード読み取り

上図のような設定の場合読み取りシーケンスは以下のようになります。



- ※ 最大 8 個のシーケンス種別を設定できます。
- ※ 同一項目のシーケンス種別も設定できます。
- ※ 未定義の項目でシーケンスは終了します。
- ※ 右図のような場合、シーケンス 5 は実行されません。

お薬チェック		
シーケンス 1	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 2	お薬1	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 3	介護者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 4	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 5	お薬2	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 6	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 7	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 8	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出

シーケンス 4 で終了し、
シーケンス 5（お薬 2）
は実行されません

お薬チェックシーケンス設定例 2

お薬チェック		
シーケンス	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
1	ID:02	
シーケンス	お薬1	{2桁数字}+(名前)自動検出
2	ID:01	
シーケンス	確認	{2桁数字}+(名前)自動検出
3	ID:21	
シーケンス	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
4	ID:00	
シーケンス	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
5	ID:00	
シーケンス	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
6	ID:00	
シーケンス	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
7	ID:00	
シーケンス	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
8	ID:00	

シーケンスの第 1 ステップ：対象者の QR コード読み取り

シーケンスの第 2 ステップ：お薬 1 の QR コード読み取り

シーケンスの第 3 ステップ：完了確認

上図のような設定の場合読み取りシーケンスは以下のようになります。



完了確認画面では、 **完了** **保留** **中止** ボタンが表示され、配薬の状況に応じてボタンをタップします。画面右上の数字をタップすると、完了、保留、中止それぞれの配薬数を確認することができます。

分包機で印字された QR コードの読み取り

分包機で印字された QR コードの情報を知らなければ、薬包に印字された QR コードを読み取ることができません。

一般的に、分包機で印字された QR コードには、服薬対象者を特定する ID 情報（数字の羅列）や服薬対象日、服薬タイミング（昼食食前、夕食食後など）の情報がテキスト情報として含まれています。



0000000113,2022/03/01,0068

服薬対象者の ID 情報

服薬対象日

服薬タイミング

これらの情報を誤薬チェッカー-Neo に設定することで、分包機で印字された QR コードを読み取ることが可能となります。誤薬チェッカー-Neo は、これらの情報を用いて誤薬防止の精度を上げることができます。

服薬対象者の ID 情報 ⇨ 服薬対象者の間違いを検出

服薬対象日 ⇨ 服薬対象日の間違いを検出

服薬タイミング ⇨ 服薬時刻の間違いを検出

設定に関する詳細は、[「服薬対象者の ID 情報設定」](#)、[「分包機で印字された QR コードの開始／終了桁数設定」](#)、[「分包機で印字された QR コードのお薬コードの設定」](#)、[「分包機で印字された QR コードのお薬時間の設定」](#)、[「読み取る QR コードフォーマットの指定」](#)を参照下さい

※QR コードの内容は印字を行う分包機の設定で異なります。

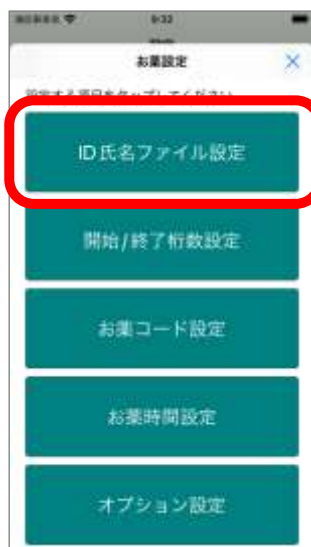
介護事業者様で使用する薬包に分包機で QR コードを印字可能か、QR コードの内容に関する情報は、提携している薬局様へご相談下さい。

服薬対象者の ID 情報設定

服薬対象者の ID 情報から名前を特定するには、ID 情報と名前を紐づける情報が必要となります。端末ごとに入力することも可能ですが、複数の端末を設定する場合は、ID 情報と名前を記述した CSV ファイルをサーバからダウンロードすることで簡単に設定可能です。

端末ごとに入力する場合

服薬対象者の ID 情報を入力するには、画面下タブメニュー  ⇒ **「お薬設定」** ⇒ **「ID 氏名ファイル設定」** ⇒ **「ID 氏名 CSV ファイルの編集」** ⇒ ID 氏名データの確認画面左上 **「+」** の順にタップします。

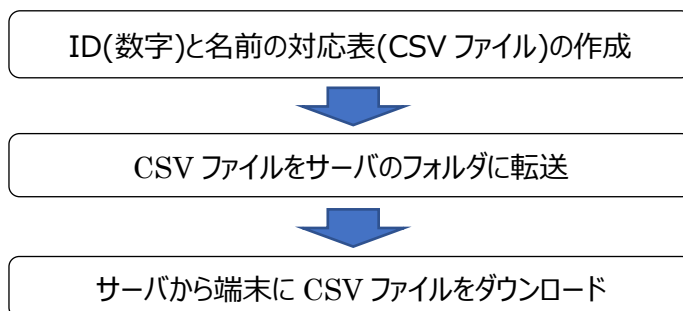


QR コードの ID に服薬対象者の ID を数字で入力します。
ID に対する氏名に服薬対象者の名前をひらがなで入力します。
画面右上の **「x」** で終了します。

「+」 ボタンをタップして設定対象者全てのデータを入力します。

サーバからダウンロードする場合

ID 情報と名前をサーバからダウンロードして設定する場合は以下の流れになります。



ID(数字)と名前の対応表(CSV ファイル)の作成

```

0000000111,あいとたろう
0000000112,あいとじろう
0000000113,ゆやまたろう
0000000114,ゆやまじろう
0000000115,しすてむはなこ
:
:
:
  
```

パソコンのメモ帳やエクセルを使って、ID(数字)と名前の対応表を作成します。作成したデータを csv 形式(,(カンマ)で区切られたテキストファイル)で保存します。
ファイル名は”id_name.csv”で保存します。

※文字コードは shift-JIS で保存する必要があります。
Windows のメモ帳アプリやエクセルではデフォルトで shift-JIS で保存されます。

CSV ファイルをサーバに転送

作成した CSV ファイル (id_name.csv) をサーバの共有フォルダに保存します（サーバの設定方法は『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』を参照下さい）。誤薬チェッカークラウドシステムを利用すると、クラウドサーバ上で簡単に CSV ファイルの編集を行うことができます。

サーバから端末に CSV ファイルをダウンロード

設定メニューのデータ転送設定のプロトコル選択でデータ転送プロトコルを選択し、ネットワークに接続状態にします（「[ネットワーク接続](#)」参照下さい）。

画面下タブメニュー  ⇒ **「お薬設定」** ⇒ **「ID 氏名ファイル設定」** ボタンをタップし、ID 氏名ファイル設定画面から **「ID 氏名 CSV ファイルのダウンロード」** ボタンをタップします。一度ダウンロードを実行すると、サーバのファイルを更新するまではダウンロード不要です。又、アプリの起動毎にダウンロードを実行することも可能です。



「起動時に ID 氏名ファイルのダウンロードを実行する」

アプリを起動時した時に自動で ID 氏名ファイルのダウンロードを実行します。

[システムオプション設定]の「起動時及び開始ボタン押下で更新データのダウンロードを実行する」オプションが有効な場合、このスイッチは無効になります。

「開始時に ID 氏名ファイルのダウンロードを実行する」

シーケンス開始時、**開始** ボタンを押下した時に自動で ID 氏名ファイルのダウンロードを実行します。

[システムオプション設定]の「起動時及び開始ボタン押下で更新データのダウンロードを実行する」オプションが有効な場合、このスイッチは無効になります。

分包機で印字された QR コードの開始／終了桁数設定

分包機で印字された QR コードの情報は印字を行う分包機の設定で異なります。そのため服薬対象者の ID 情報、服薬対象日、服薬タイミングの情報を取り込む桁数設定が必要となります。

服薬対象者の ID 情報、服薬対象日（年、月、日）、服薬タイミングの開始位置と終了位置を指定します。
画面下タブメニュー  ⇒ **【お薬設定】** ⇒ **開始／終了桁数設定** ボタンをタップします。読み取り方法で **桁数を定義する** を選択します。



分包機で印字された QR コードが以下のような場合、

服薬対象者の ID 情報	服薬対象日	服薬タイミング
0000000113,2022/03/01,0068		
↑	↑	↑
桁数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26		

ID 開始桁は 1、ID 終了桁は 10

服薬対象年開始桁は 12、終了桁は 15

服薬対象月桁は 17

服薬対象日桁は 20

お薬コード開始桁は 23、終了桁は 26

を設定します。

年月日のデータを使用して服薬対象日の間違い検出有効/無効の設定を行います。

お薬コードを使用して服薬タイミングの間違い検出有効/無効の設定を行います。

分包機で印字された QR コードの読み取り順序設定

分包機で印字された QR コードの情報が、特定の区切り文字（,（カンマ）や空白）で区切られている場合、読み取り順序を指定することで服薬対象者の ID 情報、服薬対象日、服薬タイミングの情報を取り込むことが可能です。

服薬対象者の ID 情報、服薬対象日（年、月、日）、服薬タイミングの順番を指定します。

画面下タブメニュー  [設定] ⇒ [お薬設定] ⇒ **開始／終了桁数設定** ボタンをタップします。読み取り方法で、（半角）、区切り文字列 を選択します。



分包機で印字された QR コードが以下のような場合、

	服薬対象者の ID 情報	服薬対象日	服薬タイミング
	0000000113,2022/03/01,0068		
	↑	↑	↑
区切り桁	1 番目	2 番目	3 番目
ID 区切り桁は	1		
日付区切り桁は	2	日付フォーマットは yyyy/mm/dd	
お薬コード区切り桁	3		
を設定します。			

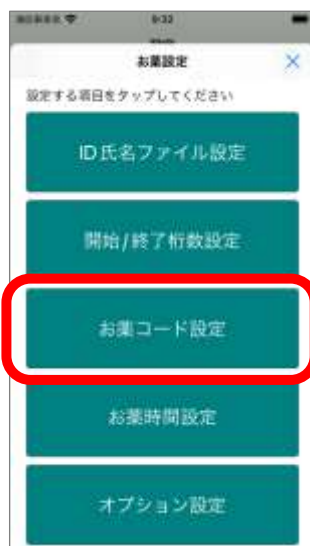
年月日のデータを使用して服薬対象日の間違い検出有効/無効の設定を行います。

お薬コードを使用して服薬タイミングの間違い検出有効/無効の設定を行います。

分包機で印字された QR コードのお薬コードの設定

分包機で印字された QR コードの情報の服薬タイミングを示すコードは分包機の設定で異なります。そのため服薬タイミングを示すコードがどの服薬タイミングを示しているのかの設定が必要となります。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **お薬コード設定** ボタンをタップします。



『**薬局設定のダウンロード**』項目参照



- | | |
|-----------|---|
| 朝食食前 | : 朝食 食前の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 朝食食後 | : 朝食 食後の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 朝食食間 | : 朝食と昼食の食間の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 昼食食前 | : 昼食 食前の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 昼食食後 | : 昼食 食後の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 昼食食間(3 時) | : 昼食と夕食の食間 (3 時薬) の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 夕食食前 | : 夕食 食前の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 夕食食後 | : 夕食 食後の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 夕食食間 | : 夕食と就寝前の間の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 起床後 | : 起床後の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 就寝前 | : 就寝前の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 定時薬 1 | : 定時薬 1 の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 定時薬 2 | : 定時薬 2 の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 定時薬 3 | : 定時薬 3 の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |
| 定時薬 4 | : 定時薬 4 の配薬タイミングを示すコードを設定します。 |

※服薬タイミングを示すコードの値は、提携している薬局様へご相談下さい。

上記 15 個以外のお薬 (用法) コードを設定する場合は、**お薬コードの詳細設定** ボタンをタップします

追加のお薬（用法）コードを設定する場合は、**お薬コードの詳細設定** ボタンをタップします。



表示される『お薬コードの詳細設定』リスト画面を上 swipe し、項目 16 以降の未定義となっている項目をタップします。

追加する用法名称と用法コードを設定し、『用法コードを有効にする』のスイッチを有効にします。

『頓服（頓用）薬に設定する』を有効にすると、服用時間のチェックを行わない QR コード読み取りとなります。

設定した用法名称と用法コードが追加され、QR コード読み取りの判定対象となります。お薬時間設定にも追加されるので、服薬時間帯の設定を行う必要があります。



※項目 1 ～ 15 の用法名称はシステムで予約されており、変更することはできません。

分包機で印字された QR コードのお薬時間の設定

分包機で印字された QR コードの開始終了桁数設定で、お薬コードを使用した服薬タイミングの間違い検出を有効にした場合、お薬コードのが示す服薬タイミングと異なる時間帯に QR コードが読まれた場合、服薬タイミングが違うことを知らせます。

画面下タブメニュー  [設定] ⇒ [お薬設定] ⇒ **お薬時間設定** ボタンをタップすることで、お薬コードが示す服薬タイミングの時間帯を設定します。

『施設設定のダウンロード』項目参照



設定する服薬タイミングをタップします

服薬タイミングの時間帯をチェックする場合は有効の設定を行います。

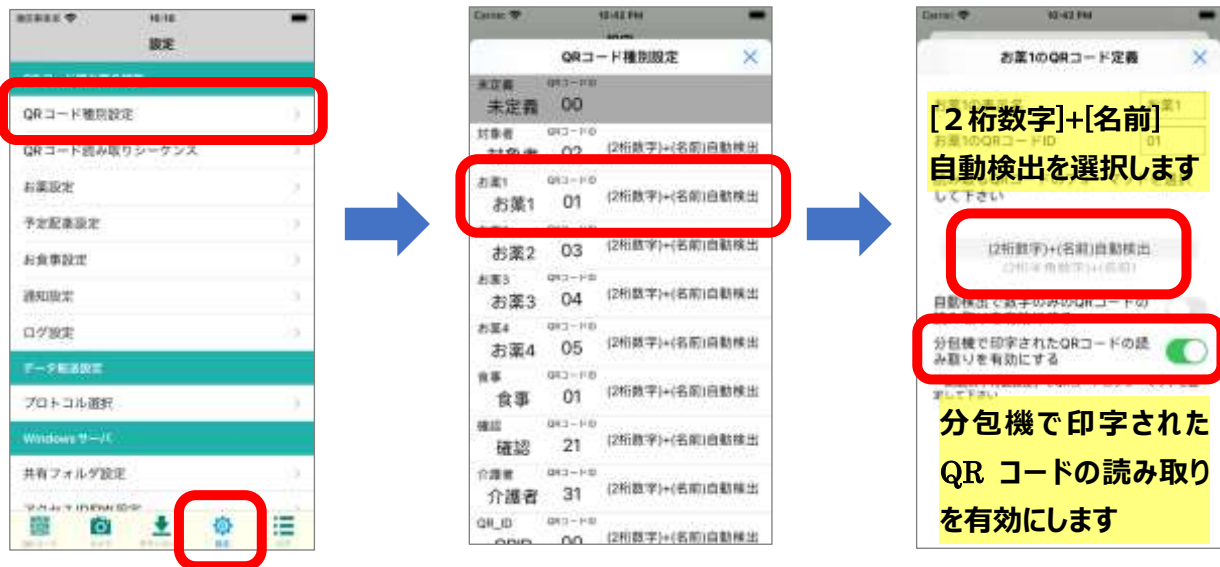
服薬タイミングの開始時刻と終了時刻を設定します。
設定された時刻以外で対象の QR コードが読まれた場合、判定結果として NG 表示を行います

※最大 4 つの時間帯で服薬タイミングのチェックを行うことができます。

※各時間帯の設定時刻は重複してはいけません。時間帯がオーバーラップしないように設定する必要があります。

読み取る QR コードフォーマットの指定

お薬の QR コード読み取り時に、分包機で印字された QR コードであることを設定します。お薬 1 ～お薬 4 までのお薬毎に設定可能です。画面下タブメニュー **設定** ⇒ **QR コード種別設定** ⇒ **お薬 1 ～ 4** ⇒ 「分包機で印字された QR コードの読み取りを有効にする」をタップします。



QR コード定義画面で 読み取る QR コードのフォーマットで「[2桁数字] + [名前] 自動検出」を選択します。さらに、「分包機で印字された QR コードの読み取り」を有効にします。

これで、分包機で印字された QR コードの読み取りが可能となります。

頓服（頓用）薬の指定方法

服薬タイミングが決まっていない頓服（頓用）薬の指定方法としては2つの方法があります。

- （１）お薬（用法）コード毎に頓服（頓用）薬のフラグを設定する方法です。

画面下タブメニュー  「設定」 ⇨ 「お薬設定」 ⇨ **お薬コード設定** ボタンをタップします。
画面下部の、 **お薬コードの詳細設定** ボタンをタップします

頓服（頓用）薬のフラグを設定するお薬コードの詳細画面を表示して、『頓服（頓用）薬に設定する』を有効にします。

『[分包機で印字された QR コードのお薬コードの設定](#)』を参照下さい。

- （２）お薬（用法）コード毎に頓服（頓用）薬のフラグを設定する方法です。

特定の日付が設定された QR コードを作成し、お薬時間帯を24時間設定にする方法です。

『[時間設定による頓服（頓用）薬の指定方法](#)』を参照下さい。

時間設定による頓服（頓用）薬の指定方法

頓服、頓用等の服薬タイミングが決まっていないお薬に対して読み取りチェックを行う場合は、特定の日付が設定された QR コードを作成または、分包機で印刷を行います。



0000000113,0000/00/00,0604

服薬対象者の ID 情報	服薬対象日	服薬タイミング
0000000113	0000/00/00	0604

↓
定時薬 4

ここでは、服薬対象日を 0000 年 00 月 00 日でデータを作成しています。又、服薬タイミングは定時薬 4 の設定を用いています

服薬対象日 0000 年 00 月 00 日の QR コードを読み取った場合、日付のチェックでエラーを出力しない設定を行います。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタンをタップすることで、特定の日付を無視する設定を行います。



「特定の日付を無視する」スイッチを有効にし、「無視する日付」に 0000 / 00 / 00 を設定します。

24 時間いつ QR コードを読んでも服薬タイミングエラーを出力しない設定を行います。

画面下タブメニュー  ⇒ **「お薬設定」** ⇒ **「お薬時間設定」** ボタンをタップすることで、お薬コードが示す服薬タイミングの時間帯を設定します。



⇐ 有効の設定を行います。

⇐ 服薬タイミングの開始時刻と終了時刻を同一時刻に設定します。
ここでは、00 時 00 分を開始時刻と終了時刻両方に設定します。
開始時刻と終了時刻を同じ時刻にすると背景が青色に変化します。

以上で、服薬タイミングが決まっていないお薬の読み取りが可能となります。

薬局／分包機コード

分包機で印字される QR コードデータのお薬(用法)コードはお薬種別毎にユニークな値でなければいけません。もし、同じコードで異なるお薬種別があると、QR コード読み取った場合に間違ったお薬を正しいと判定してしまう可能性があるからです。

しかしながら、薬局で複数の分包機があり、それぞれの分包機で用法コードの自動生成を行った場合、異なるお薬種で同じコードが割り振られる可能性があります。又一つの施設で複数の薬局からお薬を取り寄せている場合も、薬局毎に分包機の設定が異なるために、異なるお薬種で同じコードが割り振られる可能性があります。

このような問題を解決する方法として、分包機コードを QR コードデータに含める方法があります。



0000000113,2022/03/01,0302,12

服薬対象者の ID 情報

服薬対象日

服薬

分包機

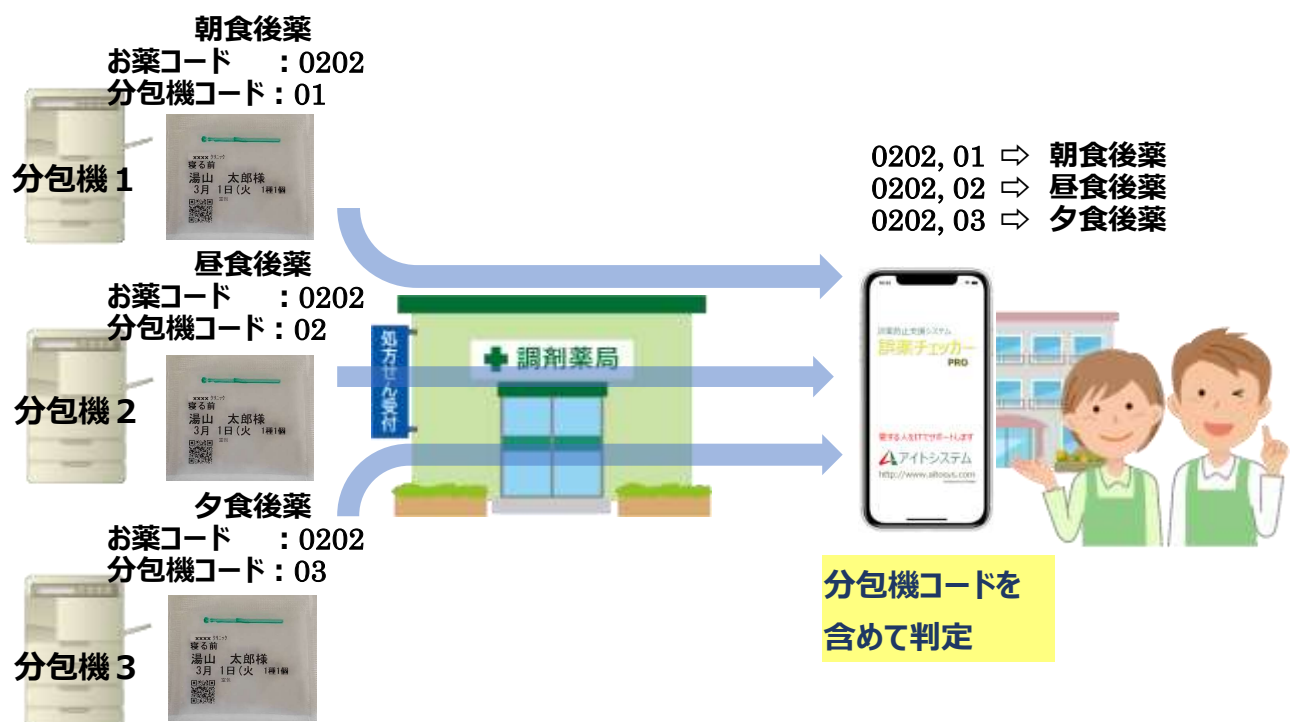
タイミング

コード

【お薬設定】の開始／終了桁数設定で分包機コード桁数設定を有効にしてください。

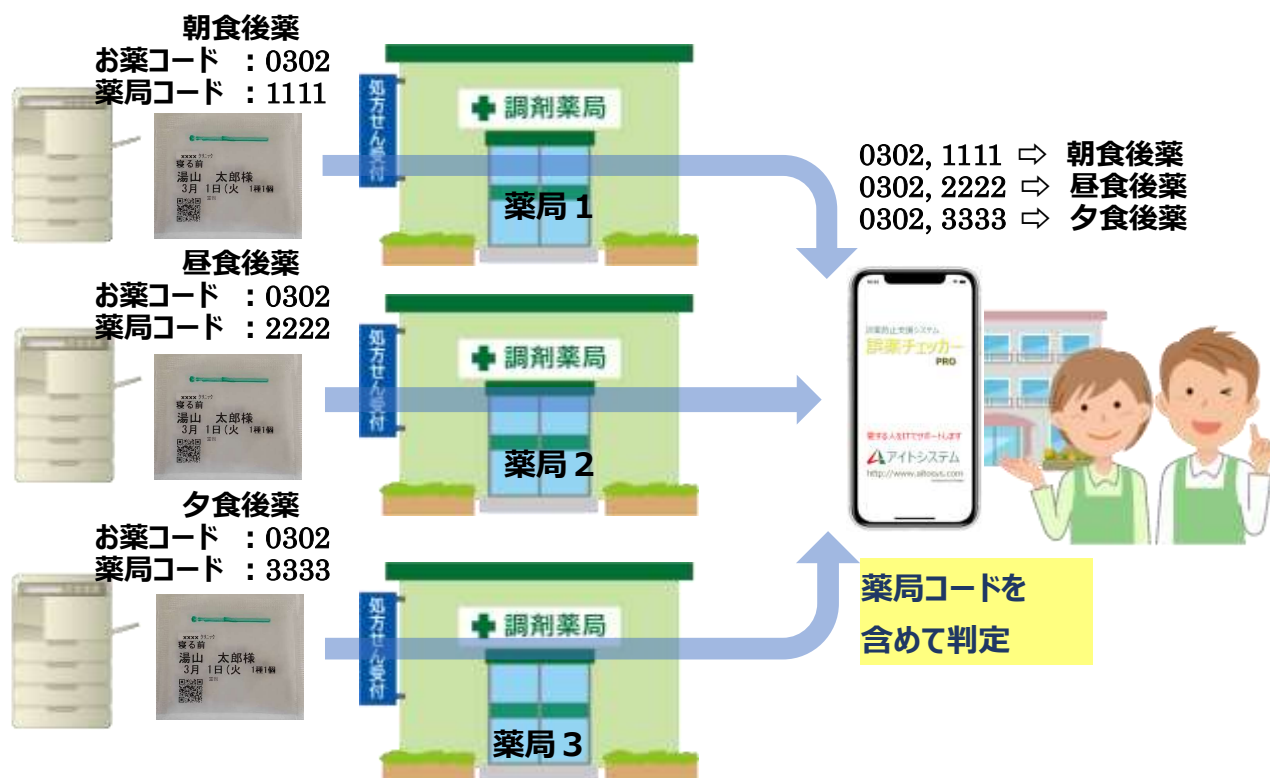
誤薬チェッカーアプリに分包機コードを含めたお薬コードを登録しておくことで、同じお薬コードでも異なるお薬種別と判定することができます。

●複数の分包機がある場合



●複数の薬局からお薬を取り寄せる場合

異なるお薬種別で同じお薬(用法)コードが設定されていても、薬局コードも参照することで、異なるお薬と判定することができます。



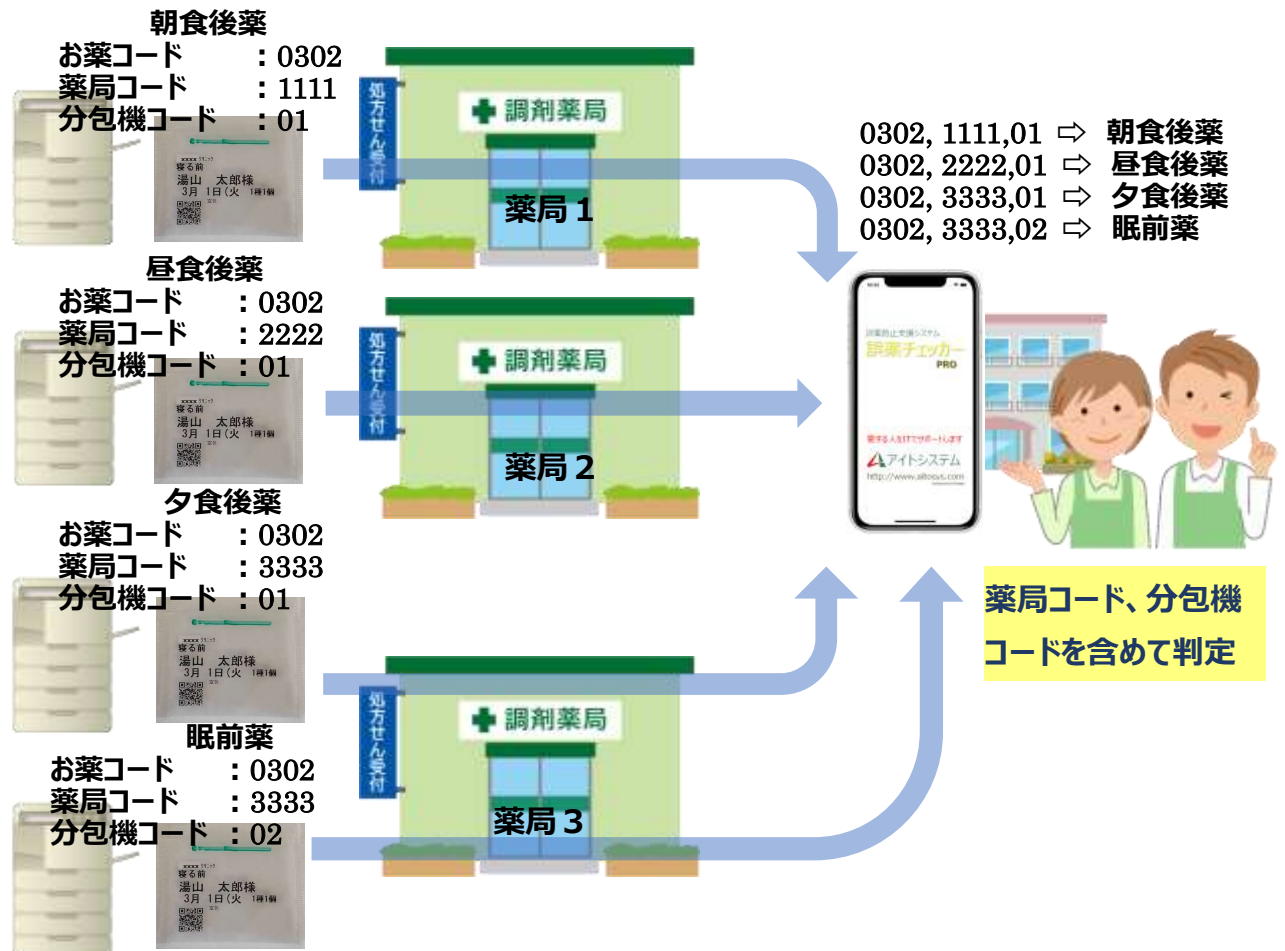
誤薬チェッカーは、4つの薬局毎に4台までの分包機コードを設定することができます。

※複数の薬局からお薬を取り寄せる場合、薬局コードは薬局間でユニークな値とする必要があります。

薬局コードは提携薬局間で調整して頂く必要があります。

●複数の薬局の複数の分包機からお薬を取り寄せる場合

異なるお薬種別で同じお薬(用法)コードが設定されていても、薬局コードと分包機コードを参照することで、異なるお薬と判定することができます。



誤薬チェッカーは、4つの薬局毎に4台までの分包機コードを設定することができます。

※複数の薬局からお薬を取り寄せる場合、薬局コードは薬局間でユニークな値とする必要があります。

※お薬を取り寄せる全ての薬局で、薬局コードと分包機コードを設定する必要があります。

薬局コードは提携薬局間で調整して頂く必要があります。

薬局／分包機コードの設定

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタンをタップしてオプション設定画面を表示します。画面下の **薬局設定** ボタンをタップすると、薬局 1～薬局 4 の設定ボタンが表示されます。設定する薬局のボタンをタップして分包機コードの設定画面を表示します。



使用する分包機の薬局コードと分包機コードを設定します。

使用する分包機の有効設定を行います。

利用する全ての薬局の分包機コードを設定します。有効な薬局コードは全ての薬局間でユニークな値とする必要があります。

薬局の分包機コードが設定できたら、お薬（用法）コードの設定で対象となるお薬種別に分包機コードを紐づけます。

画面下タブメニュー  ⇒ **【お薬設定】** ⇒ **お薬コード設定** ボタン ⇒

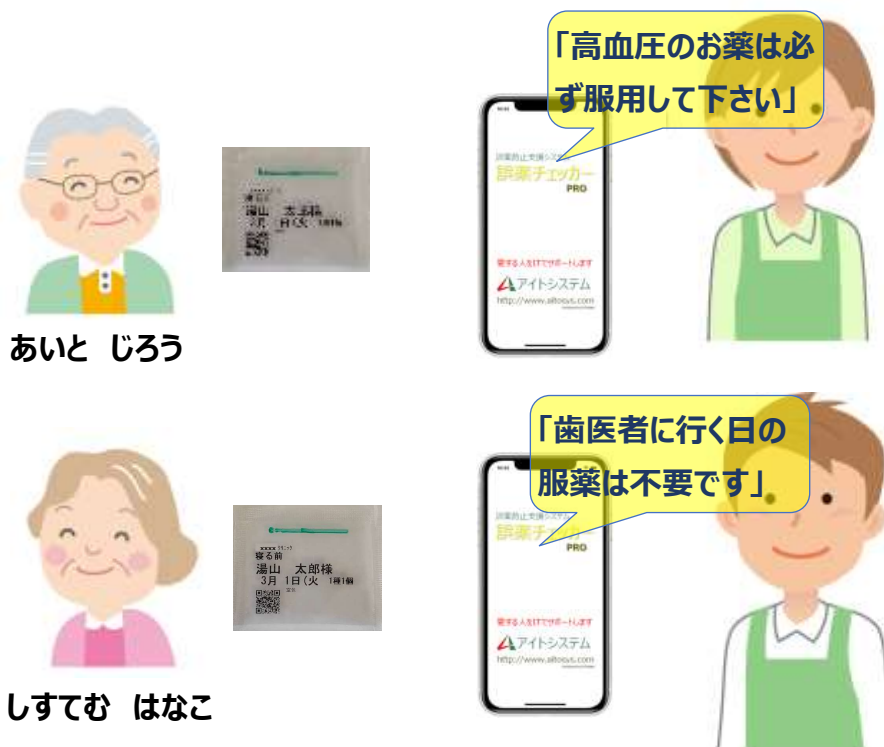
お薬コードの詳細設定 ボタンの順にタップします。お薬コードの詳細設定項目が表示されるので、分包機コードを紐づける、お薬（用法）コードをタップします。



分包機コードを紐づける、全てのお薬（用法）コードに対して薬局名と分包機名を設定することで、分包機コードを含めた QR コードの判定が利用可能となります。

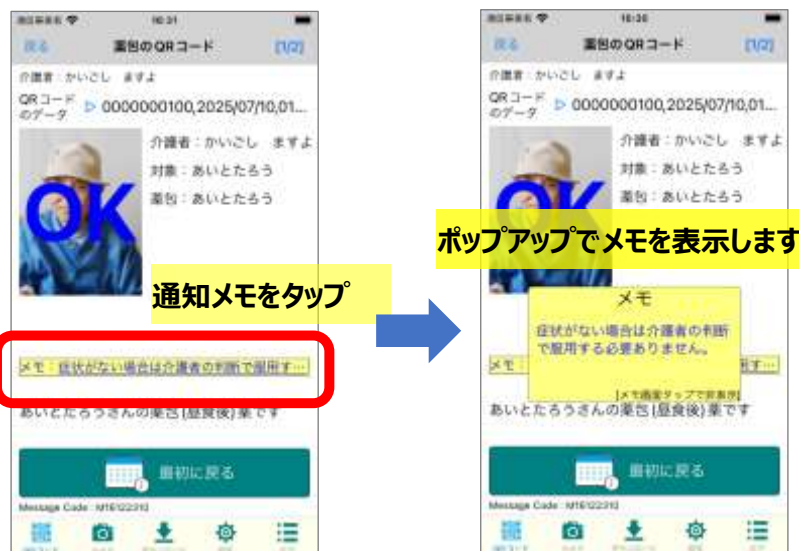
通知メモ表示

配薬完了時に配薬対象者毎に通知メモを表示することが可能です。配薬対象者毎に注意書きを記載しておくことで配薬介護の効率向上を図ります



通知メモは QR コード読み取りシーケンスの最終結果表示画面に表示されます。文章が長くて全文が表示されていない場合は、文字列をタップすることで、ポップアップ表示で内容を確認することができます。

最終結果表示画



通知メモを表示するには、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [通知設定] ⇨ **メモ表示設定** ボタン ⇨ [通知メモ表示設定] ⇨ **通知メモ編集** ボタン の順にタップします。通知メモ編集画面で、通知メモを表示する対象者の項目をタップし、対象者の表示項目選択画面で表示するタイミング項目をタップすると、メモ編集画面が表示されます。



通知メモを表示するには、メモ表示の「有効／無効」スイッチを有効にします。テキストボックスに表示するメモ内容を入力します。

通知メモを表示するタイミングで音声読み上げも可能です。音声読み上げを行うには、音声出力の「有効／無効」スイッチを有効にします。テキストボックスに音声読み上げを行うメモ内容を入力します。読み間違いがある場合は、ひらがな等で入力して下さい。

通知メモデータはサーバで設定することもできます。サーバでの通知メモ設定方法は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

サーバで設定された通知メモデータを端末にダウンロードするには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

サーバで設定された通知メモデータを端末にダウンロードするには、画面下タブメニュー  ⇒ [通知設定] ⇒ **メモ表示設定** ボタン ⇒ **通知メモのダウンロード** ボタンの順にタップします。

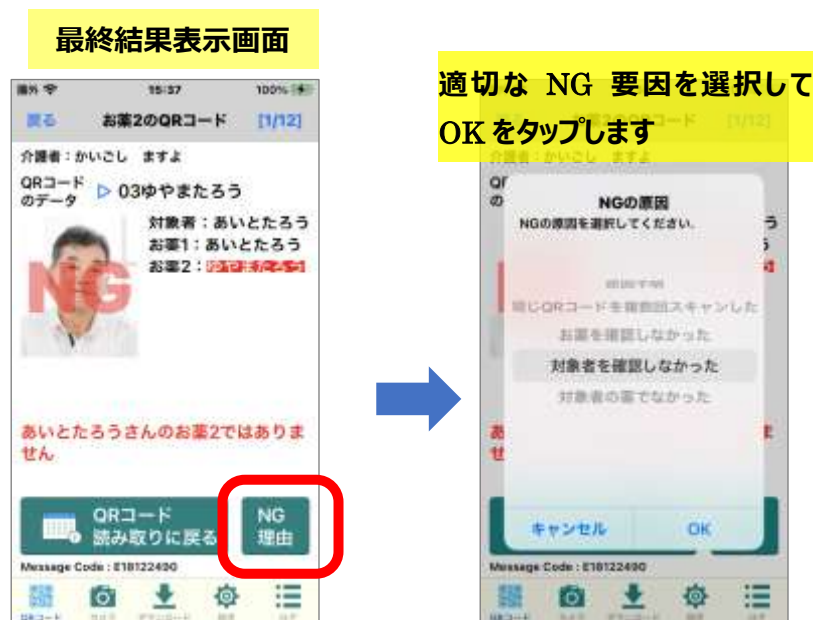
サーバからダウンロードしたデータは **通知メモ編集** ボタンで確認することができます。



QRコード読み取り NG 要因入力

QRコードの読み取り時に配薬間違い等で NG が発生した場合、その原因をログとして保存可能です。ログから原因を解析することで、誤薬のリスク改善を容易に行うことが可能です。

QRコードの読み取りで NG となった場合、[NG 理由] ボタンが表示され、ボタンをタップすると NG 理由を選択する画面が表示されます。NG 理由を選択し、OK をタップすると、NG 理由がログに保存されます。



QRコードの読み取り時の NG 要因入力ボタンを表示するには、画面下タブメニュー [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタン でオプション設定画面を表示します。「NG 理由ボタンの表示」のスイッチを有効にします。



デフォルトで、NG 要因として選べる候補は以下の通りです。

同じ QR コードを複数回スキャンした
お薬を確認しなかった
対象者を確認しなかった
対象者のお薬でなかった
その他の要因

NG 要因の候補は、サーバで CSV ファイルを設定することで、独自の要因を追加、変更することが可能です。最大で 10 要因まで設定することができます。サーバでの NG 要因設定方法は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

サーバで設定された NG 要因データを端末にダウンロードするには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

サーバで設定された NG 要因データを端末にダウンロードするには、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタン ⇨ **NG 理由候補のダウンロード** ボタンの順にタップします。



QRコード読み取り中止要因入力

QRコード読み取りを中止した時、中止理由候補から中止理由を選択し、ログに保存することが可能です。
中止理由を確認することで申し送り時の間違いを防止することができます。

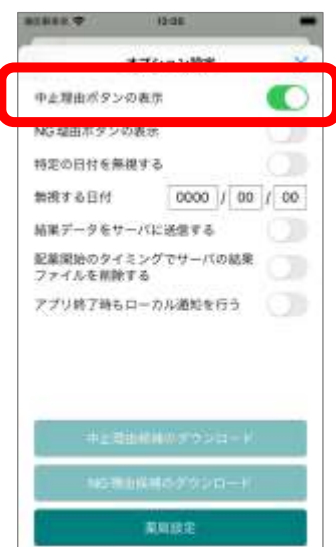
結果表示画面



適切な中止理由を選択して
OKをタップします



QRコードの読み取り時の中止理由入力ボタンを表示するには、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタンでオプション設定画面を表示します。「中止理由ボタンの表示」のスイッチを有効にします。



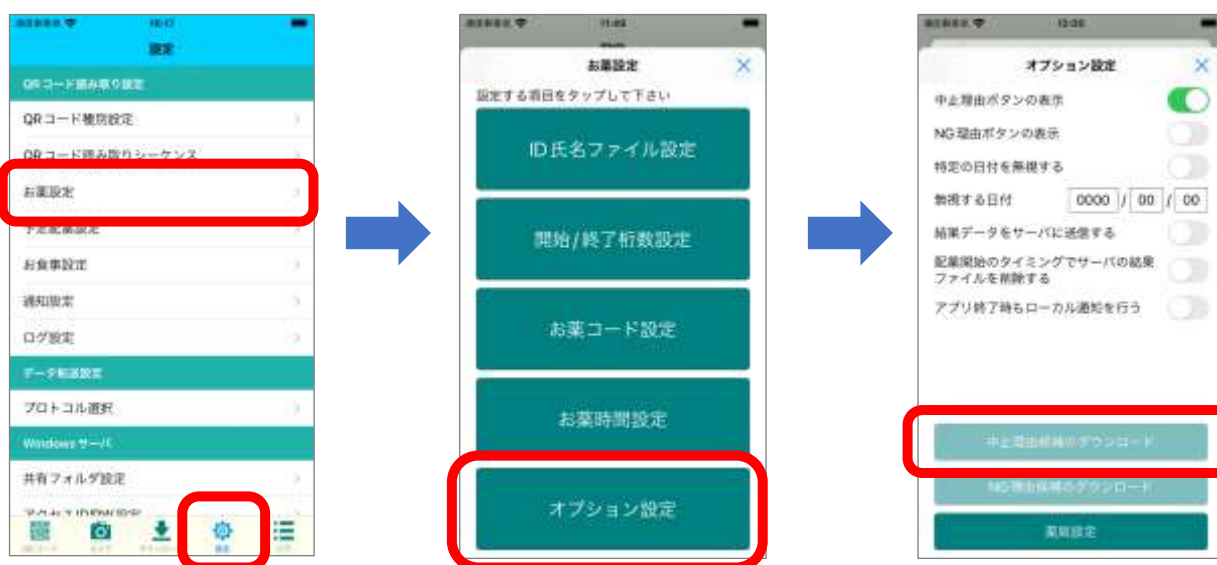
デフォルトで、中止理由として選べる候補は以下の通りです。

お薬を飲まなかった
お薬を吐き出した
お薬を落とした
服用時間変更
ナース/ドクター指示
症状が[悪く/良く]なった
対象者の薬でなかった
QRコード不良
該当理由無し

中止理由の候補は、サーバで CSV ファイルを設定することで、独自の理由を追加、変更することが可能です。最大で 10 まで設定することができます。サーバでの中止理由設定方法は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

サーバで設定された中止理由データを端末にダウンロードするには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

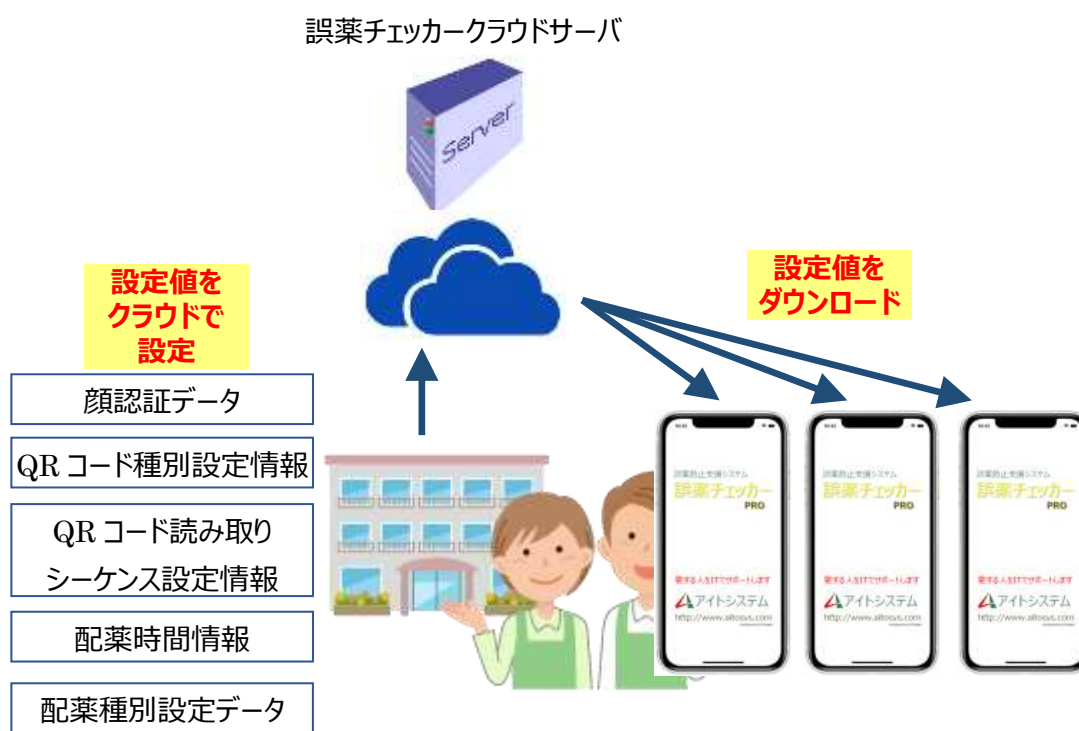
サーバで設定された中止理由データを端末にダウンロードするには、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **オプション設定** ボタン ⇨ **中止理由候補のダウンロード** ボタンの順にタップします。



施設設定のダウンロード

施設様でお薬設定の設定値をクラウドにセットしておく、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。複数台の端末を利用する場合や、端末を利用する介護者とシステム管理の部門（担当者）が別れている場合、クラウドを利用した設定値のダウンロード機能を利用すると、効率的なシステム運用が可能となります。

※クラウドでの設定方法は、『誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド』施設システム管理を参照下さい。



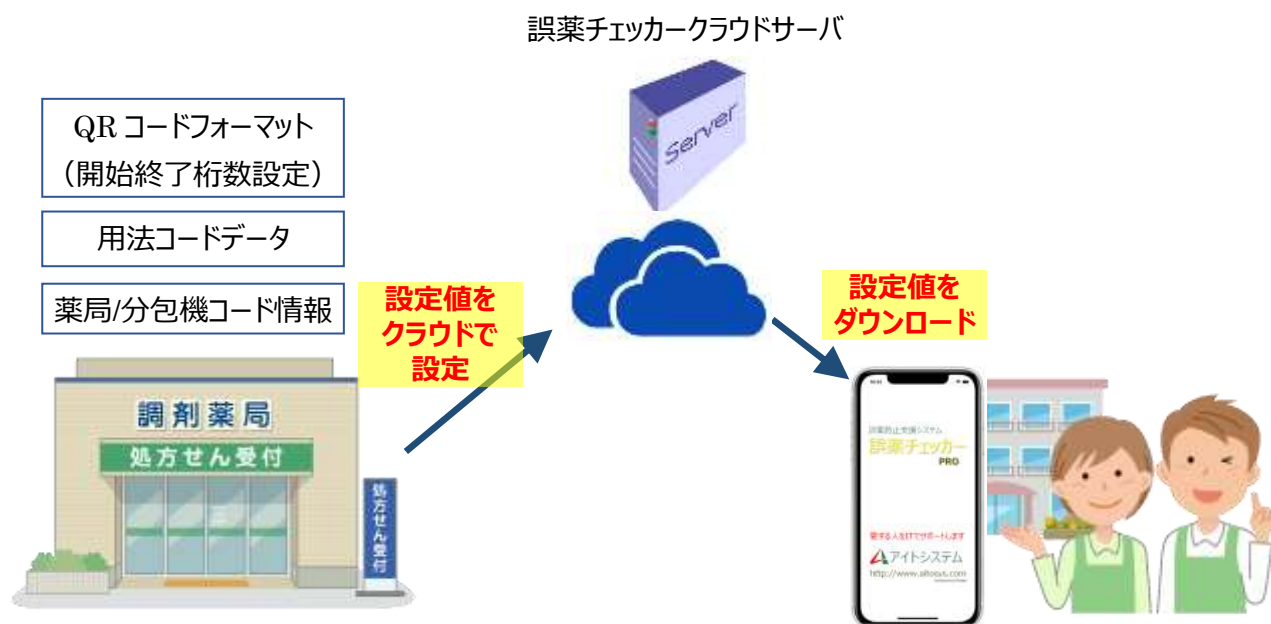
クラウドで設定できる施設設定値には以下のものがあります。

- (1) 顔認証データ
- (2) QRコード種別設定データ
- (3) QRコード読み取りシーケンス設定データ
- (4) 配薬時間設定データ
- (5) 配薬種別設定データ

薬局設定のダウンロード

薬局様でお薬設定の設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

※薬局様でのクラウドへの設定方法は、『誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド』薬局システム管理を参照下さい。



クラウドで設定できる薬局設定値には以下のものがあります。

- (1) QRコードフォーマットデータ（開始／終了桁数設定）
- (2) 用法（お薬）コードデータ
- (3) 薬局／分包機コードデータ

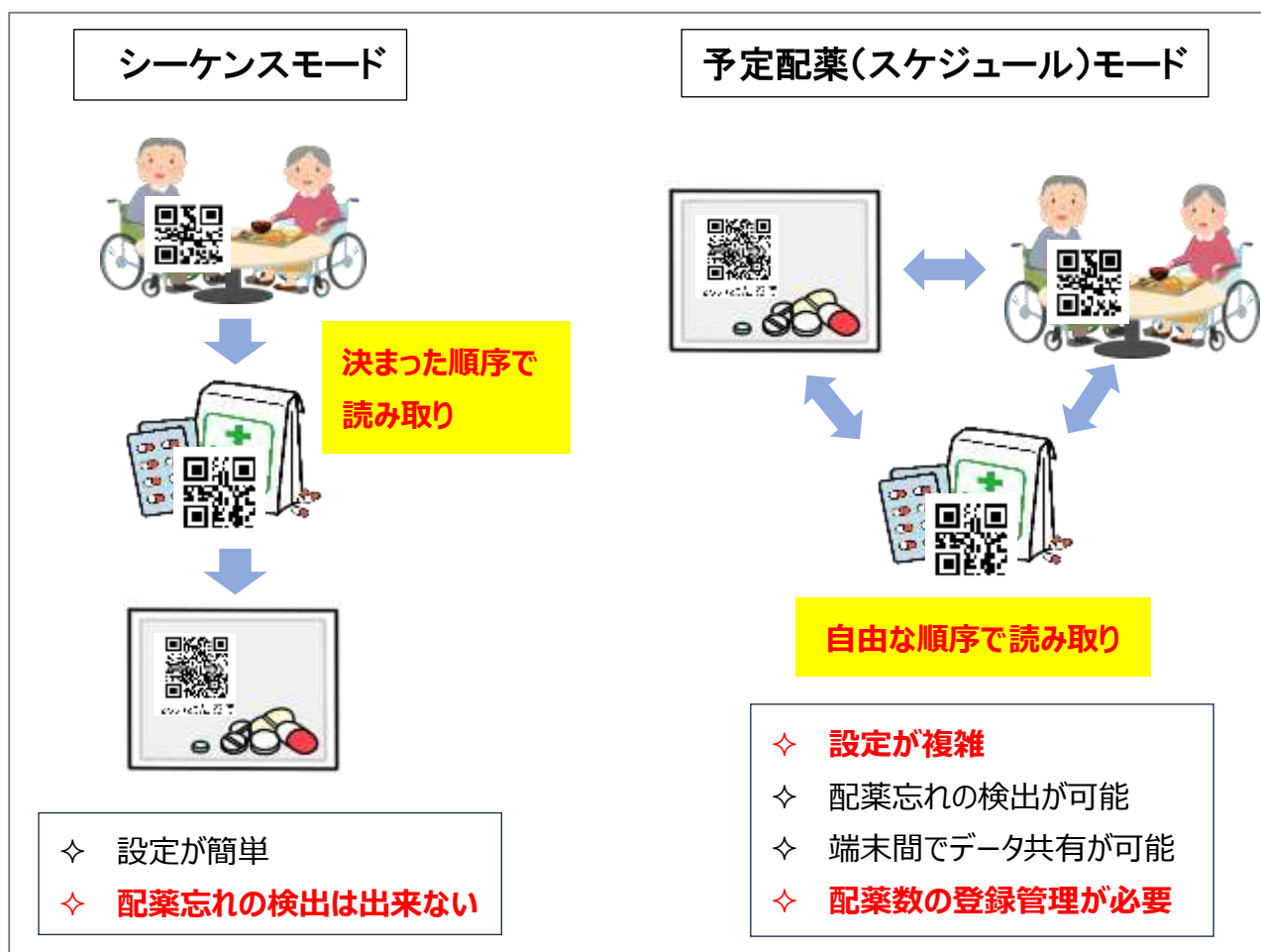
予定配薬

お薬チェックの予定配薬（スケジュール）モードの使い方を示します。

予定配薬（スケジュール）モード

QRコード読み取りシーケンスに基づいたQRコード読み取りを行うモードをシーケンスモードと呼びます。シーケンスモードでは、対象者やお薬のQRコードを読み取る順序が決まっており、QRコードを読み取る順序を間違えるとエラーと判定されます。基本的に読み取られたQRコードを判定するだけなので、配薬忘れや詳細な配薬数の管理は行うことができません。

一方、配薬対象者のお薬種別と配薬個数をあらかじめ登録しておき、登録されたデータに基づいたQRコード読み取りを行うモードを予定配薬（スケジュール）モードと呼びます。予定配薬（スケジュール）モードでは、QRコードの読み取りに順序は決まっておらず、自由な順序で読み取りが可能です。又、用法タイミング毎に配薬忘れや配薬数の確認を行うことができるため、厳密な配薬管理が可能です。しかしながら、配薬対象者の用法タイミング毎の配薬数を登録する必要があり、その運用管理の工数が必要となります。

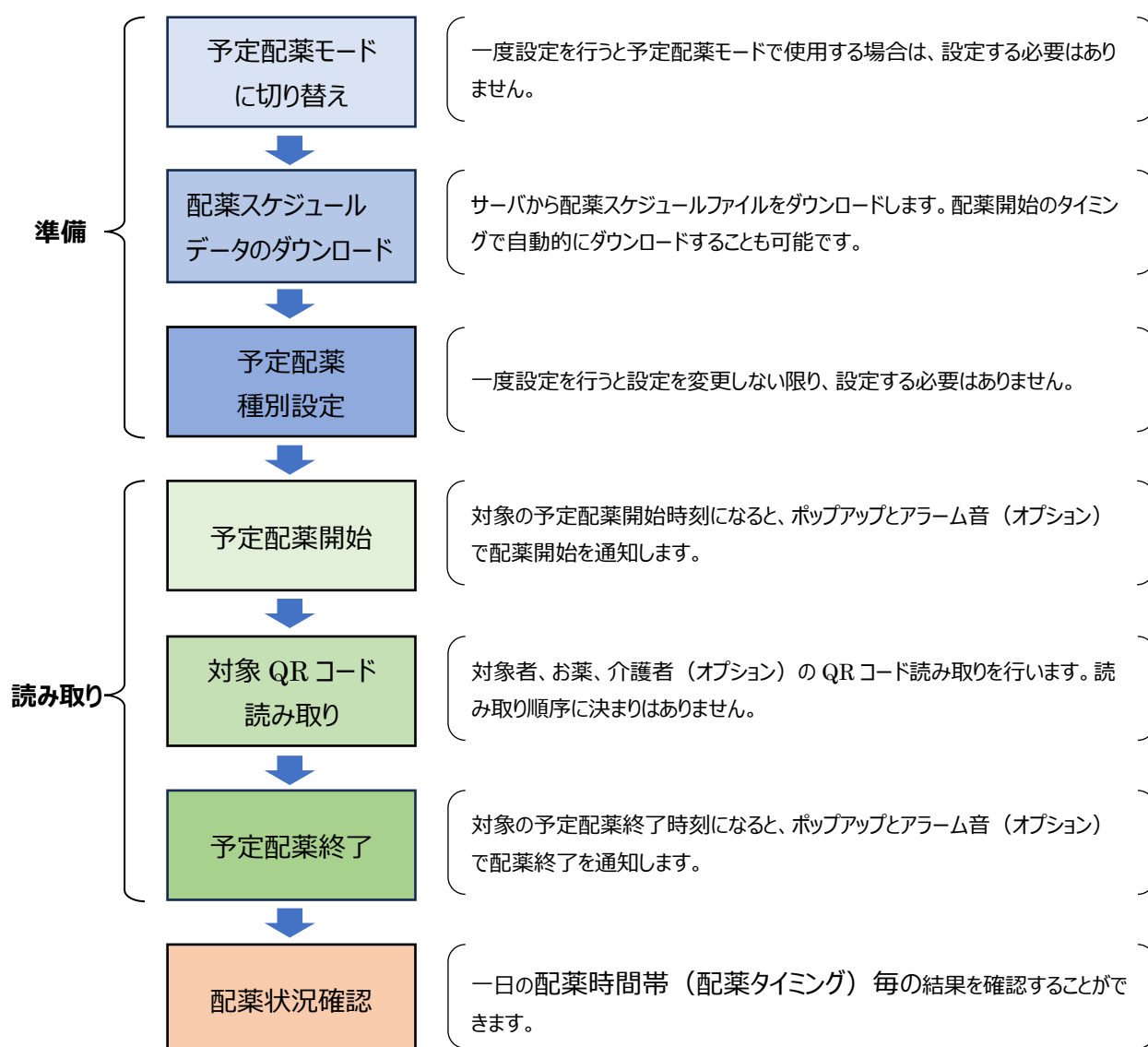


予定配薬（スケジュール）モードでの QR コード読み取りの流れ

予定配薬（スケジュール）モードでは、配薬種別と配薬数をあらかじめ登録しておく必要があります。サーバに保存された CSV ファイルをダウンロードすることで登録することが可能です。

予定配薬（スケジュール）モードで利用できる配薬時間帯（配薬タイミング）は最大 15 個になります。どの配薬種別（朝食後や昼食前といった用法種別）を予定配薬で使用するかの設定を行う必要があります。

シーケンスモードになっている場合は、予定配薬（スケジュール）モードに切り替えて使用します。



予定配薬モードへの移行

予定配薬による QR コード読み取りを行うには、予定配薬（スケジュール）モードを有効にします。モードを変更するには、お薬チェックの「開始」ボタンタップ前でないとは変更できません。

予定配薬（スケジュールモード）への変更は、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [予定配薬設定] ⇨ **予定配薬設定** ボタンの順にタップします。予定配薬設定画面が表示されるので、「予定配薬による読み取り」のスイッチを有効にします。



シーケンスモードから予定配薬（スケジュール）モードした場合、配薬開始通知／配薬終了通知が無効の設定がある場合、「配薬開始／終了通知の変更」ポップアップが表示されます。



予定配薬（スケジュール）モードでは、配薬開始通知／配薬終了通知を必ず有効にしなければなりません。「配薬開始／終了通知の変更」ポップアップで「はい」をタップすると、配薬通知設定の配薬開始通知／配薬終了通知が有効に設定されます。

配薬通知設定は「[予定配薬種別設定](#)」を参照下さい。

予定配薬（スケジュール）モードへの変更は、QRコード読み取りシーケンスの設定画面から変更できます。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [QRコード読み取りシーケンス] をタップします。QRコード読み取りシーケンス画面が表示されるので、「予定配薬による読み取り」のスイッチを有効にします。



配薬スケジュール CSV ファイル

配薬スケジュール CSV ファイルは、配薬対象者の配薬時間種別毎に配薬数を記述した CSV ファイルです。この配薬スケジュール CSV ファイルを端末にダウンロードすることで、配薬対象者のお薬種別と配薬個数を誤薬チェッカーアプリに登録することができます。

対応するお薬種別は、QR コードが印字された薬包、及びお薬 1 ～ 4 です。

予定配薬（スケジュール）モードで利用できる配薬時間帯（配薬タイミング）は最大 15 個になります。設定 1 ～ 15 は、配薬種別（朝食後や昼食前といった用法種別）の設定を行います。配薬種別はスケジュール CSV データの用法コードで定義されます。用法コードの具体的な値に関しては、「誤薬チェッカーNeo CSV フォーマット」を参照下さい。

配薬スケジュール CSV ファイルの記述方法及びフォーマット詳細は「誤薬チェッカーNeo CSV フォーマット」を参照下さい。誤薬チェッカークラウドを利用すると、配薬スケジュール CSV ファイルのフォーマットを意識することなく、配薬スケジュールを設定することができます。詳細は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

スケジュール CSV データフォーマット

<----- 設定 1 お薬数 -----> , <----- 設定 2 お薬数 -----> , <-----
名前, ,有効,用法コード,薬包,お薬 1,お薬 2,お薬 3,お薬 4, 有効,用法コード,薬包,お薬 1,お薬 2,お薬 3,お薬 4,有効,用法コード

スケジュール CSV データ

#	設定 1	設定 2	設定 3	設定 4	設定 15
#					
#					
# 名前	有用種薬薬薬薬薬	有用薬薬薬薬薬	有用薬薬薬薬薬	有用薬薬薬薬薬	有用薬薬薬薬薬
#	効法別包 1 2 3 4	効法別包 1 2 3 4	効法別包 1 2 3 4	効法別包 1 2 3 4	効法別包 1 2 3 4
#					
あいとじろう,"	1,1,1,1,0,0,0	1,4,1,1,0,0,0	1,5,1,1,0,0,0	1,6,1,1,0,0,0	1,9,1,1,0,0,0
あいとたろう,"	1,1,1,1,0,0,0	1,4,1,1,0,0,0	1,5,1,1,0,0,0	1,6,1,1,0,0,0	1,9,1,1,0,0,0
あいとはなこ,"	1,1,1,0,0,0,0	1,4,1,0,0,0,0	1,5,1,0,0,0,0	1,6,1,0,0,0,0	1,9,1,0,0,0,0
きしだふみお,"	1,1,0,1,0,0,0	1,4,0,1,0,0,0	1,5,0,1,0,0,0	1,6,0,1,0,0,0	1,9,0,1,0,0,0
しすてむはなこ,"	1,1,0,0,1,0,0	1,4,0,0,1,0,0	1,5,0,0,1,0,0	1,6,0,0,1,0,0	1,9,0,0,1,0,0
しらとりれいこ,"	1,1,0,0,0,1,0	1,4,0,0,0,1,0	1,5,0,0,0,1,0	1,6,0,0,0,1,0	1,9,0,0,0,1,0

※スケジュール CSV ファイルの先頭文字が # の行はコメント行として認識され、データの取り込みは行われません。

配薬スケジュールファイルを端末にダウンロードするには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

画面下タブメニュー  ⇨ [予定配薬設定] ⇨ **予定配薬ファイル設定** ボタンをタップして予定配薬ファイル設定画面を表示します。

画面下の **スケジュールファイルのダウンロード** ボタンをタップすると、サーバからスケジュールファイルのダウンロードが実行されます。



クラウド接続の場合、クラウドで設定されたスケジュールファイルがダウンロードされます。**ダウンロードされるスケジュールファイルはクラウドに保存されているファイルではなく、配薬スケジュール管理で設定されているデータから動的にスケジュールデータが生成されます。**

配薬スケジュールファイルは、アプリ起動時や QR コード読み取り開始時にサーバからダウンロードすることができます。これらの設定を行うことで、最新のスケジュールファイルで予定配薬を行うことができるようになります。



「起動時にスケジュールファイルのダウンロードを実行する」

誤薬チェッカーアプリ起動時にサーバの配薬スケジュールファイルをダウンロードします。

「読取開始時にスケジュールファイルのダウンロードを実行する」

お薬チェック開始時にサーバの配薬スケジュールファイルをダウンロードします。

[システムオプション設定]の「起動時及び開始ボタン押下で更新データのダウンロードを実行する」オプションが有効な場合、これらのスイッチは無効になります。

予定配薬対象者設定

予定配薬対象者設定では、配薬スケジュール CSV ファイルから読み取った内容の確認や配薬数の変更をすることができます。

画面下タブメニュー  ⇒ [予定配薬設定] ⇒ **予定配薬対象者設定** ボタンをタップして予定配薬対象者設定画面を表示します。設定する対象者の項目をタップすると、配薬タイミングとお薬種別の配薬数リストが一覧となったタイミング選択画面が表示されます。



配薬有り（配薬数が1以上）の項目の背景色は水色で表示されます。

予定配薬によるお薬読み取りでお薬1/2/3/4を含めない設定になっているにも関わらず、お薬1/2/3/4が予定配薬に含まれている項目の背景色は黄色で表示されます。

予定配薬によるお薬読み取りでお薬1/2/3/4を含める設定に関しては「[予定配薬のお薬1/2/3/4設定](#)」を参照下さい。



配薬数にエラーがある場合は背景色が赤色で表示されます。

タイミング選択画面で設定する服薬タイミングの項目をタップすると、予定配薬数設定画面が表示されます。

予定配薬の有効／無効 : 予定配薬の対象とするかを設定します。

用法名称 : 対象データの配薬タイミングを変更します。

お薬の配薬数 :   ボタンで予定配薬数を増減できます。薬包及びお薬1～4の合計が7以下にする必要があります。

予定配薬種別設定

予定配薬（スケジュール）機能を使用するためには、配薬通知（開始通知／終了通知）を有効にする必要があります。予定配薬種別設定で使用する配薬時間帯（配薬タイミング）を設定します。

予定配薬（スケジュール）モードで利用できる配薬時間帯（配薬タイミング）は最大 15 個になります。

配薬時間帯（配薬タイミング）を設定するには、画面下タブメニュー  ⇒ **〔予定配薬設定〕**
⇒ **配薬種別設定** ボタンで表示されるリストから設定する項目をタップします。



用法名称／お薬時間

予定配薬モードで使用する、用法名称とお薬時間を選択します。

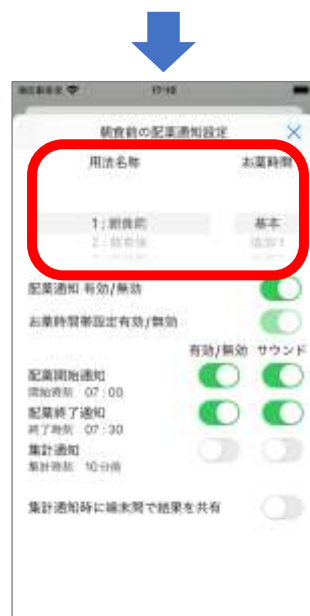
用法名称には、画面下タブメニュー  ⇒ **〔お薬設定〕**
⇒ **お薬コード設定** ⇒ **お薬コードの詳細設定** ボタンをタップして表示されるお薬コードの詳細設定で定義される内容が表示されます。

お薬コードの詳細設定に関しては、「[分包機で印字された QR コードのお薬コードの設定](#)」を参照下さい。

お薬時間は、「用法名称」で選択した、用法タイミングに対応する時間帯（基本、追加 1、追加 2、追加 3）を選択します。

時間帯に対応する時刻は、画面下タブメニュー  ⇒ **〔お薬設定〕**
⇒ **〔お薬設定〕** ⇒ **お薬時間設定** ボタンをタップして表示されるお薬コードの時間設定で定義される時間となります。

お薬コードの時間設定に関しては、「[分包機で印字された QR コードのお薬時間の設定](#)」を参照下さい。





配薬通知 有効／無効

スイッチを有効にすることで、用法名称で設定した予定配薬を有効にします。

お薬時間帯設定有効／無効

お薬時間で設定したお薬時間帯（基本、追加 1、追加 2、追加 3）の有効／無効状態を示します。

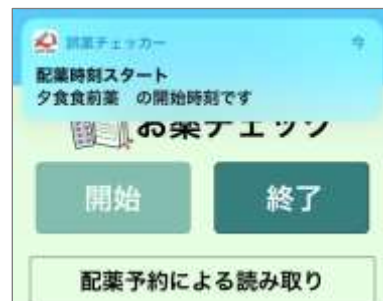
このスイッチはこの画面では、変更できません。スイッチの有効／無効設定は画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **お薬時間設定** ボタンをタップして表示される「[お薬コードの時間設定](#)」で行います。

配薬開始通知

有効／無効スイッチ

スイッチを有効に設定すると、配薬開始時刻になると画面上部に配薬開始のバナーが表示されます。

予定配薬（スケジュール）モードでは、配薬開始通知を必ず有効にする必要があります。



サウンドスイッチ

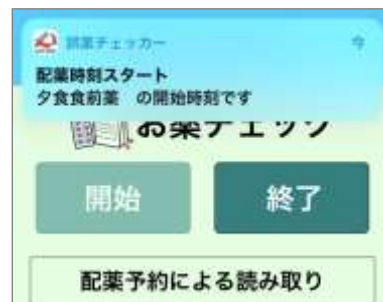
スイッチを有効に設定すると、配薬開始時刻になると、アラーム音が出力されます。

配薬終了通知

有効／無効スイッチ

スイッチを有効に設定すると、配薬開始時刻になると画面上部に配薬終了のバナーが表示されます。

予定配薬（スケジュール）モードでは、配薬終了通知を必ず有効にする必要があります。



サウンドスイッチ

スイッチを有効に設定すると、配薬開始時刻になると、アラーム音が出力されます。

予定配薬の3点チェック

介護者情報の設定はお薬チェック開始前に介護者の QR コードを読み取るか直接名前を設定することで、介護者の名前を登録することができます。（「[介護者情報の設定](#)」参照）

又、対象者のお薬を配薬するタイミングで毎回介護者の QR コードを読み取ることも可能です。予定配薬（スケジュール）モードで介護者の QR コード読み取りを行うには、画面下タブメニュー「設定」⇒「予定配薬設定」⇒ **予定配薬オプション設定** で予定配薬オプション画面を表示します。



「配薬スケジュール読み取りに介護者読み取りを含める」を有効にすると、QR コード読み取りシーケンスに介護者の QR コード読み取りが必須となります。

「配薬スケジュール読み取りに介護者読み取りを含める」を無効にした場合、介護者の QR コード読み取りは必須ではありませんが、介護者の QR コードを読み取ってもエラーとはなりません。

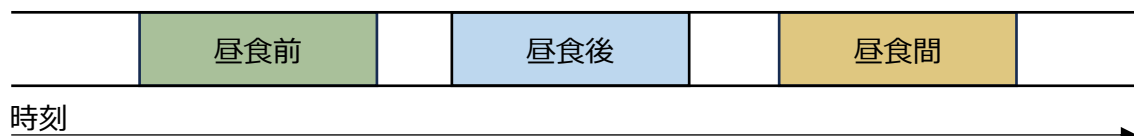
予定配薬のお薬 1/2/3/4 設定

QRコードが印字された薬包以外に、既定のお薬 1/2/3/4 を予定配薬に含めることができます。

お薬 1/2/3/4 の情報だけでは配薬時間帯を判定できないため、お薬 1/2/3/4 を予定配薬に含める場合は、配薬時間帯をオーバーラップさせることはできません。

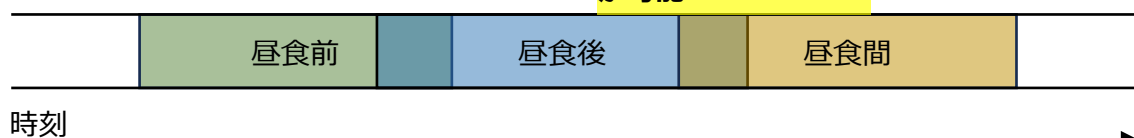
お薬 1/2/3/4 を予定配薬に含める場合

時間帯のオーバーラップ
が不可



QRコードが印字された薬包のみの場合

時間帯のオーバーラップ
が可能



QRコードが印字された薬包のみの場合は、配薬時間帯のオーバーラップが可能です。

お薬 1/2/3/4 を予定配薬に含める場合は、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [予定配薬設定]
⇨ **予定配薬オプション設定** で予定配薬オプション画面を表示します。



お薬 1/2/3/4 を予定配薬に含める場合は、「配薬スケジュール読み取りにお薬 1/2/3/4 を含める」を有効にします。



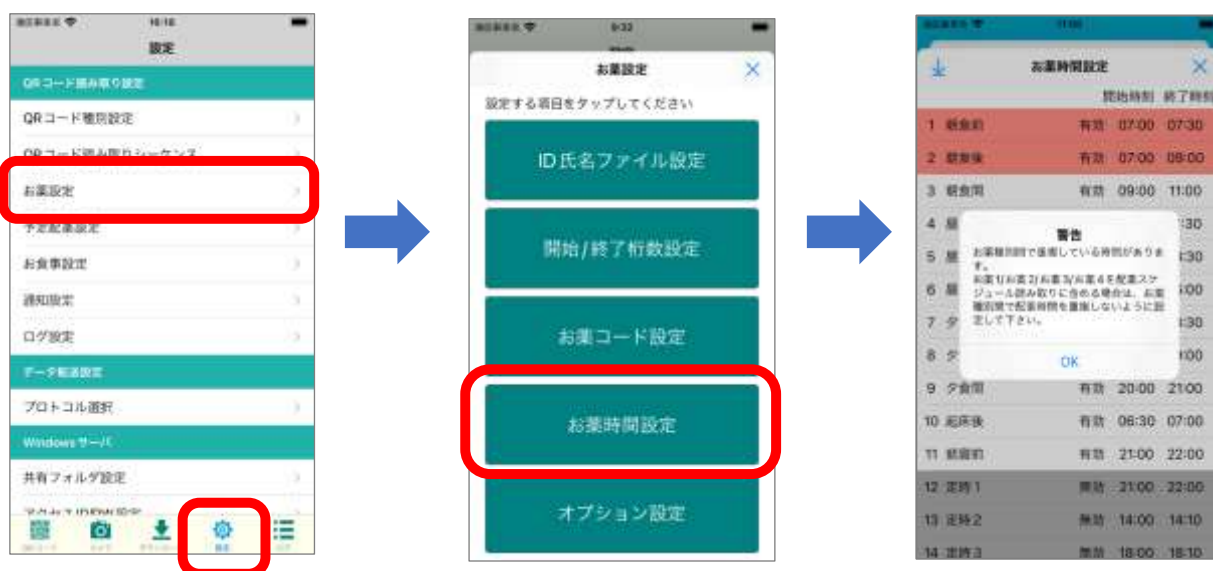
お薬時間がオーバーラップしている時間帯がある状態で、「配薬スケジュール読み取りにお薬 1 / 2 / 3 / 4 を含める」を有効にすると、

「お薬時間設定で重複している時間があります。お薬 1/お薬 2/お薬 3/お薬 4 を配薬スケジュール読み取りに含める場合は、お薬時間を重複しないように設定して下さい」

の警告ポップアップメッセージが表示されます。

この警告が出力された場合は、お薬時間の設定を見直して、お薬時間の重複を解消する必要があります。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お薬設定] ⇨ **お薬時間設定** ボタンをタップすることで、お薬コードが示す服薬タイミングの時間帯を修正します。



お薬時間帯設定の画面を表示すると、お薬時間設定で重複している時間がある内容の警告ダイアログがポップアップ表示されます。OK をタップして問題のあるお薬時間を修正します。重複の発生している項目は背景色が赤色になっているので、全ての項目で修正を行い、問題を解消します。

お薬時間帯設定の設定に関しては、「[分包機で印字された QR コードのお薬時間の設定](#)」を参照下さい。

予定配薬（スケジュール）モードでの QR コード読み取り

ホーム画面になっていない場合は画面下タブメニューの「

QR コード読み取り画面の下部には「介護者」（介護者読み取りオプションが有効な場合）、「対象者」、「お薬」の文字が表示されます。読み取り済の表示はグレー表示となります。

「キャンセル」の文字をタップするとキャンセルメニューが表示されます



「最初から開始」

QR コードの読み取りを最初からやり直します。予定配薬オプション設定で「中止ボタンで結果を初期化する」オプションが有効になっている場合、対象の QR コードデータは破棄されます。

「このまま継続」

キャンセルのキャンセルを行います。QR コード読み取り画面が表示されます。

「中止」

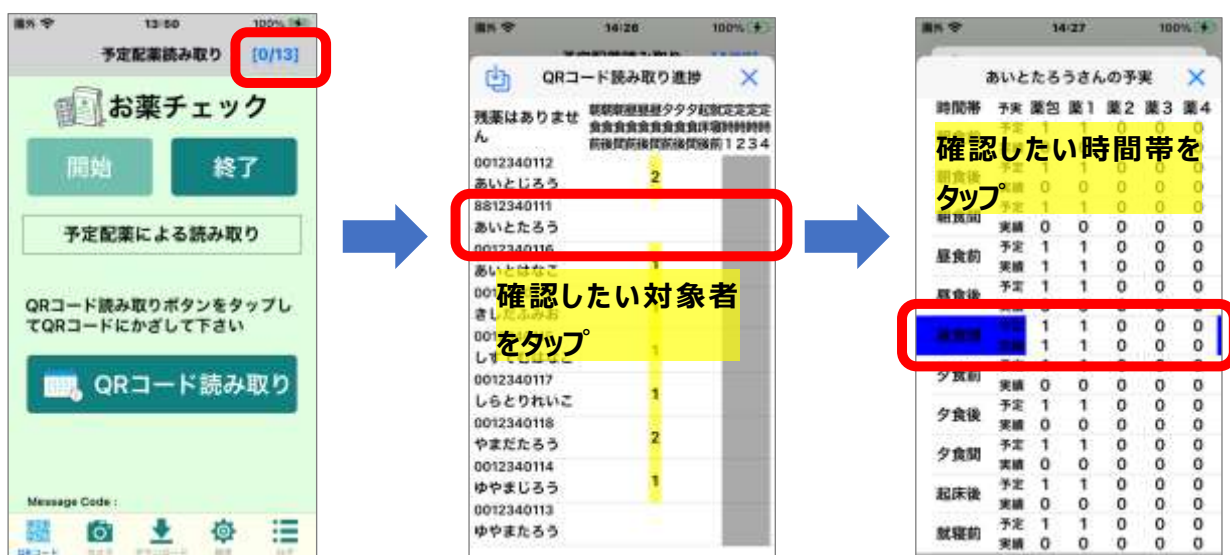
QR コードの読み取りを中止し、最終結果画面に遷移します。

顔認証が有効な場合画面右下の  が有効となります。 をタップすると、顔認証モードに切り替わり、対象者の顔写真撮影画面が表示されます。

QRコード読み取り結果の確認

ホーム画面の右上の数字は配薬対象時間における配薬済数と配薬対象数〔配薬済数／配薬対象数〕を示しています。配薬対象時間外の場合は、〔0／0〕と表示されます。

数字をタップすることで、24時間内の対象者毎の読み取り進捗を確認することができます。配薬対象時間帯で未配薬の対象者の項目は未配薬数が黄色の背景色で表示されます。又残薬を検出した場合は、赤色の背景色で表示されます。



配薬対象者の予実状況を確認したい場合は、確認したい対象の項目をタップします。配薬時間帯毎に薬包、お薬1～4の予実状況を表示します。

更に配薬の詳細情報を確認する場合は、確認したい時間帯の項目をタップします。介護者の名前や最終 QR コードの読み取り時刻、読み取った QR コードのエラー情報等を確認することができます。

実績値をクリアする ボタンをタップすると、読み取った QR コードの実績値とエラー状況がクリアされます。

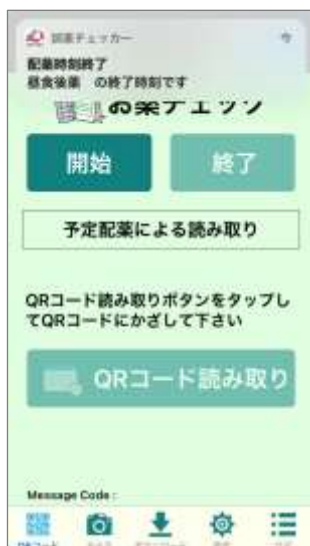


残薬検出機能

予定配薬終了時刻に、全てのお薬の配薬が完了していないと、未配薬の対象者に対してエラーとなり、ログに記録されます。又 QR コード読み取り進捗画面では対象のお薬が赤色の背景色で表示されます。

「[通知設定](#)」の「残薬検出時の音声通知」を有効にすると、残薬検出時に『残薬を検出しました』の音声メッセージでお知らせします。但し、端末の状態によって音声メッセージの出力タイミングが異なります。

アプリが起動状態の場合



配薬終了時刻に音声出力されます。

アプリは起動しているがバックグラウンド状態の場合



バナータップもしくは、アプリアイコンタップのタイミングで音声出力されます。

アプリは起動しているが端末がスリープ状態の場合



スリープ解除のタイミングで音声出力されます。

残薬を検出すると、ログに残薬 NG が記録され、読み取り進捗表示にも残薬を検出したことを表示します。

配薬結果の表示時間は、「予定配薬設定」－「[予定配薬オプション設定](#)」－「配薬結果の表示継続時間」で設定可能です。



集計通知機能

未配薬のお薬があった場合、配薬終了時刻になると残薬として処理されます。集計通知を設定すると、配薬終了時刻よりも前（後）に配薬結果の通知を受け取ることができます。配薬通知を受け取り、配薬状態を確認することで、残薬を防ぐ事が可能です。



集計通知の通知タイミングを設定します。

画面下タブメニュー  [設定] ⇒ [予定配薬設定] ⇒ **予定配薬オプション設定** で予定配薬オプション画面を表示します。



「集計通知の表示タイミング」で配薬終了時刻に対するオフセット時間を設定します。30 分前、20 分前、10 分前、5 分前、終了時刻、5 分後、10 分後、20 分後、30 分後の中から選択できます。

配薬時間帯（配薬タイミング）を設定するには、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [予定配薬設定]
⇨ **配薬種別設定** ボタンで表示されるリストから設定する項目をタップします。

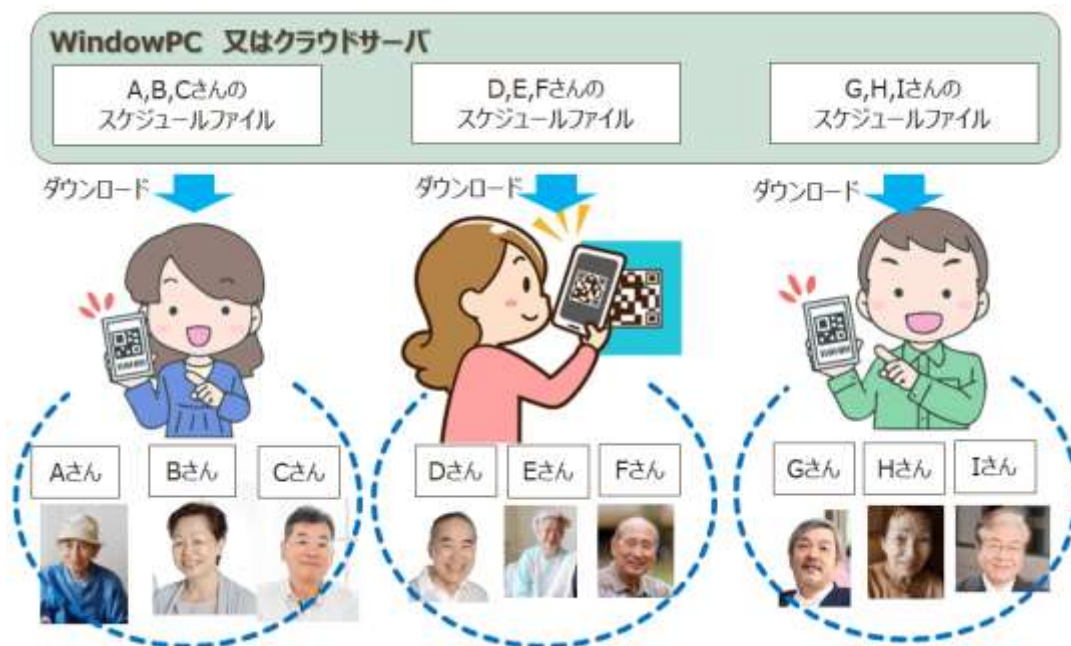


配薬集計時刻になると画面上部に配薬状況通知のバナーが表示されます。

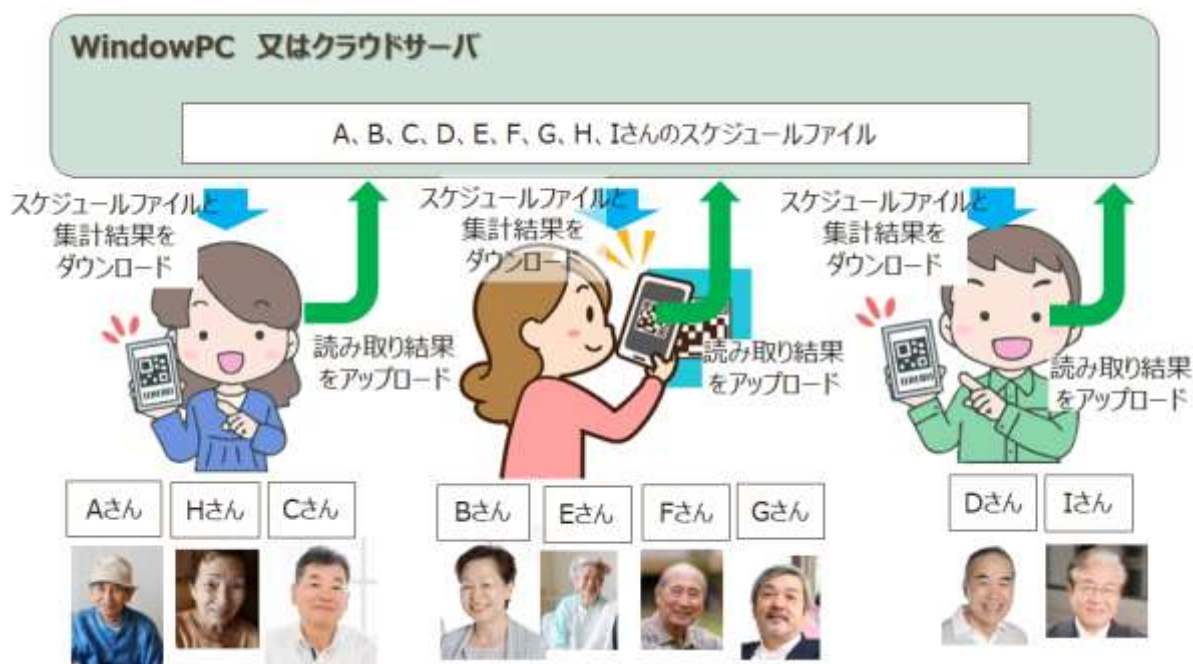


他端末とのデータ共有

複数の端末を予定配薬（スケジュール）モードで利用する場合は、他端末の読み取り状況が判らないため、端末毎にスケジュールファイルを用意して、端末に固定された対象者の QR コードを読み取る必要があります。



読み取り結果の共有機能を用いることで、QR コードの読み取り毎に、読み取り結果をサーバに転送し、データ集計時にサーバのデータをダウンロードすることで、他端末の結果を含めて集計処理を行うことができます。スケジュールファイルも端末毎に用意する必要はありません。



読み取り結果の共有機能を用いるには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

読み取り結果の共有機能を用いる場合は、画面下タブメニュー  [設定] ⇒ [予定配薬設定]
⇒ **予定配薬オプション設定** で予定配薬オプション画面を表示します。



読み取り結果の共有機能を用いる場合は、「お薬時間終了時、端末間で読み取り結果を共有する」を有効にします。読み取り結果の共有機能を用いると、他端末の結果を含めて残薬の判定を行うことができますようになります。

【お薬設定】の **オプション設定** で「結果データをサーバに送信する」オプションが無効の場合、

「端末間でのスケジュール読み取り結果の共有オプションを有効にすると、結果データのサーバ送信オプションも有効になります。よろしいですか。」

の警告ポップアップメッセージが表示されます。

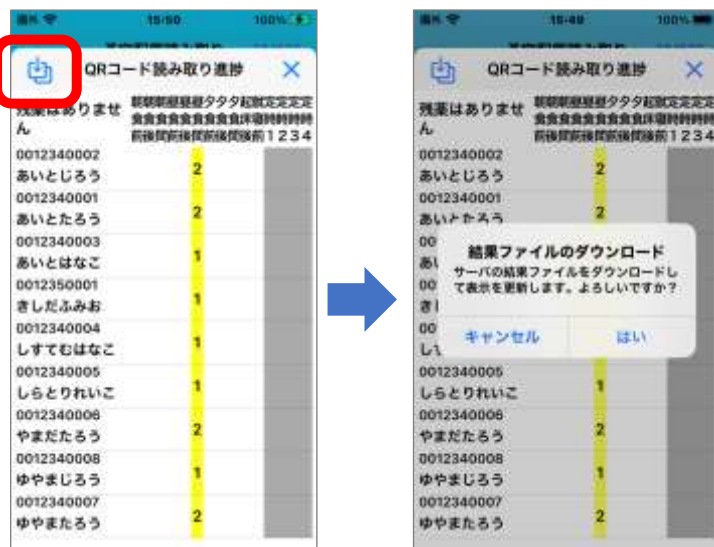
【OK】をタップすると、自動的に、「結果データをサーバに送信する」が有効となります。【キャンセル】をタップした場合は、読み取り結果の共有機能がキャンセルされます。



読み取り結果の共有機能が有効な場合、配薬終了通知もしくは、集計通知のタイミングでサーバの結果データと同期が行われます。

サーバ上の結果データの取り込み

サーバに保存されている結果データを手動で、端末に取り込むことができます。取り込むデータは当日分のデータのみとなり、前日以前のデータは取り込むことができません。



手動で他端末の読み取り進捗状況を反映するには、QRコード読み取り進捗画面の左上のアイコンをタップします。

「結果ファイルのダウンロード」確認ポップアップが表示されるので、問題なければ「はい」をタップすると、他端末の状況が反映されます。

個別の読み取り結果非表示機能

予定配薬（スケジュールモード）では、個別の読み取り結果を表示せず、連続して QR コードの読み取りを実行することができます。

途中結果の表示を行う場合の読み取りシーケンス



途中結果の表示を行わない場合の読み取りシーケンス



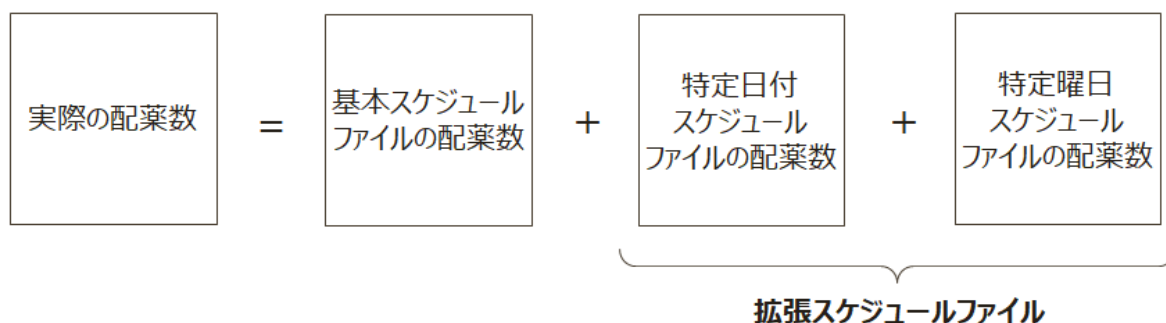
画面下タブメニュー  [設定] ⇒ [予定配薬設定] ⇒ **予定配薬オプション設定** で予定配薬オプション画面を表示します。



途中結果の表示を行わない QR コード読み取りを行う場合は、「配薬スケジュール読み取りで個別の読み取り結果の非表示」を有効にします。

拡張スケジュールファイル

スケジュールファイルは予定配薬の基本となるデータです。特定の日付、特定の曜日で追加する配薬がある場合は、拡張スケジュールファイルを用意することで、予定配薬の基本データに加算もしくは減算することができます。スケジュールファイルの詳細は「[配薬スケジュール CSV ファイル](#)」を参照下さい。



サーバに保存されるスケジュールファイルのファイル名は以下の形式となります。

- ◇ 基本スケジュールファイル : schedule.csv
- ◇ 特定日付スケジュールファイル : schedule_yyyymmdd.csv
- ◇ 特定曜日スケジュールファイル : schedule_www.csv

基本スケジュールファイルのファイル名は自由につけることができます。特定日付スケジュールファイルは、基本スケジュールファイル名のベース部分に日付を示す yyyymmdd が付与されたファイル名となります。

例：2023 年 7 月 16 日の配薬スケジュールを示すファイル名は、schedule_20230716.csv となります。

特定曜日スケジュールファイルは、基本スケジュールファイル名のベース部分に曜日を示す [sun , mon , tue , wed , thu , fri , sat] が付与されたファイル名となります。

例：水曜日の配薬スケジュールを示すファイル名は、schedule_wed.csv となります。

拡張スケジュールファイルを端末にダウンロードするには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

画面下タブメニュー  ⇒ [予定配薬設定] ⇒ **予定配薬ファイル設定** ボタンをタップして予定配薬ファイル設定画面を表示します。

画面下の **拡張スケジュールファイルのダウンロード** ボタンをタップすると、サーバから拡張スケジュールファイルのダウンロードが実行されます。

拡張スケジュールファイルのダウンロード ボタンはスケジュールファイルをダウンロードしないと有効になりません。

スケジュールファイルのダウンロード ボタンをタップして、スケジュールファイルをダウンロードした後、拡張スケジュールファイルをダウンロードして下さい。



※スケジュールファイルのダウンロードを実行すると、端末で保持している QR コードの読み取りデータはクリアされます。

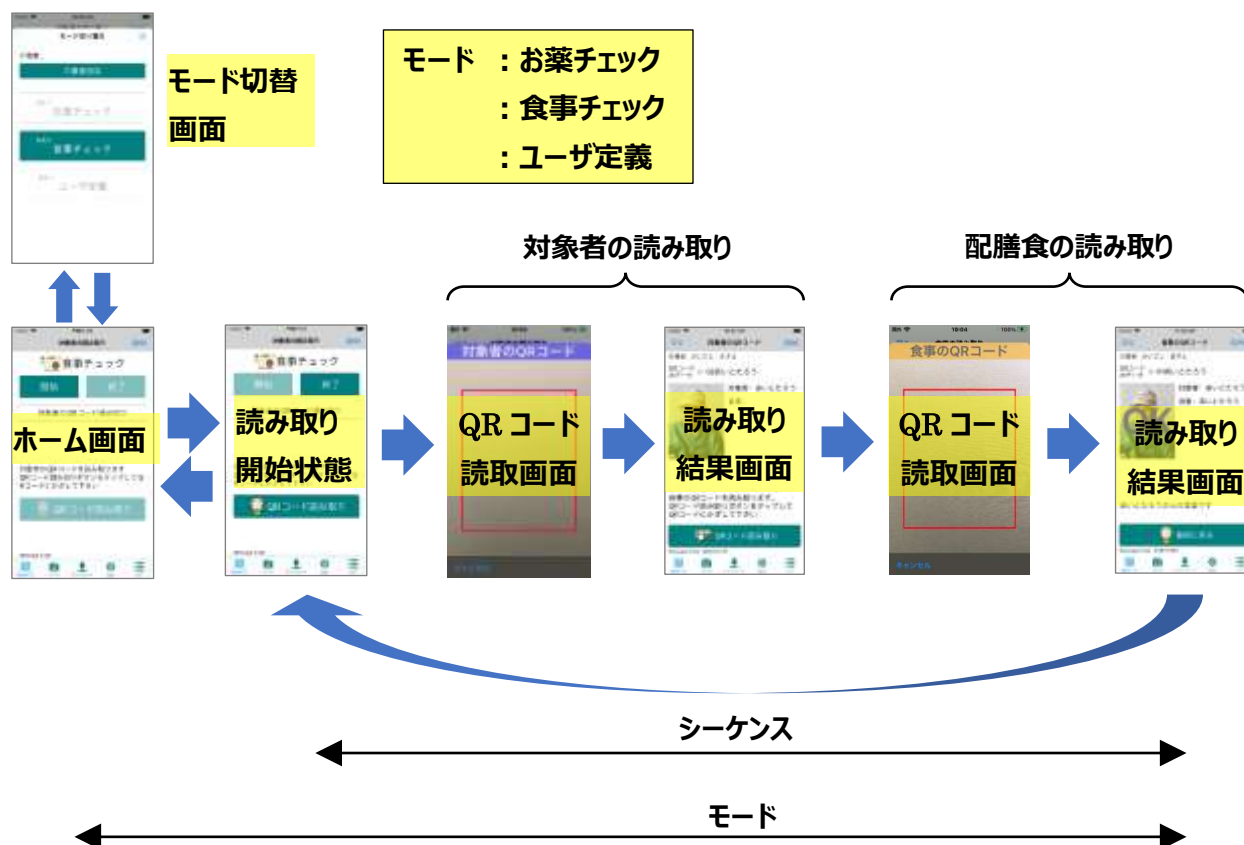
結果データをサーバに送信しておけば、「[結果ファイルのダウンロードを実行](#)」することで、当日の結果データを読み出すことが可能です。

食事チェック

配膳食の QR コードを読み取って食事の間違いないか判定を行う方法を示します。

食事の QR コード読み取りの流れ

食事 QR コード読み取りの流れを以下に示します。



食事 QR コード読み取りはホーム画面から始まります。食事チェックを開始すると、読み取り開始状態に遷移します。最初に対象者の QR コード読み取ると、読み取り結果が表示されます。次に食事の QR コード読み取ると、読み取り結果の画面に判定結果が表示されます。

引き続き、次の対象者の QR コードを読み取る場合は、読み取り開始状態に遷移し、同様に対象者の QR コード、食事の QR コードを読み取ります。

全ての対象者のお薬チェックが完了すると、ホーム画面に遷移することで、モード切り替えが行えるようになります。

シーケンス : 一人の対象者の読み取り開始状態から最後の読み取り結果までの流れ

モード : 食事チェックを開始して全ての対象者の読み取りを完了し食事チェックを終了するまでの流れ

食事チェックモードの切り替え

QRコードの読み取りモードを切り替えるには、ホーム画面で読み取りシーケンスが開始されていない状態（**開始**ボタンが有効になっている状態）で画面下タブメニューの「**QRコード**」を**長押し**するとモード切り替え画面が表示されます。

※読み取りシーケンスが開始されている状態では切り替え画面は表示されません。



お薬チェック、**食事チェック**、**ユーザ定義** ボタンのいずれかをタップして（ここでは **食事チェック** ボタンをタップ）モードを選択します。

又、モード切り替え画面で食事チェックを行う介護担当者の名前を入力します。**介護者設定** ボタンをタップして、介護者の名前を登録します。画面のキーボードから入力する他に、QRコードを読み取ることも入力可能です。

QRコードで読み取る場合は、（数字2桁）＋（名前）のフォーマットのQRコードを読み取ります。数字2桁はどのような値でも読み取り可能です。

食事チェック QR コードの読み取り

配食対象者のQRコード読み取り

食事チェックを開始して、配食対象者の QR コードを読み取るには **開始** ボタンをタップします。



QRコード読み取り ボタンが有効となり、対象者の QR コードを読み取るには、**QRコード読み取り** ボタンをタップします。カメラが起動するので、対象者の QR コードを画面に映すと読み取りが完了します。

対象者の QR コード読み取り結果が表示されます。



QR コードの読み取り内容、対象者の名前、顔写真が登録されている場合は顔写真が表示されます。

顔写真が登録されていない場合は以下の画像が表示されます。



顔写真の登録方法は「[顔写真の管理](#)」を参照下さい。

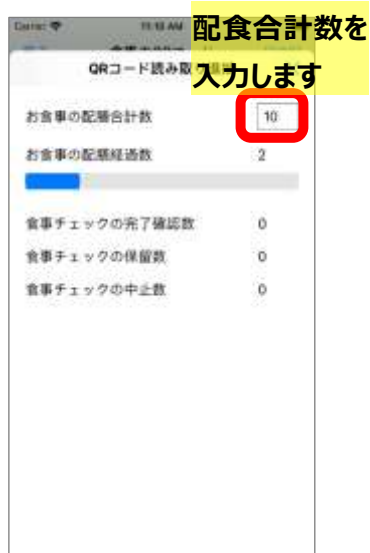
食事のQRコード読み取り

対象者のQRコード読み取りに続いて、食事のQRコードを読み取ります。



カメラが起動するので、お薬の QR コードを画面に映すと読み取りが完了し、判定結果が音声メッセージと共に表示されます。内容確認後、最初の画面に戻るボタンをタップしてホーム画面に遷移します。

又、画面右上の数字をタップすると読み取りの進捗状況を確認することができます。



食事の配食合計数を入力しておく、現在の配食経過数とその進捗度が進捗バーで表示されます。

食事チェックの完了確認数、保留数、中止数は、読み取りシーケンスの中で完了確認を行った時の合計数を表示します。

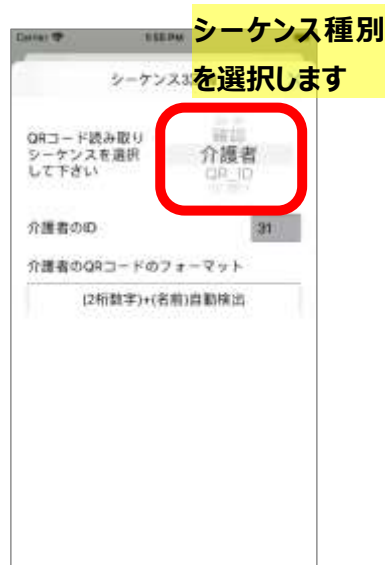
読み取りシーケンス中はいつでも、読み取りの進捗状況を確認することができます。又、その値は食事チェックモードの開始（**食事チェック開始** ボタンをタップ）した時にクリアされます。

食事チェック読み取りシーケンスの変更

対象者と食事の QR コードだけでなく、介護者や独自に定義した QR コードを読むことができます。又、その順序も自由に設定可能です。読み取りシーケンスを設定するには、画面下タブメニュー **設定** ⇒ **[QRコード読み取りシーケンス]** ⇒ **食事チェック設定** ボタン ⇒ **[設定したいシーケンス項目]** の順にタップします。



シーケンス定義の設定画面が表示されます。ここで設定したいシーケンス種別を選択します。



シーケンス種別は以下の中から選択できます。

- 対象者 : 対象者の QR コード読み取り
- お薬 1 : お薬 1 の QR コード読み取り
- お薬 2 : お薬 2 の QR コード読み取り
- お薬 3 : お薬 3 の QR コード読み取り
- お薬 4 : お薬 4 の QR コード読み取り
- 食事 : 食事の QR コード読み取り
- 確認 : 完了確認を表示します。読み取り進捗状況に表示する
[完了] [保留] [中止] を登録できます
- 介護者 : 介護者の QR コード読み取り
- QR_ID : QRID (先頭二桁の数字) に従って種別を判定します。
- 定義 1 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 2 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 3 : ユーザ定義の QR コード読み取り
- 定義 4 : ユーザ定義の QR コード読み取り

食事チェックシーケンス設定例 1

食事チェック		
シーケンス 1	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 2	食事	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 3	介護者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 4	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 5	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 6	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 7	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 8	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出

シーケンスの第 1 ステップ：対象者の QR コード読み取り

シーケンスの第 2 ステップ：食事の QR コード読み取り

シーケンスの第 3 ステップ：介護者の QR コード読み取り

上図のような設定の場合読み取りシーケンスは以下のようになります。



- ※ 最大 8 個のシーケンス種別を設定できます。
- ※ 同一項目のシーケンス種別も設定できます。
- ※ 未定義の項目でシーケンスは終了します。
- ※ 右図のような場合、シーケンス 5 は実行されません。

食事チェック		
シーケンス 1	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 2	食事	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 3	介護者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 4	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 5	定義1	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 6	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 7	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 8	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出

シーケンス4で終了し
シーケンス5(定義 1)
は実行されません

食事チェックシーケンス設定例 2

食事チェック		
シーケンス 1	対象者	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 2	食事	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 3	確認	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 4	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 5	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 6	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 7	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出
シーケンス 8	未定義	{2桁数字}+(名前)自動検出

シーケンスの第 1 ステップ：対象者の QR コード読み取り

シーケンスの第 2 ステップ：食事の QR コード読み取り

シーケンスの第 3 ステップ：完了確認

上図のような設定の場合読み取りシーケンスは以下のようになります。



完了確認画面では、 完了、 保留、 中止 ボタンが表示され、配薬の状況に応じて対応するボタンをタップします。画面右上の数字をタップすると、完了、保留、中止それぞれの配薬数を確認することができます。

配膳食種別の QR コード読み取り

食事の QR コードの読み取りでは、食事の QR コードは（数字 2 桁）＋（名前）で構成されるため、配膳食に張り付ける QR コードは、配食対象者毎に作成する必要があります。



配食対象者と食事種別のデータを用意して頂くと、食事種別での判定をすることができます。これにより配膳食に張り付ける QR コードは食事種別の数だけですみます。



配食対象者の食事種別情報設定

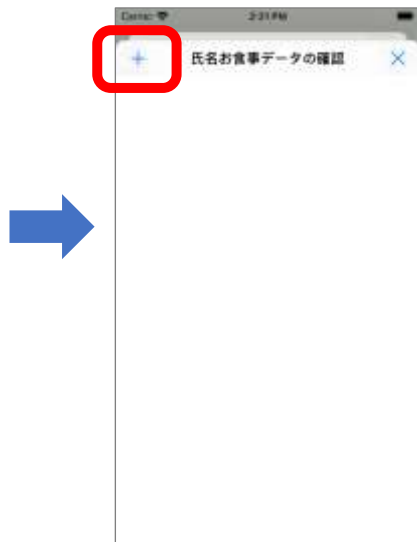
配食対象者の食事種別を特定するには、配食対象者と食事種別を紐づける情報が必要となります。端末ごとに入力することも可能ですが、複数の端末を設定する場合は、配食対象者と食事種別を記述した CSV ファイルをサーバからダウンロードすることで簡単に設定可能です。

端末ごとに入力する場合

配食対象者の名前と食事種別情報を入力するには、画面下タブメニュー  ⇒ **【お食事設定】** ⇒ **氏名お食事ファイルの編集** ボタン ⇒ ID 氏名データの確認画面左上 **【+】** の順にタップします。



氏名お食事変換を有効にします。



配食対象者の名前をひらがなで入力します。服薬対象者の QR コードの名前の形式（半角 or 全角、空白有無）と一致している必要があります。

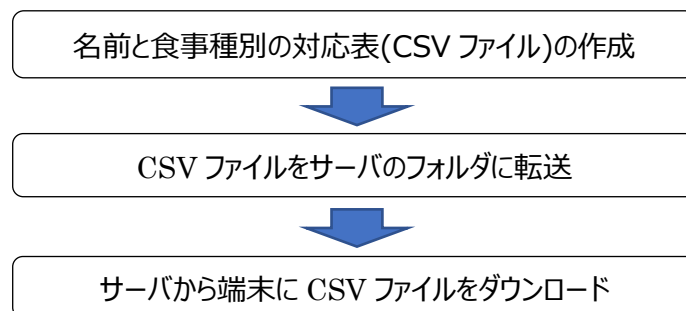
お食事種別には普通食、減塩食など、食事種別を入力します。

画面右上の **【x】** で終了します。

【+】 ボタンをタップして設定対象者全てのデータを入力します。

サーバからダウンロードする場合

ID 情報と名前をサーバからダウンロードして設定する場合は以下の流れになります。



名前と食事種別の対応表(CSV ファイル)の作成

あいとたろう,普通食
あいとじろう,糖尿病食
ゆやまたろう,普通食
ゆやまじろう, 普通食
しすてむはなこ,減塩食
⋮
⋮

パソコンのメモ帳やエクセルを使って、名前と食事種別の対応表を作成します。作成したデータを csv 形式(,(カンマ)で区切られたテキストファイル)で保存します。
ファイル名は”name_meal.csv”で保存します。

※文字コードは shift-JIS で保存する必要があります。
Windows のメモ帳アプリやエクセルではデフォルトで shift-JIS で保存されます。

CSV ファイルをサーバに転送

作成した CSV ファイルをサーバの共有フォルダに保存します。（サーバの設定方法は『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』を参照下さい）

サーバから端末に CSV ファイルをダウンロード

設定メニューのデータ転送設定のプロトコル選択でデータ転送プロトコルを選択し、ネットワークに接続状態にします（「[ネットワーク接続](#)」参照下さい）。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [お食事設定] をタップし、お食事設定画面から **氏名お食事ファイルのダウンロード** ボタンをタップします。一度ダウンロードを実行すると、サーバのファイルを更新するまではダウンロード不要です。又、アプリの起動毎にダウンロードを実行することも可能です。

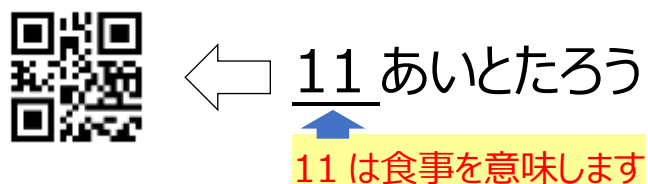


※配食対象者の名前と食事種別情報が一つも存在しない状態で氏名お食事変換を有効にした場合、配食対象者の名前が登録された QR コードの読み取りモードになります。

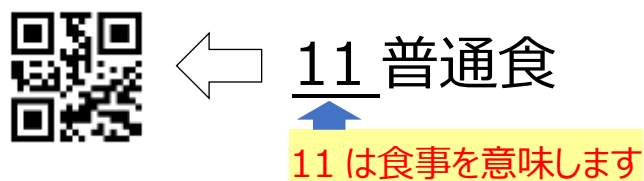
※氏名お食事変換を有効にした状態で、読み取りシーケンスに複数の食事の QR コード読み取りを設定した場合、最後の食事の QR コード読み取りで取り込んだ食事種別が有効となります。

※氏名お食事変換の QR コードは（食事を示す数字 2 桁：初期時は 1 1）＋（食事種別）の形式で作成します

【例】通常（個人毎）の食事の QR コード



【例】氏名お食事変換の食事の QR コード



ネットワーク接続

サーバの画像ファイルや CSV ファイルにアクセスするためのネットワーク接続方法を示します。

利用可能なサーバ方式

写真データの管理やログデータの管理等の為にお客様が用意した PC(サーバ)やインターネット上のサーバにアクセスすることができます。誤薬チェッカーNeo は以下の 3 種類のサーバアクセスに対応しています。



Windows 共有フォルダ接続

セキュリティの観点から施設内の端末をインターネットに接続したくない場合があります。そのような場合は、施設内の閉じたネットワーク内でアクセスできる Windows パソコンをサーバとして利用可能です。施設内の Windows パソコンで写真を保存しているフォルダを共有設定することで誤薬チェッカーNeo からアクセスすることができます。

クラウドサーバ接続（オプション）

施設内にネットワーク環境がない場合、アイトシステムが用意したクラウドサーバの利用が可能です。パソコンやスマホを使って簡単に画像やログの管理ができます。



SSH(SCP)サーバ接続

施設内でレンタルサーバ事業者を介してホームページの開設を行なっている場合、レンタルサーバ事業者の SSH(SCP)サーバが使える場合があります。そのような場合、SSH(SCP)サーバを誤薬チェッカーNeo のサーバとして利用可能です。

Windows 共有フォルダ接続設定

Windows の共有フォルダを利用する場合は、共有フォルダにアクセスするために、Windows パソコンの IP アドレスと共有フォルダ名を設定します。画面下タブメニュー [設定] ⇨ [Windows サーバ 共有フォルダ設定] の順にタップします。

IP アドレスの値と共有フォルダ名に関しては PC 管理者に問い合わせるか、『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』を参照願います。



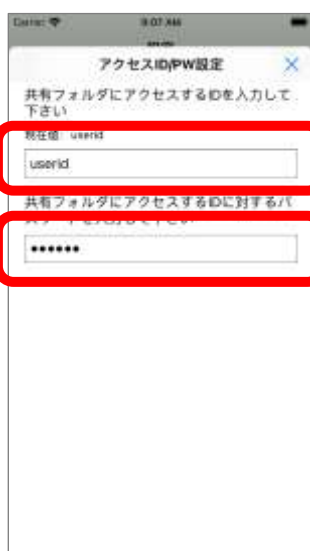
共有設定をしている Windows パソコンの IP アドレスを設定します。

共有設定をしている Windows パソコンの共有フォルダを設定します。

Windows の共有フォルダにアクセスするために、アクセス ID とそのパスワードを設定します。

画面下タブメニュー [設定] ⇨ [Windows サーバ アクセス ID/PW 設定] の順にタップします。

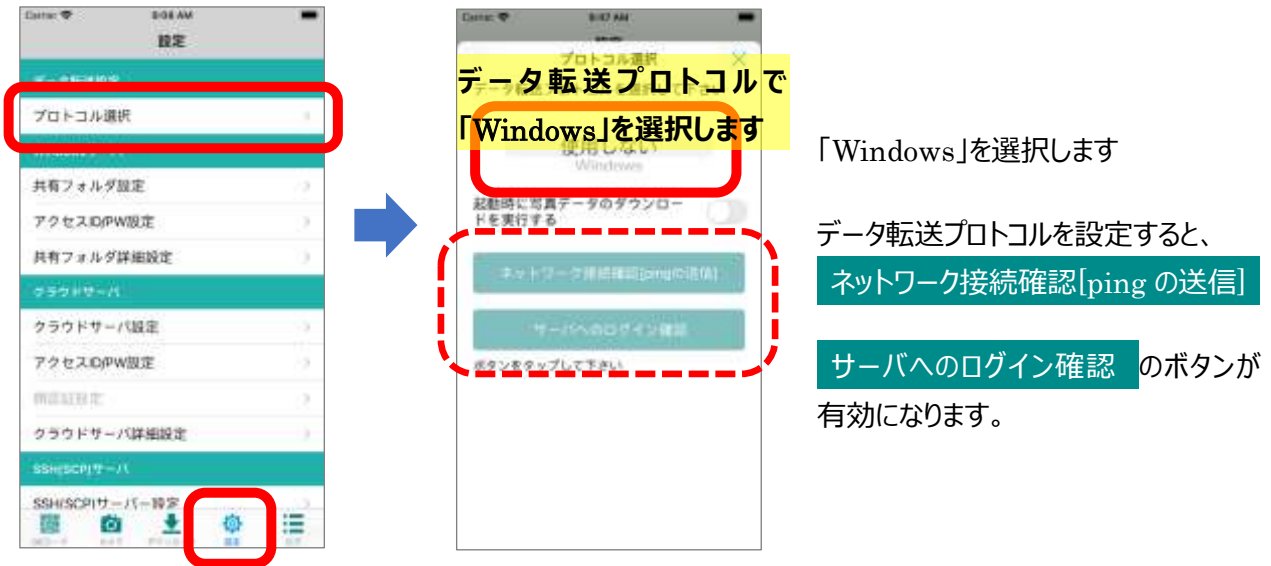
ユーザ ID/PW に関しては PC 管理者に問い合わせるか、『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』を参照願います。



共有フォルダにアクセスするためのユーザ ID を設定します。

共有フォルダにアクセスするユーザ ID に対するパスワードを設定します。

データ転送に使用するプロトコルに Windows 共有フォルダ接続を使用することをアプリに設定します。
画面下タブメニュー [設定] ⇨ [データ転送設定 プロトコル選択] の順にタップします。



Windows 共有フォルダ接続確認

Windows パソコンへの接続が正しく行われるか確認を行うことができます。確認方法として 2 種類の確認ボタンを用意しています。

ネットワーク接続確認

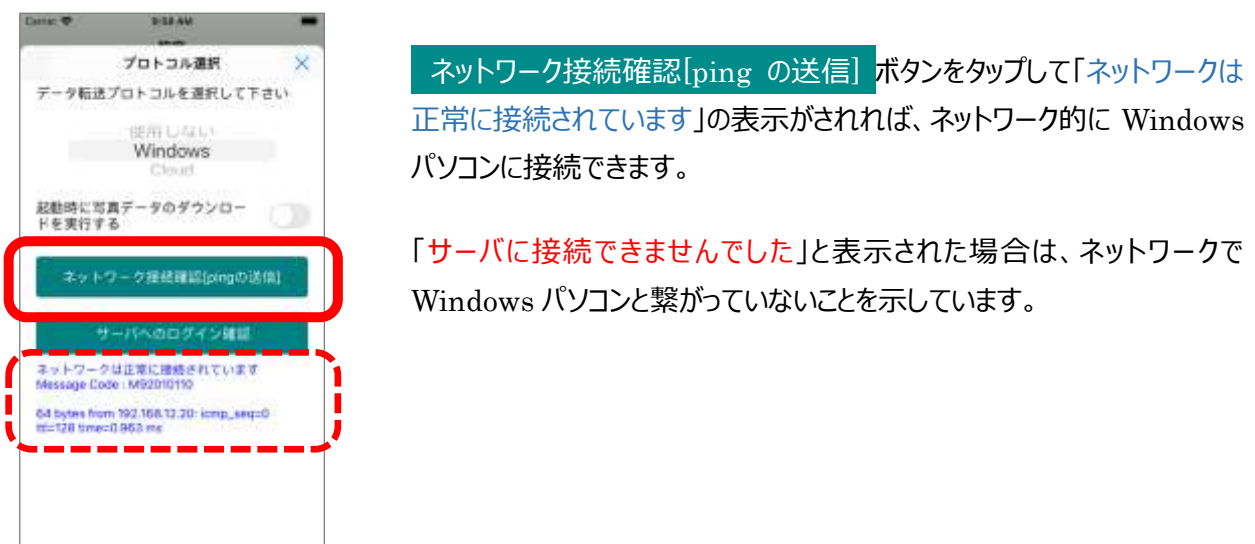
: ネットワーク的に正しく接続できるか確認を行います。

サーバへのログイン確認

: Windows パソコンの共有設定が正しくできているか確認を行います。

ネットワーク接続確認

無線 LAN やルータを経由して Windows パソコンに接続できるか確認を行います。



エラーの原因として、以下の要因が考えられます。

- ・スマホの Wifi 接続が有効になっていない。
- ・共有フォルダ設定で設定した Windows パソコンの IP アドレスが違う。
- ・Windows パソコンの電源が入っていない。
- ・Windows パソコンがネットワークに接続されていない。
- ・スマホが接続する Wifi ルータのネットワークと Windows パソコンのネットワークが異なる。

サーバへのログイン確認

ネットワーク接続確認で正常に接続できていることが確認できれば、Windows 共有フォルダへのアクセス確認を行います。



サーバへのログイン確認 ボタンをタップして「**Windows サーバにログインできました**」の表示がされれば、Windows 共有フォルダへのアクセスが可能であることが確認できます。

エラーが発生した場合、以下の要因が考えられます。

- ・「**設定されたユーザ ID/パスワードが不正です**」と表示された場合：
「共有フォルダのアクセス ID/PW 設定」で設定した、ユーザ ID もしくはパスワードが間違っています。
- ・「**設定されたフォルダが Windows サーバで共有されていません**」と表示された場合：
「共有フォルダ設定」で設定した共有フォルダの名前が間違っています。
- ・「**Windows サーバサーバのアクセスに失敗しました**」と表示された場合：
Windows パソコンの共有フォルダ設定に問題があります。

NAS (Network Attached Storage) の使用

Windows パソコンの代わりに SMB 対応の NAS (Network Attached Storage) を利用することも可能です。Windows パソコンの場合と同様に、NAS の IP アドレスと共有フォルダ名、ユーザ ID、パスワードを設定します。

NAS 機器の設定に関しては、NAS 機器個別のマニュアルを参照下さい。

ネットワークへのアクセスの許可

誤薬チェッカーNeo アプリをインストール後、初めてネットワークのアクセスを行うと、アクセスの許可を求めるアラートが表示されます。



ネットワークアクセスを許可するには「OK」をタップします。

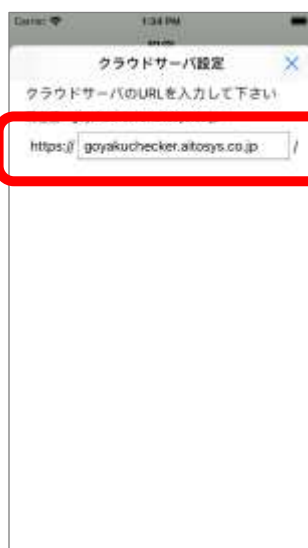
「許可しない」をタップすると、ネットワークへの接続が出来なくなります。

間違って「許可しない」をタップしてしまった場合は iOS の設定画面からカメラへのアクセス許可を設定します。



クラウドサーバ接続設定

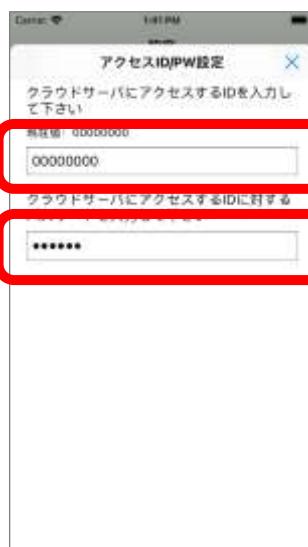
アイトシステムが用意したクラウドサーバを利用する場合は、クラウドサーバの URL と ID/PW を設定します。画面下タブメニュー  ⇒ **【クラウドサーバ クラウドサーバ設定】** の順にタップします。



URL には
「goyakuchecker.aitosys.co.jp」を
指定します。特に指示がない限りは
変更しないで下さい。

アクセス ID とパスワードを設定します。

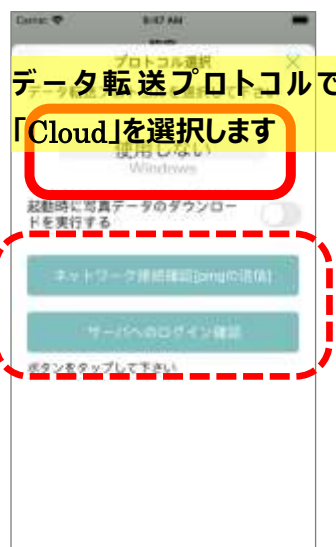
画面下タブメニュー  ⇒ **【クラウドサーバ アクセス ID/PW 設定】** の順にタップします。



クラウドオプションを契約した時に通
知される、ID とパスワードを指定しま
す。

データ転送に使用するプロトコルにクラウド接続を使用することをアプリに設定します。

画面下タブメニュー [設定] ⇨ [データ転送設定 プロトコル選択] の順にタップします。



「Cloud」を選択します

データ転送プロトコルを設定すると、
ネットワーク接続確認[ping の送信]

サーバへのログイン確認 のボタンが
有効になります。

クラウドサーバ接続確認

クラウドサーバへの接続が正しく行われるか確認を行うことができます。確認方法として 2 種類の確認ボタンを用意しています。

ネットワーク接続確認

: クラウドサーバまでのネットワークに正しく接続できるか確認を行います。

サーバへのログイン確認

: クラウドサーバのログイン確認を行います

ネットワーク接続確認

無線 LAN やルータを経由してクラウドサーバに接続できるか確認を行います。



[ネットワーク接続確認[ping の送信]] ボタンをタップして「**ネットワークは正常に接続されています**」の表示がされれば、ネットワーク的にクラウドサーバに接続できることが確認できます。

「**サーバに接続できませんでした**」と表示された場合は、クラウドサーバと繋がっていないことを示しています。

エラーの原因として、以下の要因が考えられます。

- ・クラウドサーバ設定の URL 設定が違っている。
- ・スマホの Mobile 接続が有効になっていない（SIM によるモバイル接続の場合）。
- ・スマホの Wifi 接続が有効になっていない（ローカルネットワーク接続の場合）。
- ・ローカルネットワークからインターネットに接続できる構成になっていない。

サーバへのログイン確認

ネットワーク接続確認で正常に接続できていることが確認できれば、クラウドサーバへのアクセス確認を行います。



サーバへのログイン確認 ボタンをタップして「クラウドサーバに正常にログインできました」の表示がされれば、クラウドシステムへのアクセスが可能であることが確認できます。

エラーが発生した場合、以下の要因が考えられます。

- ・クラウドサーバ設定の URL 設定が違っている。
- ・クラウドサーバのアクセス ID/パスワードが違っている。

SSH (SCP) サーバ接続設定

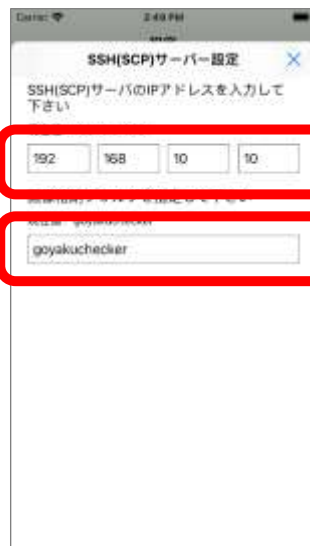
レンタルサーバ事業者の SSH (SCP) サーバ、或いは自身で運営する SSH (SCP) サーバを利用することができます。

誤薬チェッカーNeo のサーバとして利用するためには、ls コマンドの以下のオプションに対応している必要があります。

```
ls -o --time-style=+'%Y-%m-%d %H:%M:%S'
```

SSH サーバのコンソールで上記のコマンドを実行してエラーが表示されなければ、利用可能です。詳細は各施設のネットワーク管理者に相談下さい。

SSH (SCP) サーバを利用する場合は、サーバの IP アドレスとログイン時のアクセスフォルダを設定します。
画面下タブメニュー  ⇒ [SSH(SCP)サーバ SSH(SCP)サーバ設定] の順にタップします。



SSH (SCP) サーバの IP アドレスを設定します。

ログイン時のアクセスフォルダフォルダを設定します。

SSH(SCP)サーバにログインする為のアクセス ID とパスワードを設定します。

画面下タブメニュー  ⇒ [SSH(SCP)サーバ アクセス ID/PW 設定] の順にタップします。



SSH(SCP)サーバにアクセスするためのユーザ ID を設定します。

SSH(SCP)サーバにアクセスするユーザ ID に対するパスワードを設定します。

SSH(SCP)サーバのネットワークポート番号は通常 22 ですが、レンタルサーバ事業者や SSH(SCP)サーバの運営方針でポート番号を変えている場合もあります。

ポート番号を変えている場合は、画面下タブメニュー  ⇒ [SSH(SCP)サーバ SSH(SCP)サーバ詳細設定] の順にタップして設定を行います。

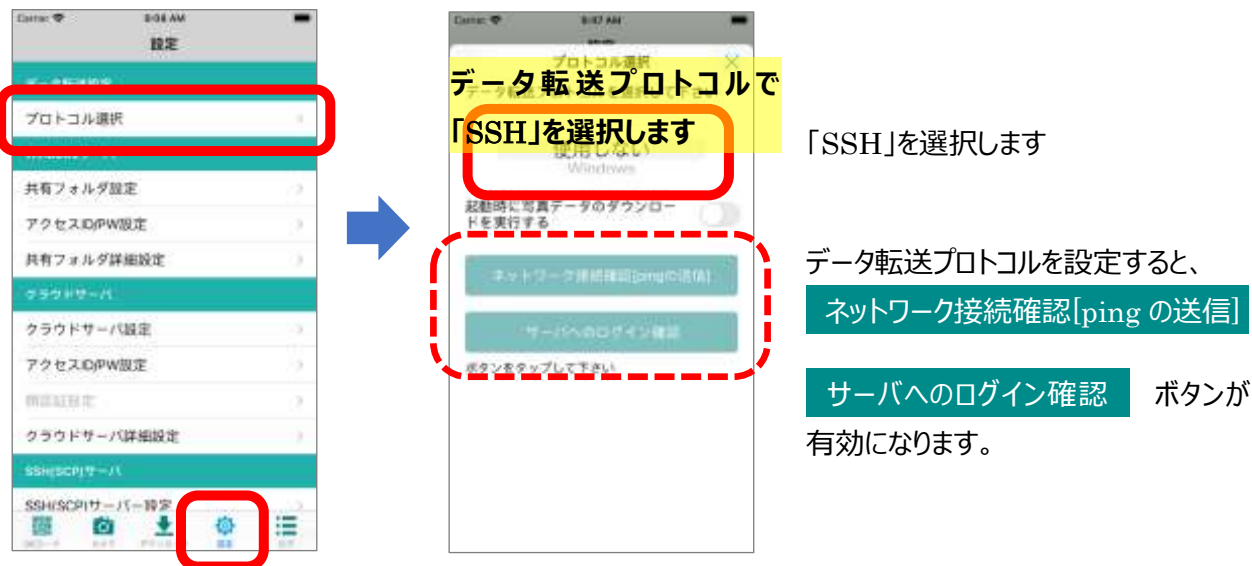


SSH(SCP)サーバのネットワークポート番号を設定します。

SSH(SCP)サーバのネットワークポート番号は各施設のネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。

データ転送に使用するプロトコルにクラウド接続を使用することをアプリに設定します。

画面下タブメニュー [設定] ⇨ [データ転送設定 プロトコル選択] の順にタップします。



SSH(SCP)サーバ接続確認

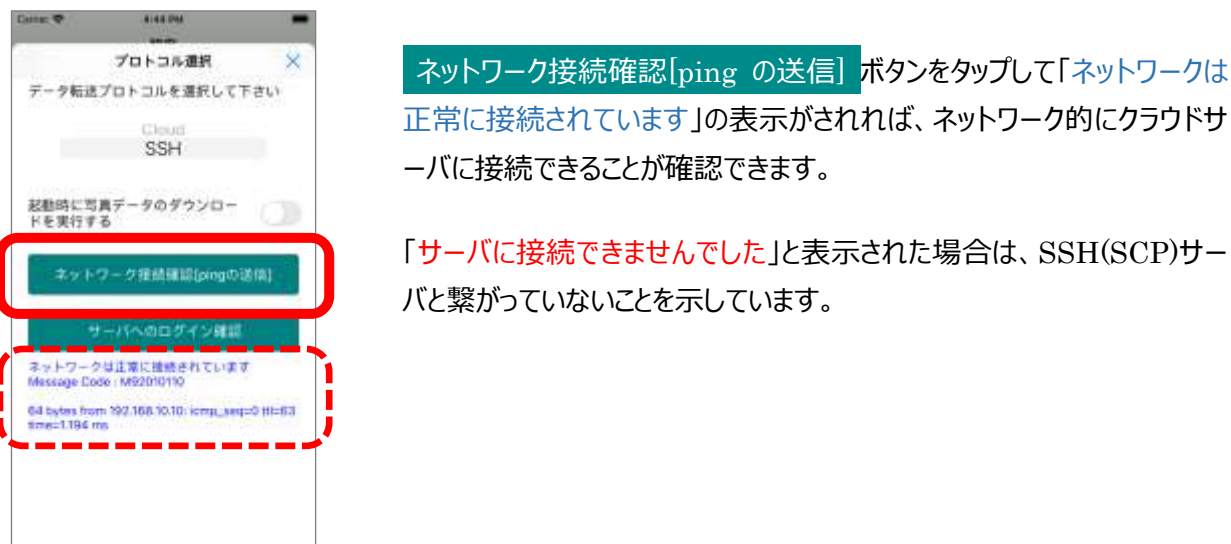
SSH(SCP) サーバへの接続が正しく行われるか確認を行うことができます。確認方法として2種類の確認ボタンを用意しています。

ネットワーク接続確認 : SSH(SCP)サーバまでのネットワークに正しく接続できるか確認を行います。

サーバへのログイン確認 : SSH(SCP)サーバのログイン確認を行います

ネットワーク接続確認

無線 LAN やルータを経由して SSH(SCP)サーバに接続できるか確認を行います。



エラーの原因として、以下の要因が考えられます。

- ・スマホの Wifi 接続が有効になっていない。
- ・「SSH(SCP)サーバ設定」で設定した SSH(SCP)サーバの IP アドレスが違う。
- ・ローカルネットワークからインターネットに接続できる構成になっていない（レンタルサーバ事業者の場合）。

サーバへのログイン確認

ネットワーク接続確認で正常に接続できていることが確認できれば、SSH(SCP) サーバへのアクセス確認を行います。



サーバへのログイン確認 ボタンをタップして「SSH(SCP)サーバに正常にログインできました」の表示がされれば、SSH(SCP) サーバへのアクセスが可能であることが確認できます。

エラーが発生した場合、以下の要因が考えられます。

- ・SSH(SCP)設定のアクセスフォルダ設定が違っている。
- ・SSH(SCP)のログイン ID/パスワードが違っている。
- ・SSH(SCP)サーバの SSH ポート番号が違う。

顔写真の管理

アプリのカメラ機能を使った顔写真の撮影と画像の管理方法を示します。

顔写真表示

QRコード読み取り時、服薬対象者の顔写真を表示することができます。名前だけでなく視覚的に対象者を確認することができ、誤薬の防止につながります。

顔写真は誤薬チェッカーNeo アプリのカメラ機能により、撮影します。

顔写真の画像データをサーバに転送することで、既存の写真データをアプリに取り込むことも可能です。



カメラ機能

カメラ機能を使って顔写真の撮影を行います。

画面下タブメニュー  をタップします。



写真を撮る対象者の名前をひらがなで入力します。

キーボードから入力する以外に、対象者の QR コードがある場合は QR コードを読み取ることで名前を入力することもできます。

写真を撮る ボタンをタップするとカメラが起動します。



画面のピンチアウト（２本指を使って画面拡大）を行って、青色のフレームに合わせた状態で顔写真を撮ります。上や横を向いた写真を避けて、真正面からの撮影を行います。

※顔認証を利用する場合は、カメラで撮影したデータをオリジナルデータとして AI データを生成します。ここで撮影した顔写真の品質が悪いと認証精度が悪くなる場合があります。



顔写真を撮ったら画面右下の「写真を使用」をタップします。



名前の入力と写真の撮影が完了すると **登録** ボタンが有効となります。

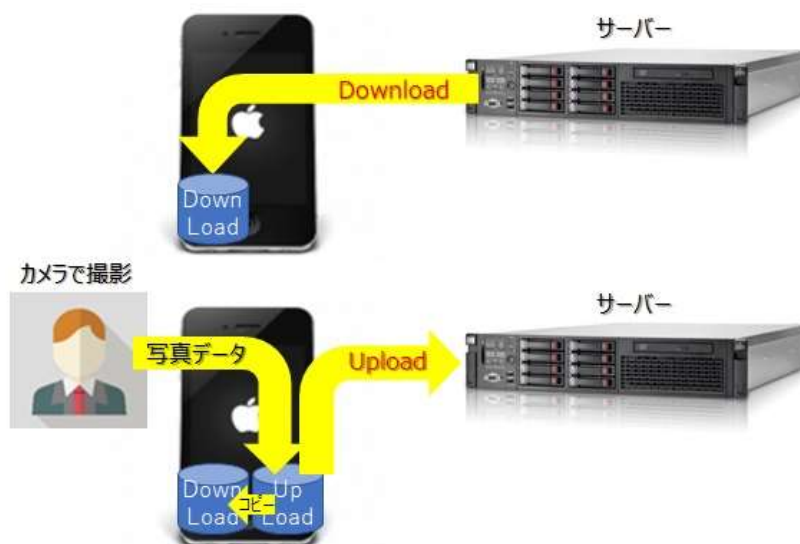
登録 ボタンをタップすると、写真が Upload フォルダに保存され、写真の登録が完了します。

画像ファイル管理

端末毎にカメラで写真を取ることもできますが、端末の台数が多い場合は、作業の手間がかかるので、サーバに接続し、写真データをダウンロードすることができます。



サーバからの写真データは端末アプリ内の **DownLoad** フォルダに保存されます。又カメラで撮影したデータは **UpLoad** フォルダに保存され、**DownLoad** フォルダにコピーされます。サーバへのアップロードは、デフォルトでは **UpLoad フォルダのデータのみ** 転送されます。



写真データのアップロードとダウンロード

端末で撮った写真をサーバにアップロードし、別の端末ではサーバの写真ダウンロードすることができます。

写真データのアップロード

画面下タブメニュー  をタップします。



サーバに接続するために、ネットワークに接続します。

接続の方法は [「ネットワーク接続」](#) を参照下さい。

アップロード ボタンをタップすると、サーバに Upload フォルダの写真データをアップロードします。

※アップロードできる写真データは自端末で撮影した写真のみです。
ダウンロードした写真（Download フォルダの写真データ）はアップロードするには、[「アップロードデータの切り替え」](#)を行って下さい。

写真データのダウンロード

画面下タブメニュー  をタップします。



サーバに接続するために、ネットワークに接続します。

接続の方法は [「ネットワーク接続」](#) を参照下さい。

ダウンロード ボタンをタップすると、サーバから写真データをダウンロードします。

※端末内にサーバと同一のファイルが存在する場合、そのファイルはダウンロードしません。サーバの写真データが端末の Download フォルダの写真データと同じ状態で **ダウンロード** ボタンをタップすると、「ダウンロードするファイルは存在しません」と表示します。

アップロードデータの切り替え

通常は自端末で撮った写真のみをサーバにアップロードしますが、サーバからダウンロードした写真も含めてアップロードすることができます。複数のサーバでの運用や、新たなサーバへ写真データを転送する際に利用します。

写真データのアップロードデータ切替

画面右上アイコン [] をタップすると、アップロードの設定画面が表示されます。



サーバへの顔写真データのアップロードにダウンロードした写真データを含める場合は、スイッチをオンにします。

オフにした場合は、自端末で撮影した写真のみアップロードされます。

写真データの確認

端末で撮った写真やダウンロードした写真を確認することができます。

「ダウンロード/アップロード」の画面左上のアイコンをタップすると画像ファイルの確認画面が表示されます。



顔写真と名前及び格納フォルダ名がリスト表示されます。

ダウンロードしたデータは download と表示され、端末で撮影した写真は、download + upload と表示されます。



リストの項目をタップすると詳細情報が表示されます。

顔写真とファイルの詳細情報を表示します。

写真削除 ボタンをタップすると端末内の個別のデータを削除することができます。

フォルダの全データを削除する場合は、画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [システムファイル管理] をタップしてファイルの削除を行って下さい。

対象者の顔認証

AI を利用した顔認証の方法を示します。

服薬、配食対象者の顔認証

服薬、配食対象者に QR コードを持たせることができない場合には、対象者の QR コードを読み取る代わりに顔認証を用いて本人確認を行うことができます。



服薬対象者に QR コードを持たせる事ができない場合でも、顔写真で本人の判定が可能です。
介護者の顔写真を登録しておけば、服薬対象者だけでなく、顔認証が利用できます。

※顔認証を利用する場合は、クラウドサーバーオプションが必須となります。

顔認証のしくみ

顔認証はクラウドサーバの AI システムで作成した顔認証データをダウンロードして、端末アプリで判定します。

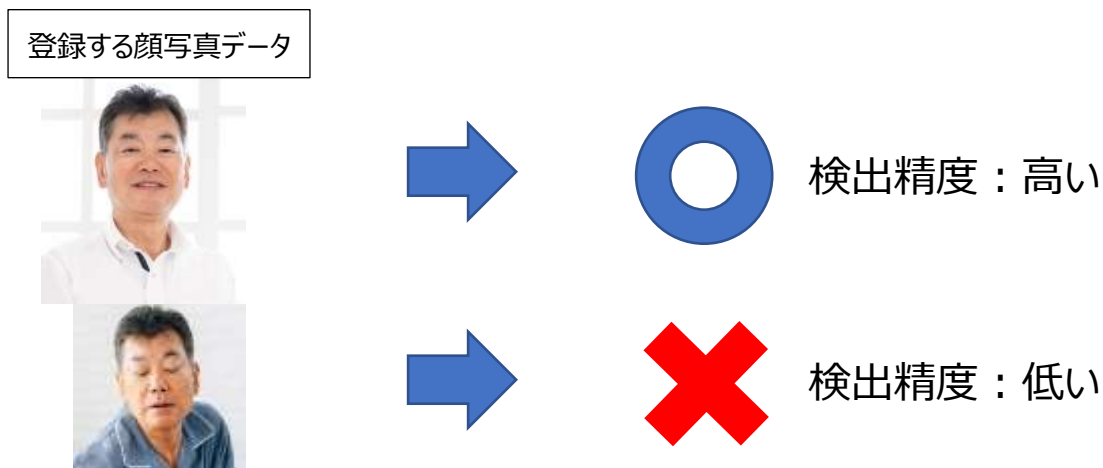
顔認証に必要な顔認証データの作成は、クラウドシステムで作成する必要があります。顔認証を行う顔写真データをクラウドにアップロードし、**顔認証データの生成とダウンロード** ボタンをタップするだけで完了します。



※顔認証データをダウンロードした後は、インターネットに接続する必要はありません。施設内の閉じたネットワークでご利用頂けるので、セキュリティ面でも安全です。

顔認証データの作成

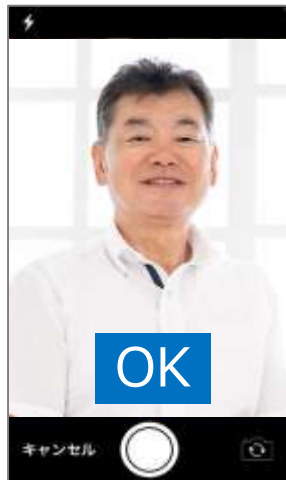
アプリのカメラ機能を使って撮った写真から顔認証の AI データを生成します。この為、顔写真の撮影品質が悪いと、生成される顔認証データも不正確な物になり、顔認証の精度が下がってしまいます。



顔認証写真データの撮影方法

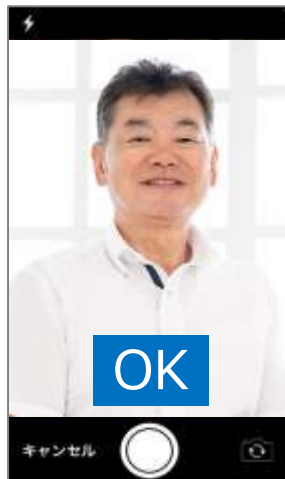
●顔写真を大きく

顔部分がはっきりと判るように写真を撮ります。顔の横幅が、画面横サイズの $1 / 3$ 程度となるように大きさを調整します。



●真正面から

真正面を向いた写真を撮影してください。斜めからや下からの写真では顔の正しいデータを取得することができません。

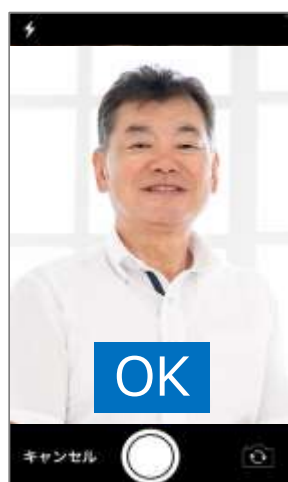


●首を傾けない

首を傾けないで下さい。斜めになった写真では正しい顔認証データを作成することができず、検出精度が悪くなります。

**●逆光にならないように**

逆行にならないようにして下さい。コントラストが低いと顔データを認識できなくなり、検出精度が悪くなります。



顔認証データの作成方法

※顔認証の利用は契約時のクラウド及び顔認証オプションサービスの申し込みが必要です。

顔認証のデータ生成とダウンロードを行います。

画面下タブメニュー  ⇒ **「クラウドサーバ 顔認証設定」** をタップします。



あらかじめ、顔認証を用いる顔写真をクラウドにアップロードしておきます。

顔認証データの生成とダウンロード ボタンをタップすると、顔認証データの生成を実行し、生成されたデータのダウンロードを行います。

※顔認証データの生成は数十秒から数分かかる場合があります。処理中はアプリを終了させないでください。

一度、顔認証データの生成を実行すると、サーバにデータが保存されます。再度ダウンロードする場合や、他の端末で顔認証データをダウンロードする場合は、**顔認証データのダウンロード** ボタンをタップするだけでダウンロード可能です。

顔認証の判定精度

顔認証データによる判定は、カメラによって撮影された顔写真データに登録されたデータの中から最も顔の特徴に近いデータを AI が抽出します。このため、顔認証データに登録されていない人の判定を行うと、最も特徴の近いデータを結果として出力します。そこで出力された結果が判定される写真とどの程度似ているかの閾値を設けて登録外のデータであると判断します。この顔認証判定閾値は通常 0.5 程度で使用しますが、検出率が低い（対象者が見つからない場合）ときは、0.5 よりも小さい値で、判定精度が低い（対象者を間違える）ときは 0.5 よりも大きな値に設定します。

検出率は上がりますが
精度が低くなります

通常 0.4~0.6 の範囲に設定します

検出率は下がりますが
精度が高くなります

0

0.5

1

顔認証利用方法

※顔認証の利用は契約時のクラウド及び顔認証オプションサービスの申し込みが必要です。

顔認証データのダウンロードを実行すると顔認証ボタンが有効になります。  **顔認証** ボタンをタップすると、カメラが起動します。顔部分を検出すると緑色のフレームが表示されます。**必ず一人のみの顔部分が表示されるようにして下さい。**複数人の顔部分が含まれていると、異なる顔写真を認識し、正しく判定できない場合があります。



認識精度が悪い場合は候補写真の中から選択することができます。

画面下タブメニュー  ⇒ **「クラウドサーバ 顔認証設定」** をタップします。



「顔認証結果の候補を表示する」を有効にします。

シャッターボタンをタップすると、AI が認識した確度の高い順に写真を表示します。対象者の写真もしくは選択ボタンをタップすると対象者が決定します。



読み取りログの管理

QRコード読み取りログの表示に関して解説します。

ログ表示画面

ログ表示を行うには、画面下タブメニュー [] をタップします。



ログは日付の降順又は昇順で表示されます。

画面左上のアイコンをタップすると、表示順序が反転します。

各ログはチェックモード種別、シーケンス名、QRコード読み取り日時、QRコードの読み取りデータ、判定結果を表示します。

リストの項目をタップすると、更に詳細情報が別画面で表示されます。



個別ログの詳細情報を表示します。

読み取った QR コードの詳細情報や介護者情報、顔写真等が表示されます。

読取り場所のログに関しては「[GPS で取得した位置情報の表示](#)」を参照下さい。

ログリストの表示設定を行います。シーケンス名での表示項目を制限と背景色の設定を行うことができます。



表示項目の制限：

ログリストで表示するシーケンス種別を個別に ON/OFF できます。

背景色の設定：

ログリストの背景色を変更できます。

※iPhone の OS バージョンが iOS14 以上で有効となります。

GPS で取得した位置情報の表示

画面下タブメニュー  ⇒ 「ログ設定」の順にタップして設定を行います。



「ログに位置情報を表示する」を有効にします

ホーム画面の左上に位置情報取得アイコンが表示されます。
アイコンの色によって位置情報取得状態を示しています



灰色表示：位置情報未取得もしくは位置情報取得中を示します。

青色表示：位置情報取得済を示します。アイコンをタップすると、取得済の位置情報を表示します。

緑色表示：位置情報取得していますが、最新の情報に更新中であることを示します。

位置情報使用の許可

誤薬チェッカーNeo アプリをインストール後、初めて GPS による位置情報の取得を行うと、位置情報使用の許可を求めるアラートが表示されます。



位置情報の使用を許可するには「App の使用中は許可」をタップします。

「許可しない」をタップすると、位置情報の取得が出来なくなります。

間違って「許可しない」をタップしてしまった場合は iOS の設定画面からカメラへのアクセス許可を設定します。



サーバを使ったログデータの管理

ログデータをサーバに転送したり、サーバのログデータを取り込むことも可能です。

画面下タブメニュー  [設定] ⇨ [ログ設定] の順にタップして設定を行います。



ログをサーバに転送するには、ネットワークに接続する必要があります。接続の方法は [\[ネットワーク接続\]](#) を参照下さい。

サーバのログデータは csv 形式で保存されます。又通信量を制限するために、月単位のデータをサーバに送信します。この為、サーバに保存されるファイル名は、

log_(端末を示す名前)_(西暦)(月).csv
の形式になります。

端末を示す名前は変更可能ですが、複数の端末でサーバにログを送信する場合、名前の重複が起こらないように設定してください。同じ名前で登録した場合データの上書きが発生する場合があります。

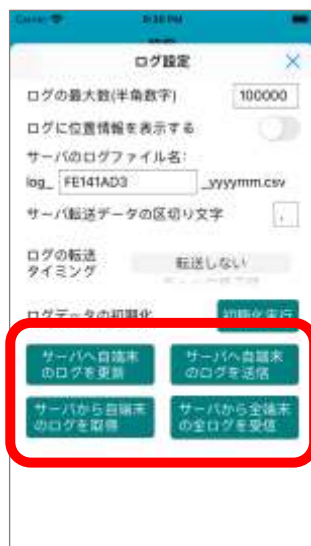
QR コード読み取り時のログをサーバに自動転送する場合、転送タイミングを設定する必要があります。転送タイミングは以下の中から選択します。

転送タイミング	説明	通信料
チェック終了時	お薬チェックや食事チェックのモード終了時（チェック終了ボタン押下時）にログを転送します。	通信量：少
シーケンス終了時	1 人の対象者に対する QR コード読み取りチェックが終了毎にログを転送します。	通信量：中
イベント発生時	QR コード読み取り等のイベントが発生する毎にログを転送します。	通信量：大

ログのデータ量

端末で保持するログは、読み取る QR コード種別や GPS の ON/OFF によって違いはありますが、一つのログで 150～250 バイトとなります。仮に 1 人に対する QR コード読み取りで 4 ログ、10 人の QR コードチェックを行い、一日 5 回のチェックを行ったとすると、一日に 200 ログがたまることになります。ログのサイズが平均 200 バイトとすると、一日にログデータサイズは 40K バイトとなります。さらに 1 年間だと 15M バイト程度となります。

端末のログデータをマニュアルでサーバに転送できます。サーバのログデータを端末に取り込む場合は以下のボタン操作を行います。



サーバへ自端末
のログを更新

端末内でサーバに未送信のログを送信し、サーバ側のログを最新データに更新します。

サーバへ自端末
のログを送信

端末内のログをサーバに送信します。サーバに同一名ファイルが存在する場合は上書きされます。

サーバから自端末
のログを取得

サーバから自端末のログを取得します。端末で保持しているログは上書きされます。

サーバから全端末
のログを受信

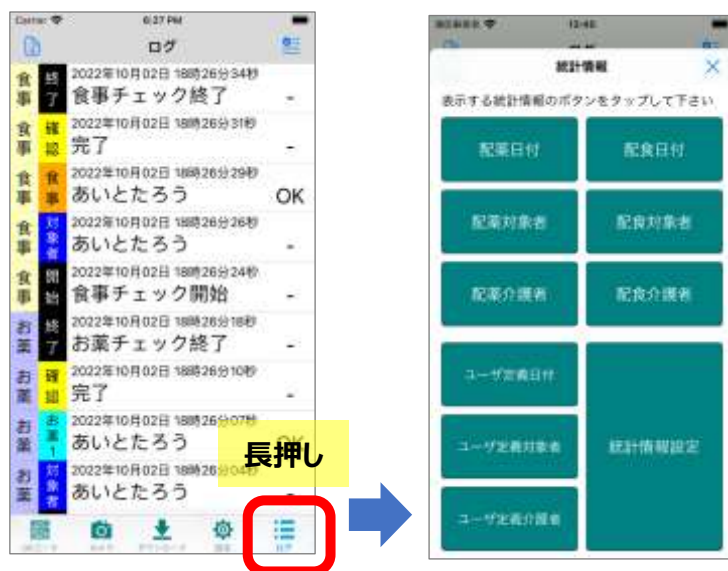
複数の端末を利用している場合、サーバに存在する全端末のログを取得します。端末で保持しているログは上書きされます。

※サーバからログを取得する場合、「ログの最大数」を充分余裕のある値に設定してください。「ログの最大数」を超えた値のログは取得されません。

統計情報の表示

配薬、配食、それぞれの日付、対象者、介護者の統計情報を表示します。サーバからログを取得することで、過去のデータ含めた統計情報の表示可能となります。[サーバを使ったログデータの管理]を参照下さい。

統計情報を表示するには、ログ画面で画面下タブメニューの [ログ] を**長押し**すると統計情報画面が表示されます。



配薬日付：

配薬日付単位の配薬統計情報を示します。

配食日付：

配薬日付単位の配食統計情報を示します。

配薬対象者：

配薬対象者単位の配薬統計情報を示します。

配食対象者：

配薬日付単位の配薬統計情報を示します。

配薬介護者：

配薬日付単位の配薬統計情報を示します。

配食介護者：

配薬日付単位の配薬統計情報を示します。

ユーザ定義日付：

日付単位のユーザ定義読み取り統計情報を示します。

ユーザ定義対象者：

対象者単位のユーザ定義読み取り統計情報を示します。

ユーザ定義介護者：

介護者単位のユーザ定義読み取りの統計情報を示します。

統計情報設定：

統計情報設定オプションを設定します。

配薬／配食／ユーザ定義日付の統計情報

画面下タブメニューの [] を長押し、統計情報画面を表示します。[配薬日付] ボタンをタップすると、配薬日付単位の統計情報が表示されます。**配食日付** ボタンをタップすると配食日付単位の統計情報を表示します。又、**ユーザ定義日付** ボタンをタップするとユーザ定義読み取りの日付単位の統計情報を表示します。ここでは、配薬日付単位の統計情報を例に示します。



配薬日付 ボタンをタップすると、年単位の統計情報を示します。

画面上部には、ログ内の全ての配薬回数、配薬時の OK 回数、NG 回数、NG 率を表示します。

年単位の配薬回数、配薬時の OK 回数、NG 回数、NG 率をリスト表示します。NG が 1 回以上あると背景色がオレンジになります。

※NG 率は小数点一桁で表示されます。この為 NG 率が 0.1 未満の場合は 0.0 表示となります。エラーがある場合は背景色を変えて表示します。

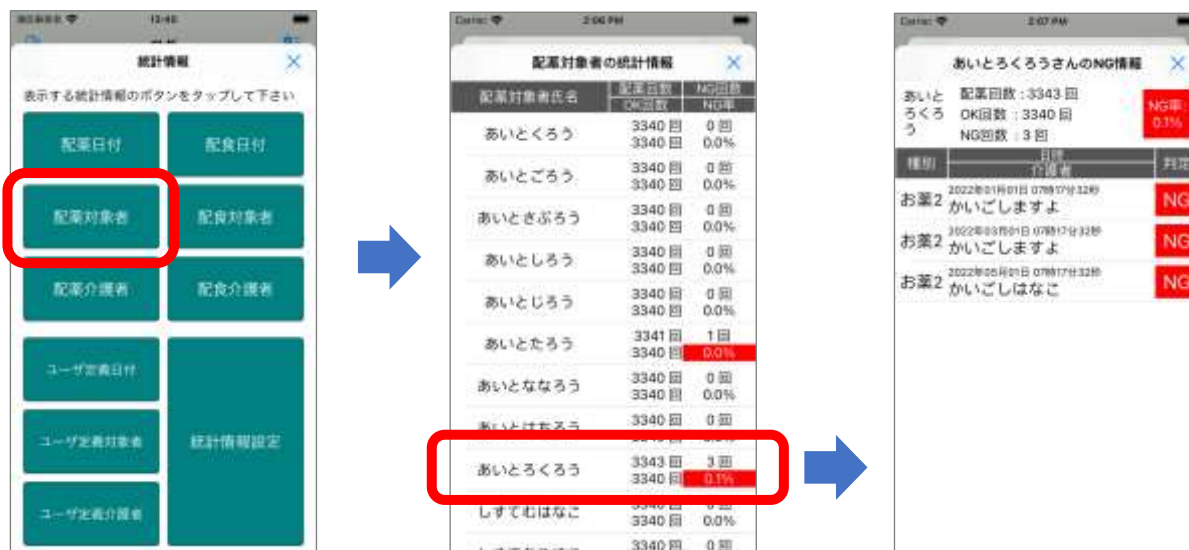
リストの項目をタップすると、月単位、日単位、一日分の情報を表示します。



月単位、年単位で NG 率が表示されるので、誤配率の推移や改善状況の確認が簡単にできます。

配薬／配食／ユーザ定義対象者の統計情報

画面下タブメニューの [ログ] を長押し、統計情報画面を表示します。 **配薬対象者** ボタンをタップすると、配薬対象者単位の統計情報が表示されます。 **配食対象者** ボタンをタップすると配食対象者単位の統計情報を表示します。又、 **ユーザ定義対象者** ボタンをタップすると配食対象者単位の統計情報を表示します。ここでは、配薬対象者単位の統計情報を例に示します。



配食対象者 ボタンをタップすると、配薬対象者毎の統計情報をリスト示します。

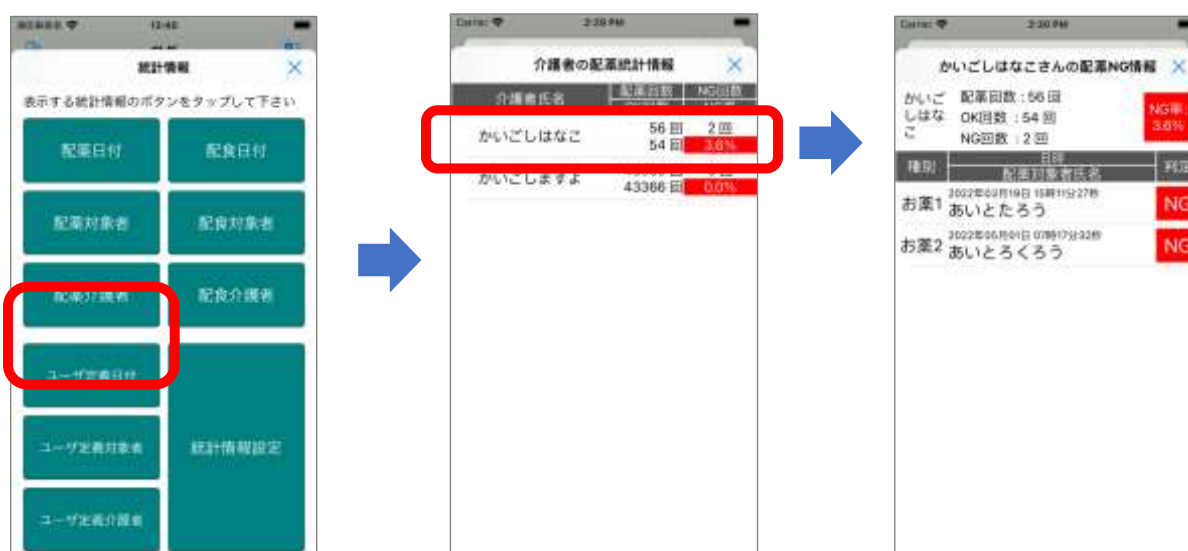
リストの項目をタップすると、対象者の配薬回数、OK 回数、NG 回数、NG 率と NG 情報を表示します。

※NG 率は小数点一桁で表示されます。この為 NG 率が 0.1 未満の場合は 0.0 表示となります。エラーがある場合は背景色を赤色で表示します。

配薬対象者毎の NG 率が表示されるので、配薬時に特に注意すべき対象者を知ることができます。

配薬／配食／ユーザ定義介護者の統計情報

画面下タブメニューの [ログ] を長押し、統計情報画面を表示します。 **配薬介護者** ボタンをタップすると、配薬介護者単位の統計情報が表示されます。 **配食介護者** ボタンをタップすると配食介護者単位の統計情報を表示します。又、 **ユーザ定義介護者** ボタンをタップすると配食介護者単位の統計情報を表示します。ここでは、配薬介護者単位の統計情報を例に示します。



配薬介護者 ボタンをタップすると、配薬介護者毎の統計情報をリスト示します。

リストの項目をタップすると、対象者の配薬回数、OK 回数、NG 回数、NG 率と NG 情報を表示します。

※NG 率は小数点一桁で表示されます。この為 NG 率が 0.1 未満の場合は 0.0 表示となります。エラーがある場合は背景色を赤色で表示します。

配薬介護者毎の NG 率が表示されるので、服薬介護における介護者の意識の向上につなげることができます。

統計情報設定

画面下タブメニューの [] を**長押し**、統計情報画面を表示します。 **統計情報設定** ボタンをタップすると、統計情報設定画面が表示されます。



「配薬統計情報に配薬種別以外の配薬情報を含める」オプション：

このスイッチを有効にすると、お薬チェックモード以外でのお薬の QR コード読み取りで NG となった情報も配薬統計情報として組み入れます。例えば食事チェックシーケンスの中でお薬のチェックも行っている場合、NG となったお薬の読み取りも配薬統計情報の計算に組み入れます。スイッチが無効の場合は、お薬チェックモードだけでの、NG 情報を統計情報として表示します。

「配食統計情報に配食種別以外の配食情報を含める」オプション：

このスイッチを有効にすると、食事チェックモード以外での食事の QR コード読み取りで NG となった情報も配薬統計情報として組み入れます。例えばお薬チェックシーケンスの中で食事のチェックも行っている場合、NG となった食事の読み取りも配食統計情報の計算に組み入れます。スイッチが無効の場合は、食事チェックモードだけでの、NG 情報を統計情報として表示します。

「ユーザ定義統計情報にユーザ定義種別以外のユーザ定義情報を含める」オプション：

このスイッチを有効にすると、ユーザ定義モード以外でのユーザ定義の QR コード読み取りで NG となった情報もユーザ定義統計情報として組み入れます。例えばお薬チェックシーケンスの中でユーザ定義のチェックも行っている場合、NG となったユーザ定義の読み取りもユーザ定義統計情報の計算に組み入れます。スイッチが無効の場合は、ユーザ定義モードだけでの、NG 情報を統計情報として表示します。

設定画面リファレンス

QRコードの読み取り設定

QRコード読み取りに関する設定を行います。

QRコード読み取り設定項目



①
②
③
④
⑤
⑥
⑦



- ① QRコードIDや読み取りのフォーマット等のQRコード種別の定義を行います。「[QRコード種別設定](#)」参照
- ② QRコード読み取りシーケンスを定義します。「[QRコード読み取りシーケンス](#)」参照
- ③ お薬の読み取りに関する設定を行います。「[お薬設定](#)」参照。
- ④ お薬の予定配薬に関する設定を行います。「[予定配薬](#)」参照。
- ⑤ 食事のQRコード読み取りに関する設定を行います。「[お食事定](#)」参照。
- ⑥ 音声メッセージ等の通知のON/OFF設定を行います。「[通知設定](#)」参照。
- ⑦ QRコード読み取りログに関する設定を行います。「[ログ設定](#)」参照。

QRコード種別設定

QRコードIDや読み取りのフォーマット等のQRコード種別の定義を行います。

① QRコード種別設定データのダウンロード

QRコード種別設定に関する設定値をサーバからダウンロードします。

施設様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

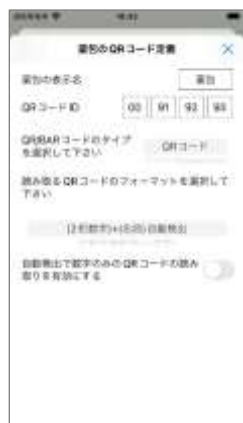
クラウドでのQRコード種別の設定方法は、『誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド』を参照下さい。

QRコードの種別には、以下の種別があります。

- 薬包 : 分包機で薬包に印字されたQRコード
- 対象者 : 対象者のQRコード
- お薬1～4 : お薬1～4のQRコード
- 食事 : 食事のQRコード読み取り
- 確認 : 完了確認を表示します。QRコードとしては存在しません。
- 介護者 : 介護者のQRコード読み取り
- QR_ID : QRID（先頭二桁の数字）に従って種別を判定します。

定義 1 ～ 4 : ユーザ定義 1 ～ 4 の QR コード
リストの各項目をタップすると、設定画面が表示されま
す。

薬包



① 薬包の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を
設定します。

② 薬包の QR コード ID

薬包の QR コード ID を指定します。4 つまで定義
できます。他の QR コード種別の ID と重複しない
ようにして下さい。

③ QR (バー) コードのタイプ

読み取る QR (バー) コードのタイプを指定します。

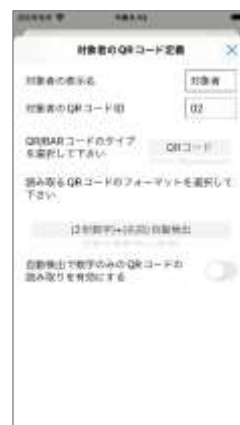
④ QR コード読み取りフォーマット

QR コードの読み取りフォーマットを選択します。読
み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QR コードの
内容](#)」を参照下さい。

⑤ 数字のみの QR コードの読み取りを有効にする

ID 氏名変換を行うことで数字のみの QR コードか
ら対象者の氏名に変換することができます。数字の
みの QR コード読み取りを行う場合は有効を設定
します。ID 氏名変換に関しては「[服薬対象者の
ID 情報設定](#)」を参照下さい。

対象者



① 対象者の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を
設定します。

② 対象者の QR コード ID

対象者の QR コード ID を指定します。他の QR コ
ード種別の ID と重複しないようにして下さい。

③ QR (バー) コードのタイプ

読み取る QR (バー) コードのタイプを指定します。

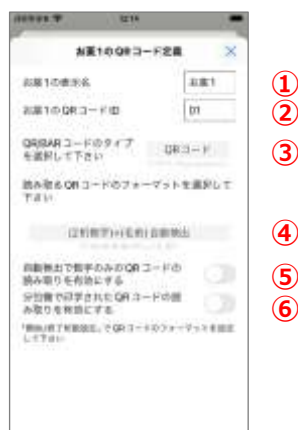
④ QR コード読み取りフォーマット

QR コードの読み取りフォーマットを選択します。読
み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QR コードの
内容](#)」を参照下さい。

⑤ 数字の QR コードの読み取りを有効にする

ID 氏名変換を行うことで数字のみの QR コードか
ら対象者の氏名に変換することができます。数字の
みの QR コード読み取りを行う場合は有効を設定
します。ID 氏名変換に関しては「[服薬対象者の
ID 情報設定](#)」を参照下さい。

お薬 1 ～ 4



①お薬 1（～ 4）の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。お薬の種別により、内服薬、目薬等の名称に変更できます。

②お薬 1（～ 4）の QR コード ID

お薬 1（～ 4）の QR コード ID を指定します。他の QR コード種別の ID と重複しないようにして下さい。

③QR（バー）コードのタイプ

読み取る QR（バー）コードのタイプを指定します。

④QR コード読み取りフォーマット

QR コードの読み取りフォーマットを選択します。

〔（2桁数字）+（名前）自動検出〕にすると、2桁の半角もしくは全角の数字、対象者のひらがな氏名を読み取ります。2桁数字、対象者のひらがな氏名の間に空白があっても無くてもかまいません。

数字のみの QR コードデータの場合は、数字⇒名前変換機能を使って名前に変換します。

読み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QRコードの内容](#)」を参照下さい。

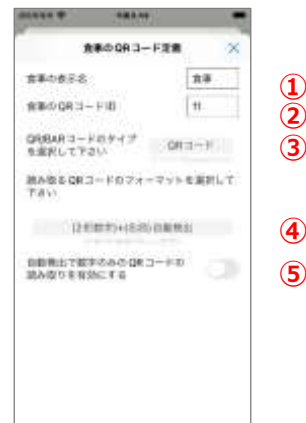
⑤数字の QR コードの読み取りを有効にする

ID 氏名変換を行うことで数字のみの QR コードから配薬対象者の氏名に変換することができます。数字のみの QR コード読み取りを行う場合は有効を設定します。ID 氏名変換に関しては「[服薬対象者の ID 情報設定](#)」を参照下さい。

⑥分包機で印字された QR コード読み取り

分包機で印字された QR コード読み取りの有効／無効を設定します。設定方法の詳細に関しては、「[分包機で印字された QR コードの読み取り](#)」を参照下さい。

食事



①食事の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。

②対象者の QR コード ID

対象者の QR コード ID を指定します。他の QR コード種別の ID と重複しないようにして下さい。

③QR（バー）コードのタイプ

読み取る QR（バー）コードのタイプを指定します。

④QR コード読み取りフォーマット

QR コードの読み取りフォーマットを選択します。

〔（2桁数字）+（名前）自動検出〕にすると、2桁の半角もしくは全角の数字、対象者のひらがな氏名を読み取ります。2桁数字、対象者のひらがな氏名の間に空白があっても無くてもかまいません。

数字のみの QR コードデータの場合は、数字⇒名前変換機能を使って名前に変換します。

読み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QRコードの内容](#)」を参照下さい。

⑤数字の QR コードの読み取りを有効にする

ID 氏名変換を行うことで数字のみの QR コードから配食対象者の氏名に変換することができます。数字のみの QR コード読み取りを行う場合は有効を設定します。

ID 氏名変換に関しては「[服薬対象者の ID 情報設定](#)」を参照下さい。

確認



①
②

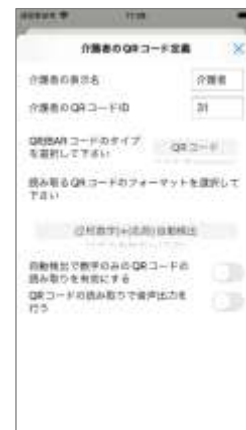
①確認の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。

②確認の QR コード ID

確認の QR コード ID を指定します。確認の QR コードはありませんが、システムで ID が必要となります。他の QR コード種別の ID と重複しないようにして下さい。

介護者



①
②
③
④
⑤
⑥

①介護者の表示名

QR コードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。

②介護者の QR コード ID

介護者の QR コード ID を指定します。他の QR コード種別の ID と重複しないようにして下さい。

③QR (バー) コードのタイプ

読み取る QR (バー) コードのタイプを指定します。

④QR コード読み取りフォーマット

QR コードの読み取りフォーマットを選択します。

〔2桁数字〕+〔名前〕自動検出にすると、2桁の半角もしくは全角の数字、対象者のひらがな氏名を読み取ります。2桁数字、対象者のひらがな氏名の間に空白があっても無くてもかまいません。

数字のみの QR コードデータの場合は、数字⇒名前変換機能を使って名前に変換します。

読み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QR コードの内容](#)」を参照下さい。

⑤数字の QR コードの読み取りを有効にする

ID 氏名変換を行うことで数字のみの QR コードから介護者の氏名に変換することができます。数字のみの QR コード読み取りを行う場合は有効を設定します。ID 氏名変換に関しては「[服薬対象者の ID 情報設定](#)」を参照下さい。

⑥QR コードの読み取りで音声出力を行う

介護者の QR コード読み取り時に音声出力を行います。

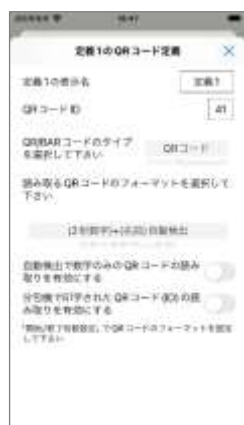
QR_ID



①QR_IDの表示名

QRコードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。

定義1（～4）



①定義1（～4）の表示名

QRコードの読み取り画面で表示される表示名を設定します。

②定義1（～4）のQRコードID

定義1（～4）のQRコードIDを指定します。
他のQRコード種別のIDと重複しないようにして下さい。

③QR（バー）コードのタイプ

読み取るQR（バー）コードのタイプを指定します。

④QRコード読み取りフォーマット

QRコードの読み取りフォーマットを選択します。

〔（2桁数字）+（名前）自動検出〕にすると、2桁の半角もしくは全角の数字、対象者のひらがな氏名を読み取ります。2桁数字、対象者のひらがな氏名の間に空白があっても無くてもかまいません。

数字のみのQRコードデータの場合は、数字⇒名前変換機能を使って名前に変換します。

読み取りフォーマットの詳細に関しては、「[QRコードの内容](#)」を参照下さい。

⑤数字のQRコードの読み取りを有効にする

ID氏名変換を行うことで数字のみのQRコードから介護者の氏名に変換することができます。数字のみのQRコード読み取りを行う場合は有効を設定します。

ID氏名変換に関しては「[服薬対象者のID情報設定](#)」を参照下さい。

⑥分包機で印字されたQRコード読み取り

分包機で印字されたQRコード読み取りの有効／無効を設定します。設定方法の詳細に関しては、「[分包機で印字されたQRコードの読み取り](#)」を参照下さい。

QRコード読み取りシーケンス

QRコードIDや読み取りのフォーマット等のQRコード種別の定義を行います。



① 名前を編集 ボタン

シーケンス定義名や背景色を変更できます。

「[シーケンス定義表示名設定](#)」参照

② お薬チェック設定 ボタン

お薬チェックのシーケンスを定義します。

「[（お薬、食事、ユーザ定義）シーケンス設定](#)」参照。

③ 予定配薬による読み取り

有効にすることで、予定配薬（スケジュール）モードへの切り替えを行います。

④ 食事チェック設定 ボタン

食事チェックのシーケンスを定義します。

「[（お薬、食事、ユーザ定義）シーケンス設定](#)」参照。

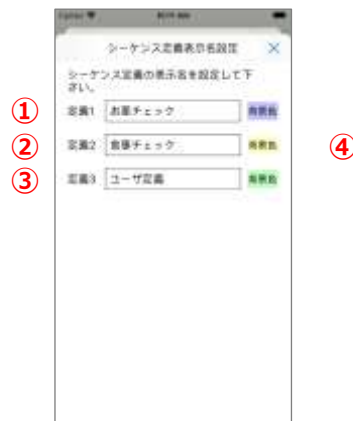
⑤ ユーザ定義設定 ボタン

ユーザ定義のシーケンスを定義します。

「[（お薬、食事、ユーザ定義）シーケンス設定](#)」参照。

シーケンス定義表示名設定

シーケンス定義名や背景色の変更を行います。



① シーケンス定義 1 の表示名

QRコードの読み取りモードを切り替え画面で表示されるお薬チェックモードの表示名を設定します。

初期設定時は「お薬チェック」です。

② シーケンス定義 2 の表示名

QRコードの読み取りモードを切り替え画面で表示される食事チェックモードの表示名を設定します。

初期設定時は「食事チェック」です。

③ シーケンス定義 3 の表示名

QRコードの読み取りモードを切り替え画面で表示されるユーザ定義モードの表示名を設定します。

初期設定時は「ユーザ定義」です。

④ 背景色設定

ログ表示画面のチェックモード種別の背景色を設定します。

（お薬、食事、ユーザ定義）シーケンス設定

お薬チェック、食事チェック、ユーザ定義のシーケンス設定を行います。



① 読み取りシーケンス設定のダウンロード

QR コード読み取りシーケンス設定に関する設定値をサーバからダウンロードします。

施設様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

クラウドでの QR コード種別の設定方法は、『誤薬チエッカーNeo クラウドアクセスガイド』を参照下さい。

お薬チェック、食事チェック、ユーザ定義のシーケンス初期設定は、以下の通りです。

お薬チェック：対象者 ⇨ お薬 1

食事チェック：対象者 ⇨ 食事

ユーザ定義：定義されていません。

各項目をタップすることでシーケンスの追加や変更、シーケンスの終了を設定する画面が表示されます。



① QR コード読み取りシーケンスの設定

QR コードの読み取りシーケンスの中に追加、変更したい QR コード種別を設定します。シーケンスを終了したい場合は「未定義」を設定します。

② ID の表示

「① QR コード読み取りシーケンスの設定」で選択した QR コード種別の QR コード ID を表示します。
「[QR コード種別設定](#)」で定義された値が表示されます。

③ 読み取りフォーマットの表示

「① QR コード読み取りシーケンスの設定」で選択した QR コード種別の QR コード読み取りフォーマットを表示します。「[QR コード種別設定](#)」で定義された値が表示されます

設定の方法は、「[お薬チェック読み取りシーケンスの変更](#)」、「[食事チェック読み取りシーケンスの変更](#)」を参照下さい。

お薬設定

お薬の読み取りに関する設定を行います。



- ① **ID 氏名ファイル設定** ボタン
ID 氏名ファイルに関する設定を行います。
「[ID 氏名ファイル設定](#)」参照。
- ② **開始/終了桁数設定** ボタン
分包機で印字された QR コードを読み取る場合の読み取りデータの桁数設定を行います。
「[開始終了桁数設定](#)」参照。
- ③ **お薬コード設定** ボタン
分包機で印字された QR コードを読み取る場合のお薬の配薬タイミングを示すコードを設定します。
「[お薬コード設定](#)」参照。
- ④ **お薬時間設定** ボタン
分包機で印字された QR コードを読み取る場合の配薬タイミングの時間帯を設定します。
「[お薬時間設定](#)」参照。
- ⑤ **オプション設定** ボタン
お薬設定に関するオプション項目の設定を行います。「[オプション設定](#)」参照。

ID 氏名ファイル設定

ID 氏名ファイルに関する設定を行います。



- ①ID 氏名 CSV ファイル名
ID 氏名 CSV ファイル名を設定します。
- ②CSV ファイル区切り文字
CSV ファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。
- ③ダウンロードしたデータを連結する。
有効にすると、現在アプリで保持している ID 氏名データにダウンロードしたデータを追加します。無効の場合は、保持しているデータを消去してからデータをダウンロードします。
- ④起動時の ID 氏名 CSV ファイルダウンロード
有効を設定すると、アプリの起動毎にサーバから CSV ファイルをダウンロードします。
[データ転送設定 プロトコル選択] でデータ転送プロトコルが選択されている必要があります。
- ⑤開始時の ID 氏名 CSV ファイルダウンロード
有効を設定すると、お薬の読み取り開始ボタン押下でサーバから CSV ファイルをダウンロードします。
- ⑥ID に文字を許容する
有効を設定すると、お薬の読み取り開始ボタン押下でサーバから CSV ファイルをダウンロードします。
- ⑦ **ID 氏名 CSV ファイルダウンロード** ボタン
ボタンをタップすると、サーバから ID 氏名 CSV ファイルをダウンロードします。
※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

⑧ ID 氏名 CSV ファイルの編集 ボタン

端末内の ID 氏名 CSV データの編集や、データの追加ができます。

ID 氏名データが存在しない場合 ID 氏名データが存在する場合



①データの追加（+アイコン）

ID 氏名ファイルデータを追加します。

②データの編集

既存のデータを編集するには、リストの項目をタップします。

ID 氏名データの追加



ID 氏名データの編集



①QRコードのID

数字で構成される ID データを入力します。

②ID に対応する氏名

ID に対応する名前をひらがなで入力します。

③削除 ボタン

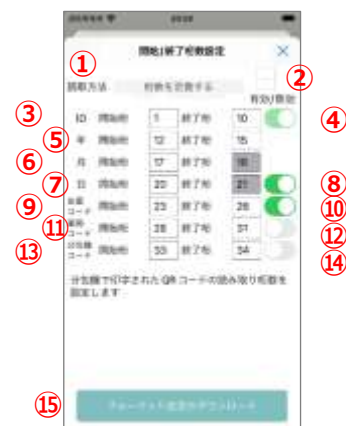
編集中の ID に対応する名前を削除します。ID 氏名データの追加時は、編集中のデータを保存せずに終了します。

④追加 ボタン

ID 氏名データの編集画面から ID 氏名データの追加画面に遷移します。

開始/終了桁数設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、桁数を指定してデータの読み取る方法です。



①読み取り方法

桁数を定義する を指定すると、QR コードのデータを、桁数を指定して読み取ります。読み取り桁数を指定する画面が表示されます。

②区切り文字

データの区切り文字を設定します。読み取り方法で、桁数を定義する を指定すると、無効となり入力できません。

③ID 開始/終了桁

服薬対象者の ID 情報を示す開始桁数/終了桁数を指定します。上記のような場合、開始桁数は 1、終了桁数は 10 となります。

④ID 有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、ID の有効/無効設定を行います。ID 読み取りは必須で、無効にはできません。

⑤年開始/終了桁

服薬対象日の年部分の開始桁数/終了桁数を指定します。上記の様な場合、開始桁数は 12、終了桁数は 15 となります。

⑥月開始桁

服薬対象日の月部分の開始桁数を指定します。上記の様な場合、開始桁数は 17 となります。

⑦日開始桁

服薬対象日の日部分の開始桁数を指定します。上記の様な場合、開始桁数は 20 となります。

⑧年月日有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、年月日チェックの有効/無効設定を行います。

⑨お薬コード開始/終了桁

服薬タイミングを示すお薬のコードの開始桁数/終了桁数を指定します。上記の様な場合、開始桁数は 23、終了桁数は 26 となります。

⑩お薬コード有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、お薬コードの有効/無効設定を行います。

⑪薬局コード開始/終了桁

薬局コードを示す開始桁数/終了桁数を指定します。

⑫薬局コード有効/無効設定

薬局で印字された QR コードを読み取る場合、薬局コードの有効/無効設定を行います。

⑬分包機コード開始/終了桁

分包機コードを示す開始桁数/終了桁数を指定します。

⑭分包機コード有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、薬局コードの有効/無効設定を行います。

⑮ フォーマット設定のダウンロード ボタン

QR コードフォーマット（開始/終了桁数設定値）をサーバからダウンロードします。

薬局様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

読み取り順序設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、読み取り位置を指定してデータの読み取る方法です。



服薬対象者の ID 情報		服薬対象日	服薬タイミング
0000000113		2022/03/01	0068
区切り桁	↑ 1 番目	↑ 2 番目	↑ 3 番目

①読み取り方法

(半角), 区切り文字列 半角空白区切り文字列 区切り文字列を指定すると、QR コードのデータを、区切り文字で区切った文字列の順序を指定して読み取ります。区切り文字列の位置（桁）を指定する画面が表示されます。

②区切り文字

読み取り方法で、区切り文字列を指定するを指定した場合、設定した文字で区切られた文字列を抽出します。

③ID 区切り桁

服薬対象者の ID 情報を示すデータの位置（区切り桁）を指定します。上記の様な場合、区切り桁は 1 となります。

④ID 有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、ID の有効/無効設定を行います。ID 読み取りは必須で、無効にはできません。

⑤日付区切り桁

日付を示すデータの位置（区切り桁）を指定します。上記の様な場合、区切り桁は 2 となります。

⑥日付データフォーマット

日付データのフォーマットを指定します。以下のフォーマットから選択できます。

フォーマット	データ例
yyyy/mm/dd	2022/03/01
yyyymmdd	20220301
yy/mm/dd	22/03/01
yymmdd	220301
mm/dd	03/01
mmdd	0301

自動判定 を選択すると、文字列の長さに応じて対応するフォーマットで読み取りを行います。

⑦日付有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、日付チェックの有効／無効設定を行います。

⑧お薬コード区切り桁

服薬タイミングを示すお薬のコードの位置（区切り桁）を指定します。上記の様な場合、区切り桁は 3 となります。

⑨お薬コード有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、お薬コードの有効／無効設定を行います。

⑩薬局コード区切り桁

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、薬局コードの位置（区切り桁）を指定します。

⑪薬局コード有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、薬局コードの有効／無効設定を行います。

⑫分包機コード区切り桁

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、分包機コードを示すお薬のコードの位置（区切り桁）を指定します。

⑬分包機コード有効/無効設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合、分包機コードの有効／無効設定を行います。

⑭ **フォーマット設定のダウンロード** ボタン

QR コードフォーマット（開始／終了桁数設定値）をサーバからダウンロードします。

薬局様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

お薬コード設定

お薬の用法に関して、服薬タイミングコード以外の設定を行います。お薬コードは最大 79 個まで設定可能です（項目 1 ～ 15 はシステム予約で用法名称は変更できません）。



✧ 頓服（頓用）薬に設定されている項目は背景色が青色で表示されます。

✧ 複数のお薬コードが設定されている項目には右端に！マークが表示されます。

①お薬設定のダウンロード

お薬設定に関する設定値をサーバからダウンロードします。薬局様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

クラウドでの QR コード種別の設定方法は、『誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド』を参照下さい。

②お薬コードに文字を許容する

お薬コード（用法コード）は通常、数字を使って表現されます。このスイッチを有効にすると、数字以外の英字や日本語文字を用法コードとして設定可能です。

※このスイッチを切り替えると既に保存されている用法コードデータを修正する必要となる場合があります。

お薬コードを設定するには、設定を行うお薬コードのボタンをタップします。



①基本の用法コード設定ボタン

基本の用法コードを設定します。項目 1 ～ 15 はシステム予約で有効になっており、用法名称は変更できません

②追加の用法コード設定ボタン

用法名称に対して、追加の用法コードを設定します。最大 8 個の追加設定を行うことができます。



①用法コードを有効にする

用法名称で選択した用法種別が有効となります。

②用法名称

設定を行う用法名称を選択します。

同一種別の用法を複数設定することができます。

但し用法コードは異なる値にしなければなりません。

③用法コード

用法名称に対応する用法コードを設定します。

同一の用法コードを複数の用法名称に割り当ててはいけません。但し、分包機コードの設定が無効な状態では、同一の用法コードを設定することが可能です。

④頓服（頓用）薬に設定する

設定対象の用法を頓服（頓用）薬に設定します。頓服（頓用）薬に設定された用法の QR コードを読み取っても、日付と服用タイミングの判定を行いません。

⑤分包機コードを設定する

分包機コードの判定を有効にします。このスイッチを有効にすると薬局名と分包機名が選択できるようになります。

⑥薬局名

分包機コードの判定を有効な場合の、用法名に対応する薬局名を選択します。判定対象の分包機コードは、『[薬局/分包機コードの設定](#)』で設定された値となります。

⑦分包機名

分包機コードの判定を有効な場合の、用法名に対応する分包機を選択します。判定対象の分包機コードは、『[薬局/分包機コードの設定](#)』で設定された値となります。判定対象の分包機コードは、『[薬局/分包機コードの設定](#)』で設定された値となります。

お薬時間設定

分包機で印字された QR コードを読み取る場合の配薬タイミングの時間帯を設定します。項 1 ～ 15 に関しては、デフォルトの設定で初期設定の時刻で有効となっています。



- ✧ 頓服（頓用）薬に設定されている項目は背景色が青色で表示されます。
- ✧ 複数の時間帯が設定されている項目は行末に！が表示されます。
- ✧ 設定値に異常がある場合は、背景色が赤色で表示されます。

① お薬時間のダウンロード

お薬時間に関する設定値をサーバからダウンロードします。

施設様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

設定する時間帯の項目をタップします。



①基本お薬時間帯設定有効／無効

配薬タイミングにおける時間帯チェックの有効／無効を設定します。有効を設定すると、薬の QR コードを読み込み時、時間帯チェックを行い、異なる時間帯で読まれると NG 表示を行います。

②開始時間

配薬タイミングにおける時間帯チェックの開始時刻を設定します。

③終了時間

配薬タイミングにおける時間帯チェックの終了時刻を設定します。

基本お薬時間帯設定で開始時間と終了時間を同一時刻に設定すると、頓服薬設定となり、背景色が青色で表示されます。

④追加 1 お薬時間帯設定

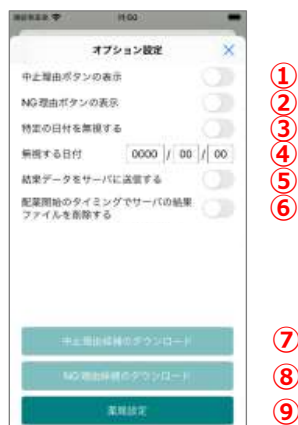
⑤追加 2 お薬時間帯設定

⑥追加 3 お薬時間帯設定

追加の時間帯チェックの設定を行います。追加お薬時間帯設定では、同一時刻の設定は許容されていません。同一時刻を設定すると、背景色が赤色となります。

オプション設定

お薬設定に関するオプション項目の設定を行います。



①中止理由ボタンの表示

このスイッチを有効にすると、お薬の QR コード読み取りを中止した場合、中止理由ボタンを表示します。

②NG 理由ボタンの表示

このスイッチを有効にすると、お薬の QR コード読み取りで NG が発生した場合、NG 理由ボタンの表示を行います。

③特定の日付を無視する

このスイッチを有効にすると、分包機で印字された QR コードの特定の日付データを無視します。
頓服、頓用薬の服用する日付が決まっていないお薬に対して設定を行います。

④無視する日付

「特定の日付を無視する」オプションが有効な場合の無視する日付を設定します。ここで設定された日付に対しては QR コード読み取り時の日付チェックを行いません。

⑤結果データをサーバに送信する

有効にすると、予定配薬（スケジュール）モードで読み取り結果データをサーバに送信します。

⑥配薬開始タイミングでサーバ結果ファイルを削除

有効にすると、配薬開始のタイミングでサーバの結果ファイルの削除を実行します。クラウドサーバを利用する場合、結果データはサーバの DB に書き込まれクラウドメニューから参照することができるので、結果ファイルの確認等を行わない場合は、このスイッチを有効にして下さい。

⑦中止理由候補のダウンロード ボタン

中止理由の選択で表示される中止理由候補をサーバからダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

中止理由候補はサーバで設定します。サーバでの中止理由候補設定方法は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

⑧NG 理由候補のダウンロード ボタン

NG 理由の選択で表示される NG 理由候補をサーバからダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

NG 理由候補はサーバで設定します。サーバでの NG 理由候補設定方法は、「誤薬チェッカーNeo クラウドアクセスガイド」を参照下さい。

⑨薬局設定 ボタン

薬局／分包機コードの設定を行います。
詳細は、「[薬局設定](#)」を参照下さい。

薬局設定

薬局／分包機コードの設定を行います。設定する薬局のボタンをタップします。



- ① 薬局 1 ボタン
- ② 薬局 2 ボタン
- ③ 薬局 3 ボタン
- ④ 薬局 4 ボタン

薬局の分包機コードの設定を行います。対応する薬局のボタンをタップします。

⑤ 分包機コードに文字を許容する

分包機コードは通常、数字を使って表現されます。このスイッチを有効にすると、数字以外の英字や日本語文字を用法コードとして設定可能です。

※このスイッチを切り替えると既に保存されている用法コードデータを修正する必要となる場合があります。

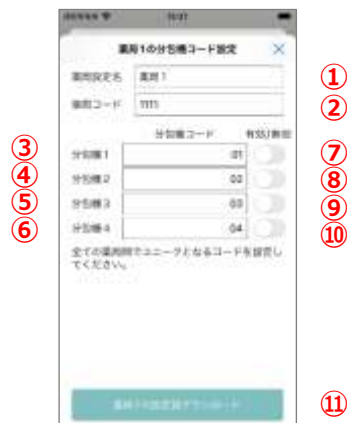
⑥ 分包機コードに文字を許容する

分包機コードは通常、数字を使って表現されます。このスイッチを有効にすると、数字以外の英字や日本語文字を用法コードとして設定可能です。

※このスイッチを切り替えると既に保存されている用法コードデータを修正する必要となる場合があります。

薬局 1 ～ 4 設定の分包機設定

各薬局で QR コードの印字を行う分包機に紐づけられたコードの設定を行います。



① 薬局設定名

薬局の名前を設定します。初期値は薬局 1（～ 4）となっています。

② 薬局コード

薬局を特定する薬局コードを設定します。

薬局コードは薬局間においてユニークな値を設定する必要があります。

薬局コードを設定する際は、薬局間で同一値とならないように調整をお願いします。

③ 分包機 1 分包機コード

④ 分包機 2 分包機コード

⑤ 分包機 3 分包機コード

⑥ 分包機 4 分包機コード

分包機 1 ～ 4 を特定するコードを設定します。

⑦ 分包機 1 有効/無効

⑧ 分包機 2 有効/無効

⑨ 分包機 3 有効/無効

⑩ 分包機 4 有効/無効

分包機 1 ～ 4 の分包機コードを利用する場合に、有効に設定します。

⑪ 薬局 1 / 2 / 3 / 4 設定値ダウンロード ボタン

分包機薬コードに関する設定値をサーバからダウンロードします。薬局様で設定値をクラウドにセットしておくと、端末アプリでは、設定値のダウンロードボタンをタップするだけで、クラウドに保存されているデータを端末に設定することが可能です。

予定配薬設定

予定配薬に関する設定を行います



① 予定配薬設定 ボタン

予定配薬（スケジュール）モードへの切り替えを行います。「[予定配薬設定](#)」参照。

② 予定配薬ファイル設定 ボタン

予定配薬ファイルの読み取りに関する設定を行います。「[予定配薬ファイル設定](#)」参照。

③ 配薬対象者設定 ボタン

予定配薬ファイル設定で読み取った予定配薬データの確認や変更を行います。「[配薬対象者設定](#)」参照。

④ 配薬種別設定 ボタン

予定配薬の対象時間帯毎の設定を行います。「[配薬種別設定](#)」参照。

⑤ 予定配薬オプション設定 ボタン

予定配薬のオプションに関する設定を行います。「[予定配薬オプション設定](#)」参照。

予定配薬設定

予定配薬（スケジュール）モードへの切り替えを行います。



① 予定配薬による読み取り

スイッチを有効にすると、予定配薬（スケジュール）モードになります。スイッチが無効の場合は、シーケンスモードとなります。

お薬チェックが開始中は、モード変更できません。

予定配薬ファイル設定

予定配薬ファイルの読み取りに関する設定を行います。



① 処方スケジュールファイル

処方スケジュールファイル薬局の分包機コードの設定を行います。対応する薬局のボタンをタップします。

② CSV ファイルの区切り文字

CSV ファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。

③ 起動時にスケジュールファイルのダウンロード実行

有効を設定すると、アプリの起動毎にサーバからスケジュールファイルをダウンロードします。

〔データ転送設定 プロトコル選択〕でデータ転送プロトコルが選択されている必要があります。

④ 読取開始時にスケジュールファイルのダウンロード

有効を設定すると、お薬の読み取り開始ボタン押下でサーバからスケジュールファイルをダウンロードします。

⑤ 読み取り開始時に拡張スケジュールファイルのダウンロードを実行する

有効を設定すると、お薬の読み取り開始ボタン押下でサーバから拡張スケジュールファイルをダウンロードします。

⑥ **スケジュールファイルのダウンロード** ボタン

ボタンをタップすると、サーバからスケジュールファイルをダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

⑦ **拡張スケジュールのダウンロード** ボタン

ボタンをタップすると、サーバから拡張スケジュールファイルをダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

配薬対象者設定

予定配薬ファイル設定で読み取った予定配薬データの確認や変更を行います。

予定配薬ファイル設定で読み取った予定配薬データの対象者のリストが表示されます。



確認や変更したい対象者の項目をタップします。

対象者の用法コード毎の配薬数一覧が表示されます。

	薬 1	薬 2	薬 3	薬 4
朝食前	1	1	0	0
朝食後	1	1	0	0
昼食前	1	1	0	0
昼食後	1	1	0	0
夕食前	1	1	0	0
夕食後	1	1	0	0
就寝前	1	1	0	0
就寝後	1	1	0	0
合計	0	0	0	0
合計2	0	0	0	0
合計3	0	0	0	0
合計4	0	0	0	0

✧ 予定配薬がある項目の背景色は水色で表示されます。

✧ 予定配薬の対象外の用法コードは背景色が灰色で表示されます。

✧ お薬 1 / 2 / 3 / 4 を含めるオプションが無効の場合でお薬 1 / 2 / 3 / 4 の配薬が設定されている項目は背景色が黄色で表示されます。

✧ 設定データにエラーがある項目の背景色は赤色で表示されます。

変更したい用法コードをタップします。
設定変更画面が表示されます。



① 予定配薬の有効／無効

対象となる用法コードの予定配薬の有効／無効設定を行います。

② 用法名称

端末で保持している予定配薬データの用法名称を変更します。「配薬種別設定」の用法名称と一致しないと「保存されている用法データと表示する名称が異なっています」の警告が表示されます。

③ 薬包の配薬数

予定配薬での薬包の配薬数を表示します。

－ ＋ でスケジュールファイルから読み取った値に対して加算/減算することができます。＋－±付きの数字が変更数を示します。

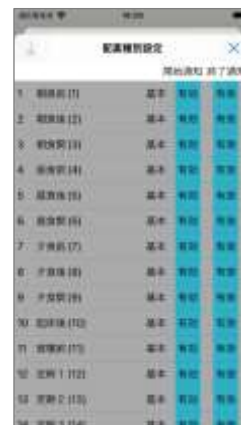
④⑤⑥⑦ お薬 1 ～ 4 の配薬数

予定配薬でのお薬 1 ～ 4 の配薬数を表示します。

－ ＋ でスケジュールファイルから読み取った値に対して加算/減算することができます。＋－±付きの数字が変更数を示します。

配薬種別設定

予定配薬の配薬種別を設定します。予定配薬の配薬種別は最大 15 まで設定可能です。



◇ 対象の予定配薬通知が無効の項目は背景色が薄い灰色で表示されます。

◇ 対象の予定配薬のお薬時間設定が無効の項目は、背景色が濃い灰色で表示されます。

設定する項目をタップすると対象の配薬種別設定画面が表示されます。



① 用法名称

予定配薬の対象となる用法名称を設定します。「配薬対象者設定」の用法名称と一致させる必要があります。

② お薬時間

予定配薬の対象となる用法名称のお薬時間を設定します。一つの用法名称で最大 4 つのお薬時間を設定できますが、予定配薬の対象となるお薬時間は一つのみです。複数のお薬時刻を設定する場合は、複数の配薬種別設定で異なる時刻を設定します。

③配薬通知有効／無効

このスイッチを有効にすると、設定された配薬通知が有効となり、対象となる予定配薬が有効となります。但し、対象の「お薬時間」設定が無効の場合は、有効となりません。

④お薬時間帯設定有効／無効

「用法名称」と「お薬時間」で設定されたお薬時間帯設定有効／無効状態を表示します。お薬時間帯設定の変更は、「[お薬設定](#)」-「[お薬時間設定](#)」で行います。

⑤配薬開始通知有効／無効

有効にすると、配薬開始通知が有効になります。配薬開始時刻に、ポップアップで通知を行います。予定配薬（スケジュール）モードでは必ず有効にする必要があります。

配薬開始通知はシーケンスモードでも利用可能です。

⑥配薬開始通知サウンド

有効にすると、配薬開始をアラーム音で共に通知します。

⑦配薬終了通知有効／無効

有効にすると、配薬終了通知が有効になります。配薬終了時刻に、ポップアップで通知を行います。予定配薬（スケジュール）モードでは必ず有効にする必要があります。

配薬終了通知はシーケンスモードでも利用可能です。

⑧配薬終了通知サウンド

有効にすると、配薬終了をアラーム音で共に通知します。

⑨集計通知有効／無効

有効にすると、集計時刻に集計通知が有効になります。集計時刻に、ポップアップで通知を行います。集計通知は予定配薬（スケジュール）モードでのみ利用可能です。

⑩集計通知サウンド

有効にすると、集計通知をアラーム音と共に通知します。

⑪集計通知時に端末間で結果を共有

有効にすると、集計通知時に端末間で読み取り結果の共有を行うことができます。

読み取り結果の共有の詳細に関しては、「[他端末とのデータ共有](#)」を参照下さい。

読み取り結果の共有機能を用いるには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワークに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

予定配薬オプション設定

薬局／分包機コードの設定を行います。設定する薬局のボタンをタップします。



①配薬スケジュール読み取りにお薬 1234 を含める

有効にすると、予定配薬の読み取りお薬種別にお薬 1 / 2 / 3 / 4 を含めることができます。但し、お薬 1 / 2 / 3 / 4 を予定配薬に含める場合は、配薬時間帯をオーバーラップさせることはできません。詳細は「[予定配薬のお薬 1 / 2 / 3 / 4 設定](#)」を参照下さい。

②配薬スケジュール読み取りに介護者を含める

有効にすると、予定配薬の読み取りに介護者の QR コード読み取りを含めます。QR コード読み取りシーケンスの中で介護者の QR コード読み取りが必須となります。予定配薬の対象となる用法名称を設定します。

③個別読み取り結果の非表示

有効にすると、個別の読み取り結果を表示せず、連続して QR コードの読み取りを実行します。

詳細は「[個別の読み取り結果非表示機能](#)」を参照下さい。

④一回の頓服薬で終了する

予定配薬モードで頓服薬のみの読み取りの場合、シーケンスを終了させるには、QR コード読み取り画面で終了させる必要があります。

「個別読み取り結果の非表示」スイッチが有効な場合に、このスイッチを有効にすると、最初の頓服薬を読み取りでシーケンスを終了します。

⑤中止ボタンで結果を保持する

有効にすると、中止ボタンで QR コードの読み取りを中止した場合、読み取った QR コードデータは保持され、読み取り結果に反映されます。

スイッチが無効の場合は、中止ボタンで QR コード読み取りシーケンスを中止した場合、読み取りシーケンスの中で中止までに読み取った QR コードデータは破棄されます。

⑥確認ページを表示する

最終結果表示ページの前に確認ページを表示します。確認ページでは、**完了ボタン**、**保留ボタン**、**中止ボタン** が表示され、配薬状況を結果と共に保存することができます。

⑦配薬結果の表示継続時間

QR コード読み取り進捗画面で残薬を検出すると背景色が赤となり残薬数を表示します。残薬検出時刻から「配薬結果の表示継続時間」で設定された時間の間、残薬状態を表示します。表示継続時間は 30 分 / 1 時間 / 時間 / 3 時間 / 4 時間から選択できます。

⑧お薬時間終了時、端末間で結果を共有する

有効にすると、お薬時間終了時に端末間で読み取り結果の共有を行うことができます。

読み取り結果の共有の詳細に関しては、「[他端末とのデータ共有](#)」を参照下さい。

読み取り結果の共有機能を用いるには、ネットワークに接続した状態にする必要があります。ネットワー

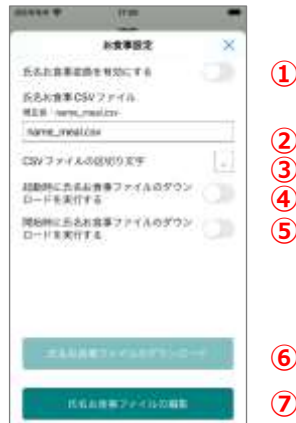
クに接続していない場合は、「[ネットワーク接続](#)」を参照してネットワーク接続して下さい。

⑨集計通知の表示タイミング

集計通知の表示タイミングを設定します。配薬終了時刻に対するオフセット時間を選択します。30 分前、20 分前、10 分前、5 分前、終了時刻、5 分後、10 分後、20 分後、30 分後の中から選択できます。

お食事設定

食事の QR コード読み取りに関する設定を行います



① 氏名お食事変換を有効にする

氏名お食事変換の有効／無効を設定します。有効を設定すると、食事の QR コード読み取り時、配膳食種別が書かれた QR コードの読み取りが有効となります。

② 氏名お食事 CSV ファイル

氏名お食事 CSV ファイルを設定します。

③ CSV ファイルの区切り文字

CSV ファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。

④ 起動時の ID 氏名 CSV ファイルダウンロード

有効を設定すると、アプリの起動毎にサーバから CSV ファイルをダウンロードします。

〔データ転送設定 プロトコル選択〕でデータ転送プロトコルが選択されている必要があります。

⑤ CSV ファイルの区切り文字

CSV ファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。

⑥ 氏名お食事ファイルダウンロード ボタン

ボタンをタップすると、サーバから氏名お食事 CSV ファイルをダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

⑦ 氏名お食事ファイルの編集 ボタン

端末内の氏名お食事 CSV データの編集や、データの追加ができます。

氏名-お食事データが存在しない場合 氏名-お食事データが存在する場合



① データの追加（+アイコン）

氏名お食事ファイルデータを追加します。

② データの編集

既存のデータを編集するには、リストの項目をタップします。

氏名-お食事データの追加



氏名-お食事データの編集



① 配食対象者の名前

配食対象者の名前をひらがなで入力します。

② お食事種別

配食対象者に対応する食事種別を入力します。

③ 削除 ボタン

編集中の配食対象者の名前を削除します。氏名お食事データの追加時は、編集中のデータを保存せずに終了します。

④ 追加 ボタン

氏名お食事データの編集画面から氏名お食事データの追加画面に遷移します。

通知設定

音声メッセージ等の通知の ON/OFF 設定を行います。



①MP3（アラーム音）再生

QR コード読み取り完了時、アラーム音の ON/OFF を設定します。

②NG 時のバイブレーション

QR コード読み取り完了時、NG の場合のバイブレーション機能の ON/OFF を設定します。

③音声による読み上げ

QR コード読み取り完了時の名前の音声での読み上げ機能の ON/OFF を設定します。

④ 1 番目の読み取り結果の音声読み上げ

QR コード読み取りで最初に読み取った QR コードの情報を、音声読み上げを行います。

⑤残薬検出時の音声通知

残薬検出時の音声による通知の ON/OFF を設定します。

⑥ボタンタップ時の振動

画面のボタンやアイコンタップ時に短い振動を起こします。

⑦アプリ終了時にローカル通知を行う。

このスイッチを有効にすると、アプリを終了しても、配薬開始通知／配薬終了通知／集計通知（予定配薬モード時）を行うことができます。

⑧ メモ表示設定 ボタン

メモの表示に関する設定を行います。

詳細は [\[通知メモ表示設定\]](#) を参照下さい。

⑨ 通知設定テスト ボタン

アラーム音の再生、NG 時のバイブレーション、音声による読み上げ、ボタンタップ時の振動 のテストを行います。それぞれの機能をテストで動作させるには、①～③、⑤のスイッチを有効にする必要があります。

通知メモ表示設定

メモの表示に関する設定を行います。



①通知メモファイル

通知メモ CSV ファイル名を設定します。

②CSV の区切り文字

CSV ファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。

③起動時に通知メモファイルのダウンロード実行

有効を設定すると、アプリの起動毎にサーバから通知メモ CSV ファイルをダウンロードします。

〔データ転送設定 プロトコル選択〕でデータ転送プロトコルが選択されている必要があります。

④開始ボタン押下時に通知メモファイルのダウンロード

有効を設定すると、開始ボタン押下時にサーバから通知メモ CSV ファイルをダウンロードします。

〔データ転送設定 プロトコル選択〕でデータ転送プロトコルが選択されている必要があります。

⑤結果表示時にポップアップでメモを表示

最終結果表示画面で表示されるメモを 1 行メモでなく、拡大表示のポップアップ画面で表示します。

⑥ 通知メモのダウンロード ボタン

ボタンをタップすると、サーバから通知メモ CSV ファイルをダウンロードします。

※ネットワーク接続されていないとボタンが有効になりません。

⑦ 通知メモ編集 ボタン

端末内の通知メモ CSV データの編集や、データの追加ができます。

詳細は [\[通知メモ編集\]](#) を参照下さい

通知メモ編集

通知メモを表示する対象者が表示されます。

通知メモの表示が有効になっている場合は背景が白色で、無効になっている場合は、背景がグレー表示となります。

通知メモが有効な場合、項目毎に「+」で表示されます。音声出力が有効な場合は「*」で表示されます。



① + (追加) ボタン

メモを表示する対象者を追加します。通知メモの追加ダイアログが表示されるので、追加する対象者の名前を入力して追加ボタンをタップします。



通知メモ設定画面で編集対象者の項目をタップするとメモ編集画面が表示されます。

①削除ボタン

表示している対象者のメモを削除します。

②表示するテキストを入力

QR コード読み取りシーケンスの最終結果表示画面に表示するメモを設定します。

③表示の有効／無効

有効にすると、QR コード読み取りシーケンスの最終結果表示画面にメモが表示されます。

④音声出力をするテキストを入力

QR コード読み取りシーケンスの最終結果表示画面で音声出力するメモを設定します。一部の漢字では、正しく音声出力されない場合があります。そのような場合は、ひらがなで表記するなどして正しく音声出力されるように設定します。

⑤音声の有効／無効

有効にすると、QR コード読み取りシーケンスの最終結果表示画面でメモが音声出力されます。

⑥ 音声出力テスト ボタン

「音声出力をするテキストを入力」で設定された文字を音声出力します。正しく音声出力されるか確認することができます。

ログ設定

QRコード読み取りログに関する設定を行います。



① ログの最大数

端末で保持する QRコード読み取り件数の最大数を半角数字で設定します。

② ログに位置情報を表示する

GPSで読み取った位置情報をログに追加します。訪問介護や訪問看護での配薬場所の管理に利用できます。

③ サーバのログファイル名

ログをサーバに転送する場合、サーバで保持するファイル名を示します。サーバに保存されるファイル名は、

log_(端末を示す名前)_(西暦)(月).csv
の形式になります。

複数の端末でサーバにログを送信する場合、名前の重複が起こらないように設定してください。同じ名前で登録した場合データの上書きが発生する場合があります。

④ サーバ転送データの区切り文字

CSVファイルのデータ区切り文字を入力します。通常の CSV ファイルの区切り文字は「 , 」です。

⑤ ログの転送タイミング

QRコード読み取り時のログをサーバに自動転送する際の、転送タイミングを設定します。「転送しない」、「チェック終了」、「シーケンス終了」、「イベント発生時」の中から選択します。

⑥ ログデータの初期化 ボタン

端末で保持しているログデータを初期化します。サーバのログファイルは初期化されません。

⑦ サーバへ自端末のログを更新 ボタン

端末内でサーバに未送信のログを送信し、サーバ側のログを最新データに更新します。サーバのログファイルは初期化されません。

⑧ サーバへ自端末のログを送信 ボタン

端末内のログをサーバに送信します。サーバに同一名ファイルが存在する場合は上書きされます。ネットワークに接続するとボタンが有効になります。接続の方法は [\[ネットワーク接続\]](#) を参照下さい。

⑨ サーバから自端末のログを取得 ボタン

サーバから自端末のログを取得します。端末で保持しているログは上書きされます。ネットワークに接続するとボタンが有効になります。接続の方法は [\[ネットワーク接続\]](#) を参照下さい。

⑩ サーバから全端末のログを取得 ボタン

複数の端末を利用している場合、サーバに存在する全端末のログを取得します。端末で保持しているログは上書きされます。ネットワークに接続するとボタンが有効になります。接続の方法は [\[ネットワーク接続\]](#) を参照下さい。

データ転送設定

誤薬チェッカーNeo はサーバを利用することで、画像やログの管理を行うことができます。データ転送設定画面でサーバへの接続切替や接続試験を行います。

データ転送設定項目



①ネットワーク接続の為にプロトコル選択やサーバへの接続確認を行います。「[プロトコル選択](#)」参照

プロトコル選択

ネットワーク接続の為にプロトコル選択やサーバへの接続確認を行います。



①プロトコル選択

サーバにアクセスするプロトコルを設定します。

- ・Windows 共有フォルダアクセス
- ・http クラウドアクセス
- ・SSH(SCP)アクセス

の中から選択します。

②アプリ起動時の画像ファイルダウンロード設定

アプリ起動時に写真データのダウンロードを自動で行うかを選択します。

③ ネットワーク接続確認 ボタン

プロトコル選択で選択したサーバの設定完了後、ボタンをタップすることで、端末からサーバに ping パケットを送信します。

IP ネットワーク的に接続されていることを確認することができます。(サーバへのログイン正当性の確認ではありません。)

④ サーバ接続確認 ボタン

プロトコル選択で選択したサーバの設定完了後、ボタンをタップすることで、端末からサーバへログイン試行を行います。ログイン ID/PW は「[Windows サーバ](#)」、「[クラウドサーバ](#)」、「[SSH\(SCP\)サーバ](#)」の「アクセス ID/PW 設定」を参照下さい。

Windows サーバ

Windows パソコンを用いたネットワーク共有フォルダの設定を行います。

※Windows パソコンの共有フォルダ設定方法に関しては『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』を参照下さい。

Windows サーバ項目



①IP アドレス

端末と同じネットワークに接続された Windows パソコンの IP アドレスを設定します。Windows パソコンの IP アドレスの調べ方は『誤薬チェッカーNeo サーバ設定ガイド』Windows PC IP アドレスの確認方法を参照下さい。

②Windows 共有フォルダ名

Windows パソコンで誤薬チェッカーNeo 用に共有設定を行った共有フォルダ名を入力します。

Windows 共有フォルダ ID/PW 設定

- ①Windows パソコンの IP アドレスや共有フォルダ名の設定を行います。「[共有フォルダ設定](#)」参照
- ②Windows 共有フォルダにアクセスするためのアクセス ID とパスワードの設定を行います。「[QR コード読み取りシーケンス](#)」参照
- ③Windows 共有フォルダにアクセスするためのオプション設定項目に関する設定を行います。「[お薬設定](#)」参照。



共有フォルダ設定



①ユーザ ID

アクセスアカウントの作成で作成した Windows のユーザ ID を入力します。

②Windows 共有フォルダ名

アクセスアカウントの作成で設定したパスワードを入力します。

Windows 共有フォルダ詳細設定



①写真フォルダ

Windows 共有フォルダにサブフォルダを作成して写真データを管理する場合、写真フォルダのフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、Windows 共有フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

②CSV、設定ファイルフォルダ

Windows 共有フォルダにサブフォルダを作成してCSV ファイルや、設定ファイルを管理する場合、サブフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、Windows 共有フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

③result フォルダ

Windows 共有フォルダにサブフォルダを作成してログデータを管理する場合、予定配薬の結果フォルダのフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、Windows 共有フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

④ログフォルダ

Windows 共有フォルダにサブフォルダを作成してログデータを管理する場合、ログフォルダの、フォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、Windows 共有フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

⑤QR コード読み取りログのサーバ転送

QR コード読み取りログのサーバへの転送を設定します。ON にすると、QR コード読み取りログを Windows サーバへ転送します。

⑥ファイルの上書き設定

データアップロード時、Windows 共有フォルダ上に転送するファイルと同一ファイル名のファイルが存在する場合、上書きをおこなうかどうかの設定を行います。

クラウドサーバ

アイトシステムのクラウドシステムを用いたネットワークの設定を行います。
クラウドシステムの利用は契約時のオプションサービスの申し込みが必要です。

クラウドサーバ項目



- ①
- ②
- ③
- ④

- ①クラウドサーバのアクセス URL の設定を行います。
「[クラウドサーバ設定](#)」参照
- ②クラウドサーバにアクセスするためのアクセス ID とパスワードの設定を行います。「[アクセス ID/PW 設定](#)」参照
- ③顔認証のデータの生成やダウンロードを行います。
「[顔認証設定](#)」参照。
- ④クラウドサーバにアクセスするためのオプション設定項目に関する設定を行います。「[クラウドサーバ詳細設定](#)」参照。

クラウドサーバ設定



- ①

- ①クラウドサーバの URL
アイトシステムから通知のあったクラウドサーバの URL を入力します。最後の “/” の入力は不要です。

初期値：goyakuchecker.aitosys.co.jp

アクセス ID/PW 設定



- ①

- ②

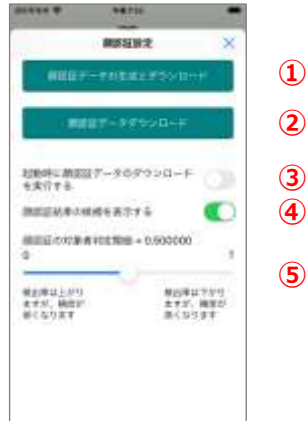
- ①クラウドアクセス ID
アイトシステムから通知されたクラウドアクセス ID を入力します。

②クラウドアクセスパスワード

アイトシステムから通知されたクラウドアクセスユーザ ID に対するパスワードを入力します。

顔認証判定閾値は通常 0.5 程度で使用しますが、検出率が低い（対象者が見つからない場合）ときは、0.5 よりも小さい値で、判定精度が低い（対象者を間違える）ときは 0.5 よりも大きな値に設定します。

顔認証設定



① 顔認証データの生成とダウンロード ボタン

クラウドにアップロードした写真データで顔認証データの生成を実行し、生成されたデータのダウンロードを行います。

※顔認証データの生成は数十秒から数分かかる場合があります。処理中はアプリを終了させないでください。

② 顔認証データダウンロード ボタン

クラウドで生成した顔認証データのダウンロードを行います。

③ 起動時に顔認証データのダウンロードを実行する

④ 顔認証結果の候補を表示する
顔認証の判定結果の候補を表示する画面を表示し、アプリの利用者が対象者の選択を行います。

⑤ 顔認証の対象者判定閾値

顔認証により出力された結果が対象者と判定する閾値を 0 ～ 1 の間の値で設定します。

クラウドサーバ詳細設定



①ファイルの上書き設定

データアップロード時、クラウドサーバ上に転送するファイルと同一ファイル名のファイルが存在する場合、上書きをおこなうかどうかの設定を行います。

②QR コード読み取りログのサーバ転送

QR コード読み取りログのサーバへの転送を設定します。ON にすると、QR コード読み取りログをクラウドサーバへ転送します。

SSH(SCP)サーバ

SSH（SCP）サーバを用いたネットワークアクセスの設定を行います。

SSH(SCP)サーバ項目



①SSH(SCP)サーバ設定

SSH(SCP)サーバの IP アドレスやフォルダ名の設定を行います。

「[SSH\(SCP\)サーバ設定](#)」参照

②アクセス ID/PW 設定

SSH(SCP)サーバにアクセスするためのアクセス ID とパスワードの設定を行います。

「[SSH\(SCP\)サーバ ID/PW 設定](#)」参照

③SSH(SCP)サーバ詳細設定

SSH(SCP)サーバにアクセスするためのオプション設定項目に関する設定を行います。

「[SSH\(SCP\)サーバ詳細設定](#)」参照。

SSH(SCP)サーバ設定



①IP アドレス

SSH(CP)サーバの IP アドレスを入力して下さい。

②画像格納フォルダ名

SSH(SCP)サーバ上の画像格納フォルダを指定して下さい。

SSH(SCP)サーバ ID/PW 設定



①SSH(SCP)サーバログイン ID

SSH(SCP)サーバのログイン ID を入力します。

②SSH(SCP)サーバログインパスワード

SSH(SCP)サーバのログインパスワードを入力します。

SSH(SCP)サーバ詳細設定



①SSH(SCP)サーバポート番号

SSH(SCP)サーバのアクセスポート番号を指定して下さい。

②写真フォルダ

SSH(SCP)フォルダにサブフォルダを作成して写真データを管理する場合、写真フォルダのフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、SSH(SCP)フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

③CSV、設定ファイルフォルダ

SSH(SCP)フォルダにサブフォルダを作成してCSVファイルや、設定ファイルを管理する場合、サブフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、SSH(SCP)フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

④result フォルダ

SSH(SCP)フォルダにサブフォルダを作成してログデータを管理する場合、予定配薬の結果フォルダのフォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、SSH(SCP)フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

⑤ログフォルダ

SSH(SCP)フォルダにサブフォルダを作成してログデータを管理する場合、ログフォルダの、フォルダ名を設定します。アプリでフォルダの作成は行いません。あらかじめ、SSH(SCP)フォルダ上にサブフォルダを作成しておいて下さい。

⑥QRコード読み取りログのサーバ転送

QRコード読み取りログのサーバへの転送を設定します。ONにすると、QRコード読み取りログをSSH(SCP)サーバへ転送します。

⑦ファイルの上書き設定

データアップロード時、SSH(SCP)フォルダ上に転送するファイルと同一ファイル名のファイルが存在する場合、上書きをおこなうかどうかの設定を行います。

システム設定

アプリで管理するファイルの編集や削除を行います。

システム設定項目



- ① アプリ全体に関するオプション設定を行う事が出来ます。「[システムオプション](#)」参照
- ② アプリで管理するシステムファイルの編集や削除を行う事が出来ます。「[システムファイル管理](#)」参照
- ③ アプリのインストールから 1 週間は無料で利用可能です。継続して利用する際の、シリアルコードを入力します。「[シリアルコード設定](#)」参照
- ④ 複数の端末をセットアップする際、マスタとなる端末の設定情報を他の端末にコピーすることで、セットアップ作業を短縮できます。「[設定値ダウンロード](#)」参照。

システムオプション

アプリ全体に関するオプション設定を行います。



①更新データのダウンロード設定

サーバに設定データや写真データ等の更新データがある場合、アプリ起動時又は開始ボタンタップ時にサーバの更新データをダウンロードします。サーバデータ更新時、自動でダウンロードする項目は以下の通りです。

- ・顔写真データ
- ・顔認証データ
- ・QR コード種別 CSV ファイル
- ・ID 氏名 CSV ファイル
- ・氏名食事 CSV ファイル
- ・QR コードシーケンス設定ファイル
- ・QR コード桁数設定ファイル
- ・用法コード設定ファイル
- ・QR コードお薬時間設定ファイル
- ・薬局 1 ～4 分包機コード設定ファイル
- ・中止理由候補ファイル
- ・NG 要因候補ファイル
- ・予定配薬種別設定ファイル
- ・基本／拡張スケジュールファイル

このスイッチを有効にすると、各項目毎のダウンロードオプション（起動時のダウンロード、開始ボタン押下時のダウンロード）は無効になります

システムファイル管理

アプリで管理するシステムファイルの編集や削除を行います。



- ①ダウンロードフォルダの **削除** ボタン
ダウンロードフォルダ（ダウンロードした画像ファイル + 端末で撮影した画像ファイル）を削除します。
- ②アップロードフォルダの **削除** ボタン
アップロードフォルダ（端末で撮影した画像ファイル）を削除します
- ③ID 氏名 CSV ファイルの **削除** ボタン
端末内に保持する ID 氏名 CSV ファイルを削除します
- ④処方スケジュールファイルの **削除** ボタン
端末内に保持する処方スケジュールファイル（基本スケジュールファイル、拡張スケジュールファイル）を削除します
- ⑤通知メモ CSV ファイルの **削除** ボタン
端末内に保持する通知メモ CSV ファイルを削除します
- ⑥氏名食事 CSV ファイルの **削除** ボタン
端末内に保持する氏名食事 CSV ファイルを削除します
- ⑦顔認証データファイルの **削除** ボタン
ダウンロードした顔認証データファイルを削除します
- ⑧ **画像ファイルの確認** ボタン
端末内に保持する画像ファイルをリストで表示します。リストの各項目をタップすると、詳細情報を別画面で表示します。

シリアルコード設定

アプリのインストールから 1 週間は無料で利用可能です。継続して利用する場合は、シリアルコードを設定する必要があります。

※シリアルコードを入力する際は、端末をインターネットに接続できる状態にしてください。



① シリアルコード

はじめて誤薬チェッカーアプリを利用する場合は、アイトシステムから通知された 24 桁のシリアルコードを入力して下さい。

② 登録 ボタン

シリアルコード入力後、登録 ボタンをタップすることで登録が完了します。

③ 更新 ボタン

誤薬チェッカーアプリを利用中に継続利用を申請した場合、更新ボタンをタップすることで、更新されたシリアルコードが自動的に設定されます。

設定値ダウンロード

複数の端末をセットアップする際、マスタとなる端末の設定情報を他の端末にコピーすることで、セットアップ作業を短縮できます。



マスタとなる端末の設定情報をサーバに保存します。コピーする端末はサーバの設定だけを行い、設定情報の読み込みを行なうことで、セットアップが完了します。

① 設定値ファイル名

設定情報を保存するサーバの設定値ファイル名を指定します。

② 設定値の取り込み ボタン

コピーを作成する端末はこのボタンをタップすることで、サーバに保存された設定値情報を取り込みます。

③ 設定値の保存 ボタン

このボタンをタップすることで、マスタとなる端末の設定情報をサーバに保存します。

情報

アプリで管理する情報を表示します。

情報項目



- ① 誤薬チェッカーNeo のアプリ情報を表示します。「[誤薬チェッカーNeo について](#)」参照
- ② 誤薬チェッカーNeo のプライバシーポリシーを表示します。「[プライバシーポリシー](#)」参照

誤薬チェッカーNeo について

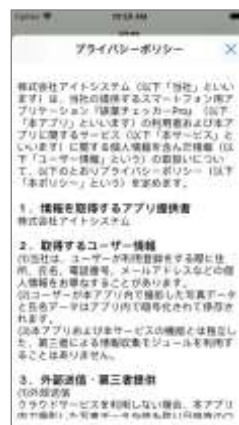


- ① アプリ版数
インストールされている「誤薬チェッカーNeo」の版数を表示します。

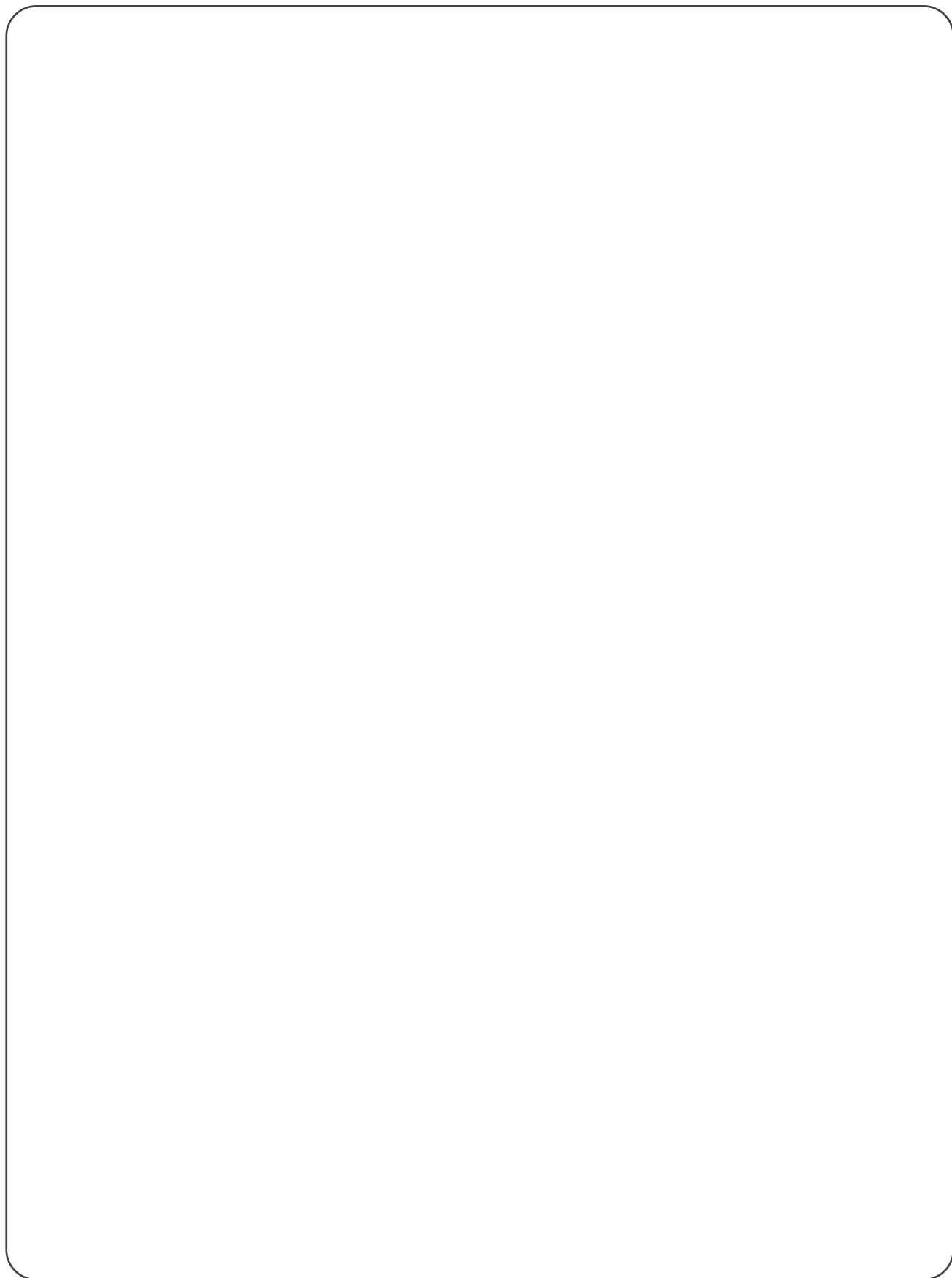
- ② インストール時版数
誤薬チェッカーNeo がインストールされた時の版数を表示します。
- ③ インストール日付
誤薬チェッカーNeo がインストールされた日付を表示します。
- ④ 有効期限
インストールされている「誤薬チェッカーNeo」の有効期限を表示します。
- ⑤ ログの数
保持している QR コード読み取りログの数を表示します。
- ⑥ 設定回数
複数の端末間での、同一アプリ版数のシリアルコードの設定回数を示します。

プライバシーポリシー

「誤薬チェッカーNeo」のプライバシーポリシーを表示します。



メモ



● **アイトシステムのホームページ** <http://www.aitosys.com>

各種製品情報、サポート案内等の情報を提供しております。

● **製品に関するご質問・ご相談**

製品に関するご質問・ご相談に電話お答えします。

【電話番号】0800-200-2790（通話料無料）

上記電話番号を利用できない場合や携帯電話等からは、0773-45-3166に連絡をお願いします。

※サポート受付時間：祝日を除く平日(月曜～金曜) 9時から 17 時まで

製品に関するご質問・ご相談にメールでお答えします。

【サポート専用メールアドレス】 support@aitosys.com

ご質問・ご相談の際は購入品のシリアル番号及びアプリ版数お知らせください。アプリ版数は「設定」メニューの「誤薬チェッカーについて」を参照下さい。

使用した音素材: OtoLogic(<https://otologic.jp>)

本ページの記載の情報は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

最新の情報はアイトシステムのホームページ(<http://www.aitosys.com>)にてご確認ください。

株式会社アイトシステム 〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町 4-1-1 アミックビル 3F